
**iStorage M シリーズ
NASオプション ソフトウェア**

Virtual File Platform
**メッセージリファレンス
別紙**

対象製品

Virtual File Platform

6.3.1-00 以降

輸出時の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は、外国為替及び外国貿易法で規定される規制貨物（または役務）に該当することがあります。その場合、日本国外へ輸出する場合には日本国政府の輸出許可が必要です。

なお、輸出許可申請手続にあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

商標類

Virtual File Platform は、株式会社日立製作所の登録商標です。

Active Directory は、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Alog ConVerter は、株式会社網屋の登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

gzip は、米国FSF(Free Software Foundation) が配布しているソフトウェアです。

Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Kerberos は、マサチューセッツ工科大学 (MIT:Massachusetts Institute of Technology) で開発されたネットワーク認証のプロトコルの名称です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle とJava は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

Netscape は、米国およびその他の国におけるNetscape Communications Corporation の登録商標です。

POSIX は、the Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. (IEEE) で制定された標準仕様です。

RSA およびBSAFE は、米国EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SOAP (Simple Object Access Protocol) は、分散ネットワーク環境においてXML ベースの情報を交換するための通信プロトコルの名称です。

すべてのSPARC 商標は、米国SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

XFS は、Silicon Graphics, Inc. の商標です。

File Services Manager は、米国EMC コーポレーションのRSA BSAFE(R) ソフトウェアを搭載しています。

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from

<ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>.

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

This product includes software developed by Andy Clark.

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。



発行

2022年 8月 （第4版）

【メッセージリファレンス別紙】

目次

| | |
|--|----------|
| 1. File Sharing から通知されるメッセージ | |
| (KAQG メッセージ) | メッセージ1-1 |
| 2. File Services Manager から通知されるメッセージ | |
| (KAQK, KAQM メッセージ) | メッセージ2-1 |
| 3. File Remote Replicator から通知されるメッセージ | |
| (KAQR メッセージ) | メッセージ3-1 |
| 4. File snapshots から通知されるメッセージ | |
| (KAQS メッセージ) | メッセージ4-1 |
| 5. Anti-Virus Enabler から通知されるメッセージ | |
| (KAQV メッセージ) | メッセージ5-1 |
| 6. BMC から通知されるメッセージ | |
| | メッセージ6-1 |

はじめに

本マニュアルでは、Virtual File Platform(HVFP) または BMC から、SNMPトラップで通報されるメッセージについて記載します。
事前に設定している場合は、HVFP で出力されるシステムメッセージの一部をSNMP トラップで通知できます。SNMPを使用してシステムを監視する方法については、「ユーザーズガイド」(IF305)を参照してください。

- 対象読者
- マニュアルの構成
- マニュアルの体系
- このマニュアルでの表記
- このマニュアルで使用する記号
- このマニュアルで使用する構文要素
- KB (キロバイト) 等の単位表記について

対象読者

このマニュアルは、次の方にお読みいただくことを前提に説明しています。

- HVFPを管理・運用する方（システム管理者）
- HVFPを利用する方（エンドユーザー）

また、次の知識をお持ちであることを前提に説明しています。

- ストレージシステムに関する基本的な知識
- ネットワークに関する基本的な知識
- ファイル共有サービスに関する基本的な知識
- SANに関する基本的な知識
- CIFSに関する基本的な知識
- NFSに関する基本的な知識
- UNIX に関する基本的な知識
- Windowsに関する基本的な知識
- WWW ブラウザーに関する基本的な知識

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章から構成されています。

| 章 | 内容 |
|--|--|
| 1. File Sharing から通知されるメッセージ (KAQG メッセージ) | File Sharingから通知されるメッセージとその要因、対処について説明しています。 |
| 2. File Services Manager から通知されるメッセージ (KAQK, KAQM メッセージ) | File Services Managerから通知されるメッセージとその要因、対処について説明しています。 |
| 3. File Remote Replicator から通知されるメッセージ (KAQR メッセージ) | File Remote Replicatorから通知されるメッセージとその要因、対処について説明しています。 |
| 4. File snapshots から通知されるメッセージ (KAQS メッセージ) | File snapshotsから通知されるメッセージとその要因、対処について説明しています。 |
| 5. Anti-Virus Enabler から通知されるメッセージ (KAQV メッセージ) | Anti-Virus Enablerから通知されるメッセージとその要因、対処について説明しています。 |
| 6. BMCから通知されるメッセージ | BMCから通知されるメッセージとその要因、対処について説明しています。 |

マニュアル体系

HVFPのマニュアル体系を次に示します。

| マニュアル名 | 内容 |
|--|---|
| Virtual File Platform ファーストステップガイド (IF301) | HVFP のセットアップする前に検討しておくべきこと、および、セットアップの手順について説明しています。 |
| Virtual File Platform システム構成ガイド (IF302) | HVFP を運用するために、最初にお読みいただくマニュアルです。HVFP の運用を開始する前に理解または検討しておいていただきたいことや、外部サーバの環境設定などについて説明しています。 |
| Virtual File Platform セットアップガイド (IF303) | HVFP のセットアップ方法について説明しています。仮想サーバでHVFP を運用する場合は、「仮想サーバ環境セットアップガイド」(IF304)をお読みください。 |
| Virtual File Platform 仮想サーバ環境セットアップガイド (IF304) | HVFP でのVirtual Server のセットアップ方法について説明しています。 |
| Virtual File Platform ユーザーズガイド (IF305) | HVFP を運用するために必要な手順やGUI リファレンスなどを説明しています。 |

| | |
|--|---|
| Virtual File Platform ファイルアクセス (CIFS/NFS) ユーザーズガイド (IF306) | CIFS またはNFS クライアントから、HVFP の CIFS サービスまたはNFS サービスを利用するに当たって、事前に知っておいていただきたいことや、注意する必要があることについて説明しています。 |
| Virtual File Platform ファイルアクセス (Quota) ユーザーズガイド (IF307) | ファイルシステムやディレクトリにQuota を設定する際に、事前に知っておいていただきたいことや、注意する必要があることについて説明しています。 |
| Virtual File Platform トラブルシューティングガイド (IF308) | HVFP の障害対策を説明しています。 |
| Virtual File Platform トラブルシューティングガイド別紙 (IF309) | HVFP のソフトウェア障害の回復手順について、説明しています。 |
| Virtual File Platformインストールガイド (IF310) | HVFP のインストール方法について説明しています。 |
| Virtual File Platform コマンドリファレンス (IF311) | HVFP で使用できるコマンドの文法について説明しています。 |
| Virtual File Platform API リファレンス (IF312) | HVFP のAPI の使用方法について説明しています。 |
| Virtual File Platform メッセージリファレンス (IF313) | HVFP のメッセージについて説明しています。 |
| Virtual File Platform メッセージリファレンス別紙 (IF314) (このファイル) | HVFPのSNMP Trapにて通知されるメッセージについて説明しています。 |
| ESMPRO通報設定 (IF315) | ESMPROと連携して通報を行うための設定方法について説明しています。 |
| Virtual File PlatformBackup Restore 機能補足資料 (NetBackup) (IF316) | NetBackup のマニュアルの理解を補助するためのものです。 |
| Virtual File Platformシステム動作情報のグラフ化手順書 (IF317) | HVFP のシステム動作情報をグラフ化する手順について説明しています。 |
| 仮想サーバ環境セットアップガイド別紙 (IF318) | HVFP における Virtual Server の性能に関する説明をしています。 |

このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品の名称を省略して表記しています。このマニュアルでの表記と、製品の正式名称または意味を次の表に示します。

| このマニュアルでの表記 | 製品名称または意味 |
|------------------|-----------------------|
| Active Directory | Active Directory(R) |
| HVFP または VFP | Virtual File Platform |

なお、このマニュアルではFile Remote Replicator 固有の処理に関することを指す場合、HFRRと表記することがあります。

このマニュアルで使用する構文要素

このマニュアルでは、次に示す記号を使用しています。

| 記号 | 意味 |
|-----|--|
| < > | 可変値であることを示します。 (例) <ホスト名> . <ポート番号> 実際のホスト名が「host0」, ポート番号が「1024」の場合, 「host0.1024」と表示されることを示します。 |
| [] | 特定の場合にだけ表示されることを示します。 (例) [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] Virtual Server の場合にだけ「Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :」と表示されることを示します。 |

このマニュアルで使用する構文要素

このマニュアルで使用する構文要素の種類を、次のように定義します。

| 種類 | 定義 |
|------|-------------------|
| 英大文字 | A ~ Z |
| 英小文字 | a ~ z |
| 英字 | A ~ Z a ~ z |
| 数字 | 0 ~ 9 |
| 英数字 | A ~ Z a ~ z 0 ~ 9 |

注) すべて半角で指定してください。

KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）, 1MB（メガバイト）, 1GB（ギガバイト）, 1TB（テラバイト）, 1PB（ペタバイト）はそれぞれ $1,024$ バイト, $1,024^2$ バイト, $1,024^3$ バイト, $1,024^4$ バイト, $1,024^5$ バイトです。

SNMP通報メッセージ一覧

1 章から 5 章は、OSから通報するメッセージについて記載します。

メッセージ一覧表の説明

メッセージID

メッセージごとにつけられている固有のIDです。

記号の意味の詳細については、「メッセージリファレンス」(IF313)を参照してください。

重要度

メッセージのレベルを示します。

エラーメッセージ

メッセージIDとともに表示されるメッセージです。

説明と対処

各メッセージIDが表示された場合の対応についての説明です。

(S)はシステムの動作、(O)はユーザーの対処の見出しとして、記載しています。

1. File Sharing から通知されるメッセージ (KAQG メッセージ)

File Sharing から通知されるメッセージの一覧を次に示します。

表:1-1 File Sharing から通知されるメッセージの一覧

| メッセージID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQG01012-I | Information | <ドライバー名> : <インターフェース名> NIC Link is Up <詳細情報> <ドライバー名> : <インターフェース名>のリンクがアップしました。 <詳細情報> | 対処の必要はありません。 |
| KAQG01013-W | Warning | <ドライバー名> : <インターフェース名> NIC Link is Down. <ドライバー名> : <インターフェース名>のリンクがダウンしました。 | (S) <インターフェース名>が使用できません。 フェールオーバーが発生することがあります。 (O) <インターフェース名>に接続されているケーブルやスイッチを確認してください。ケーブルやスイッチに問題がない場合や障害を取り除いてもリンクがアップしない場合は、すべてのログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG10012-E | Error | An I/O error occurred. (host = <ホスト情報> , channel = <アダプターチャンネルID > , TID = <ターゲットID > , LUN = < LU 番号> , result= <結果情報>) (<障害情報>) I/O エラーが発生しました。HOSTは<ホスト情報> , CHANNEL は<アダプターチャンネルID > , TID は<ターゲットID > , LUN は<LUN > , RESULT は<結果情報>です。(<障害情報>) | (S) 入出力要求がエラーになります。 (O) システムから、I/O エラーが発生したデバイスまでのFC ケーブルの接続状態を確認してください。接続状態に問題がない場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 補足 ファイルシステムやLU に問題がある場合に、このメッセージが出力されることもあります。 ファイルシステム、LU の状態、SNMP 通知メッセージ、E-mail アラート通知を確認し、問題がある場合はヘルプに従って対処してください。 また、ストレージシステムが過負荷の場合にも、このメッセージが出力されることがあります。 FCバス障害や、ファイルシステムやLUの問題に該当しない場合には、ストレージシステムに過負荷が発生していなかったかを確認してください。 ストレージシステムの過負荷状態が継続した場合、長時間のダウンや、回復不能なファイルシステム閉塞等の致命的な障害に発展する危険性があるため、負荷低減しての運用をお願いいたします。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|---|
| KAQG10103-W | Warning | Some of the LUs that were being used before the OS was restarted could not be recognized. (number of recognized LUs = < LU 数> , total number of LUs to be recognized = <LU 数>) OS を再起動する前に使用していた一部のLU を認識できません。(認識されたLU の数 = < LU 数> , 認識予定の総LU 数 = < LU 数>) | (S) OS の起動処理を継続します。 (O) OS の停止中にLU の割り当てを変更していなかったか確認してください。割り当てを変更していなかった場合、KAQG10104-E の対処を実行してください。割り当てを変更していた場合、KAQM14129-E またはKAQG90001-E が出力されているか確認してください。 これらのメッセージが出力されている場合は、KAQG10104-E の対処を実行してください。これらのメッセージが出力されていない場合は、対処は必要ありません。 |
| KAQG10104-E | Error | Not all of the LUs that were being used before the OS was restarted could be recognized within the allotted time. (total number of LUs = < LU 数> ,alloted time (in seconds) = <時間>) OS を再起動する前に使用していたすべてのLU を規定時間内に認識できませんでした。(総LU 数 = < LU数> , 規定時間 (秒) = <時間>) | (S) OS の起動処理を継続します。 (O) ノードの電源スイッチをOFF にしたあと、ストレージシステムの電源スイッチおよびFCケーブルを確認してください。ストレージシステムの電源スイッチがOFF になっている場合は、ON にしてください。 FC ケーブルの接続に問題がある場合は、正しく接続してください。そのあと、ノードの電源スイッチをON にしてOS を起動してください。再度エラーが発生する場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG20901-E | Error | The rpcbind daemon cannot be stopped. rpcbind デーモンが停止できませんでした。 | rpcbind デーモンの停止に失敗しました。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG20902-E | Error | An attempt to restart the rpcbind daemon failed. rpcbind デーモンの再起動に失敗しました。 | rpcbind デーモンの再起動に失敗しました。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG20903-I | Information | The rpcbind daemon will now restart. rpcbind デーモンを再起動します。 | rpcbind デーモンを再起動します。 (O) 対処は必要ありません。 |
| KAQG30001-E | Error | The enas command device requires a size of 512 bytes. device= <デバイスID > , size= <入出力要求サイズ> , sector= <入出力要求位置 (LBA) > コマンドデバイス<デバイスID >に対して512 バイト以外のサイズの要求が出ました。size= <入出力要求サイズ> , sector= <入出力要求位置 (LBA) > | コマンドデバイスに対して不正な要求が発行されました。システムに不具合があるおそれがあります。 (S) コマンドデバイスを使用できないおそれがあります。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG41003-W | Warning | The command device is no longer recognized. (identification code = <ストレージシステムの識別コード> ,details = <ドライバ内部コード>) コマンドデバイスの認識を解除しました。(identification code = <ストレージシステムの識別コード> , details = <ドライバ内部コード>) | <ストレージシステムの識別コード>のコマンドデバイスの認識を解除しました。 (S) コマンドデバイスを設定していないストレージシステムに対しては、コピー抑止属性を設定または解除できません。 (O) Storage Navigator Modular で対象のストレージシステムにコマンドデバイスが設定されているか確認してください。コマンドデバイスが設定されている場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。コマンドデバイスが設定されていない場合に、コピー抑止属性を設定または解除する必要があるときは、Storage Navigator Modular でコマンドデバイスを設定し直してから、OS を再起動してください。コマンドデバイスが設定されていない場合に、コピー抑止属性を設定または解除する必要があるときは、そのままOS を再起動してください。 |
| KAQG41004-E | Error | An error was detected in the device I/O. (state = faulty, RAID-LU = <RAID-LU 名> , slot = <スロット番号> , device = <デバイス名>) デバイスのI/O エラーを検出しました。(state = faulty md = <RAIDLUN名> slot = <スロット番号> dev = <デバイス名>) | 障害が発生したデバイスをRAID グループから除外できるかどうかに関わらず、除外する処理を継続します。 (O) KAQG41006-I メッセージが出力されているかどうかを確認してください。24 時間経過してもKAQG41006-I メッセージが出力されていないか、別のメッセージが出力されたりしている場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQG41005-I | Information | The hard disk has been removed. (slot = <スロット番号>) ハードディスクが取り除かれています。 (slot = <スロット番号>) | 処理を継続します。 (0) KAQG41006-I メッセージの対処としてハードディスクを取り除いたあと、このメッセージが出力された場合は、表示されているスロット番号にハードディスクを取り付けてください。ハードディスクが取り除かれていない状態でこのメッセージが出力された場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG41006-I | Information | The hard disk is excluded from the RAID group. (slot = <スロット番号>) RAID グループからハードディスクが除外されています。 (slot = <スロット番号>) | 処理を継続します。 (0) KAQG41004-E メッセージが出力されたあと、このメッセージ以外のメッセージが出力されていないことを確認してから、表示されたスロット番号のハードディスクを取り除いてください。 |
| KAQG41007-I | Information | A hard disk was added to the RAID-LU. (RAID-LU = <AIDLU名>, hard disk = <デバイス名>, slot = <スロット番号>) RAID-LU にハードディスクが追加されました。 (md = < RAID-LU 名> dev = <デバイス名> slot = <スロット番号>) | 追加されたハードディスクにデータを回復する処理が実行されます。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQG41008-E | Error | The write-through functionality was not set as the cache operation for writing to the disk. (hard disk = <デバイス名>, slot = <スロット番号>) ディスク書き込み時のキャッシュ動作としてライトスルー方式を設定できませんでした。 (dev = <デバイス名> slot = <スロット番号>) | ハードディスクをRAID グループから除外します。除外できない場合は、OS を停止します。 (0) 表示されているスロット番号のハードディスクを交換してください。OS が停止した場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG41009-E | Error | < RAID-LU 名> could not be restored from the inactive state. (state = < RAID-LU の状態>) 停止状態の< RAID-LU 名>を回復する処理に失敗しました。 (status = < RAID-LU の状態>) | RAID-LU にアクセスできません。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG41010-E | Error | Mismatches between data were found in one or more RAID-LUs. (number of mismatches = <不整合データ数>) RAID-LU で不整合なデータが検出されました。 (Mismatch_cnt = <不整合データ数>) | 処理を継続します。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG41011-E | Error | The OS cannot recover automatically. OS を自動回復できません。 | 処理を継続します。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG41012-E | Error | The OS stopped processing because one or more boot records were not copied correctly. ブートレコードが正しくコピーされていないため、OS は処理を中断しました。 | OS を停止します。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG41013-E | Error | The number of mismatches between data is increasing. (current number of mismatches = <不整合データの件数>, previous number of mismatches = <不整合データの件数>) 不整合データが増加しています。今回 = <不整合データの件数> 前回 = <不整合データの件数> | 処理を継続します。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQG46012-E | Error | Error information cannot be received. (<キュー名>) 障害情報の受け付けができません。 (<キュー名>) | システムメッセージおよび障害情報を受け付ける領域 (キュー) が限界になりました。 (S) システムメッセージや障害情報が大量に発生し、ハードウェア障害によるフェールオーバーができない、およびFile Services Manager に出力できません。 (O) システムメッセージが大量に発生する原因を調査してください。システムに異常が発生している場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46023-E | Error | An attempt to read the initialization parameter file failed. 初期化パラメーター (ファイル) の読み出しに失敗しました。 | (S) システムメッセージの受け付け領域 (キュー) の容量が少なくなる場合があります。 (O) 運用には支障はありませんが、対処する場合はカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46024-E | Error | An attempt to read the action list file failed. アクションリスト (ファイル) の読み出しに失敗しました。 | (S) システムメッセージがFile Services Managerに出力されない場合があります。 (O) 運用には支障はありませんが、対処する場合はカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46040-E | Error | An error message is sent to maintenance personnel. (SIM ID: <送信されたSIM 障害メッセージのID >) カスタマーサポートセンターにエラーメッセージを送信します。 (SIM ID: <送信されたSIM障害メッセージのID >) | (S) ノードに致命的な損傷が発生しているおそれがあります。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 注意 このメッセージは、カスタマーサポートセンターにSIM 障害メッセージ情報が送信されたことをカスタマーサポートセンターとシステム管理者が共有するために出力されます。そのため、システム管理者は、SIM 障害メッセージのID に従って対処する必要はありません 補足 ストレージシステムが過負荷の場合にも、このメッセージが出力されることがあります。 その他の問題に該当しない場合には、ストレージシステムに過負荷が発生していなかったかを確認してください。 ストレージシステムの過負荷状態が継続した場合、長時間のダウンや、回復不能なファイルシステム閉塞等の致命的な障害に発展する危険性があるため、負荷低減しての運用をお願いいたします。 |
| KAQG46041-W | Warning | A warning message is sent to maintenance personnel. (SIM ID: <送信されたSIM 障害メッセージのID >) カスタマーサポートセンターに警告メッセージを送信します。 (SIM ID: <送信されたSIM 障害メッセージのID >) | (S) ノードに損傷が発生しているおそれがあります。頻発するとOS が強制的に停止する場合があります。 (O) OS が停止した場合はカスタマーサポートセンターに連絡してください。OS が停止しない場合は緊急の対処は必要ありませんが、早期に対策する必要があります。ノードを停止する準備をしてからカスタマーサポートセンターに連絡してください。サービスを停止する場合は事前にエンドユーザーに通知してください。 注意 このメッセージは、カスタマーサポートセンターにSIM 障害メッセージ情報が送信されたことをカスタマーサポートセンターとシステム管理者が共有するために出力されます。そのため、システム管理者は、SIM 障害メッセージのID に従って対処する必要はありません。 |
| KAQG46042-I | Information | An information message is sent to maintenance personnel. (SIM ID: <送信されたSIM 障害メッセージのID >) カスタマーサポートセンターにメッセージを送信します。 (SIM ID: <送信されたSIM 障害メッセージのID >) | (O) 対処は必要ありません。 注意 このメッセージは、カスタマーサポートセンターにSIM 障害メッセージ情報が送信されたことをカスタマーサポートセンターとシステム管理者が共有するために出力されます。そのため、システム管理者は、SIM 障害メッセージのID に従って対処する必要はありません |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQG46050-E | Error | A UPS error event was detected. (<詳細情報>) UPS のエラーイベントを検出しました。(<詳細情報>) | (S) <詳細情報>が「Communication lost.」の場合は、UPS とノード間で通信ができていません。「Battery failure.」の場合は、UPS に致命的な損傷が発生しているおそれがあります。 「Low battery.」, 「Battery runtime timed out.」または「battery below remaining threshold」の場合は、UPS のバッテリー容量が減っています。ノードの電源供給が片側だけの場合は、OS が強制的に停止します。 (O) <詳細情報>が「Communication lost.」, または「Battery failure.」の場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。「Low battery.」, 「Batteryruntime timed out.」, または「battery belowremaining threshold」の場合に、停電のときは商用電源を回復してください。停電でないときはカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46051-W | Warning | A UPS warning event was detected. (<詳細情報>) UPS の警告イベントを検出しました。(<詳細情報>) | (S) <詳細情報>が「Running on batteries.」の場合は、UPS の商用電源に異常が発生しているおそれがあります。この状態が続くとOS が強制的に停止する場合があります。「Battery removed.」の場合は、バッテリーが取り外されています。 (O) <詳細情報>が「Running on batteries.」の場合は、商用電源を回復してください。「Battery removed.」の場合に、保守作業でバッテリーが取り外されているときは対処の必要ありません。取り外されていないときはカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46052-I | Information | A UPS information event was detected. (<詳細情報>) UPS の情報イベントを検出しました。(<詳細情報>) | (O) 対処は必要ありません。 |
| KAQG46504-E | Error | A failure has been detected in an internal RAID battery. 内蔵RAID バッテリーの異常を検出しました。 | (S) 内蔵RAID バッテリーの障害が発生しました。 (O) [Health Monitor] サブウィンドウ [Hardware] タブまたはhwstatus コマンドで、内蔵RAID バッテリーの状態を確認してください。Error またはfailed が表示されている場合は、バッテリーに障害が発生したおそれがあります。カスタマーサポートセンターにバッテリーの交換を依頼してください。状態がError またはfailed 以外の場合は、対処は必要ありません。 |
| KAQG46508-E | Error | Patrol Read detected an error. (time = <検出時間> , code = <検出したコード> , content = <検出した内容> , count = <同じイベントが発生した回数>) Patrol Read で異常を検出しました。 詳細 = 時間 (<検出時間>), コード (<検出したコード>), 内容 (<検出した内容>), 回数 (<同じイベントが発生した回数>) | (S) 内蔵ハードディスクのチェックで異常ログが検出されました。 (O) 内蔵ハードディスクに致命的な損傷が発生しているおそれがあります。カスタマーサポートセンターに連絡してください。 注意 回数は、2 回以上の場合だけ表示されます。 |
| KAQG46509-I | Information | Information regarding the internal RAID battery was detected. (time = <検出時間> , code = <検出したコード> , content = <検出した内容>) (Note: If the time cannot be acquired, a hyphen (-) is displayed for detected-time.) 内蔵RAID バッテリーで情報を検出しました。詳細 = 時間 (<検出時間>), コード (<検出したコード>), 内容 (<検出した内容>) 注意 時間が取得できなかった場合は、<検出時間>には「-」と表示されます。 | (S) 内蔵RAID バッテリーに関するイベントが検出されました。 (O) 対処は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|---|
| KAQG46510-W | Warning | An internal RAID battery failure was detected. (time = <検出時間> , code = <検出したコード> , content = <検出した内容>) (Note: If the time cannot be acquired, a hyphen (-) is displayed for detected-time.) 内蔵RAID バッテリーで異常を検出しました。詳細 = 時間 (<検出時間>), コード (<検出したコード>), 内容 (<検出した内容>) 注意 時間が取得できなかった場合は、<検出時間>には「-」と表示されます。 | (S) 内蔵RAID バッテリーに関するエラーイベントが検出されました。 (O) 検出したコードの内容によって対応が異なります。 ・コードが「8e」、「a1」、「c8」、「18b」、「18d」の場合はカスタマーサポートセンターに連絡してください。 ・コードが「91」の場合は、このメッセージから1 分以内に出力されているKAQG46509-I メッセージをすべて確認してください。KAQG46509-I のコードに「95」があるときは無視してください。 「95」がないときは、設置している環境の温度に異常がないか確認してください。異常がない場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 ・コードが「96」または「182」の場合は、このメッセージの約8 時間前までに出力されているKAQG46509-I メッセージをすべて確認してください。KAQG46509-I のコードに「97」があり、かつ「f2」がないときは対処は必要ありませんが、それ以外のときはカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46511-E | Error | An internal RAID battery failure was detected. (time = <検出時間> , code = <検出したコード> , content = <検出した内容>) (Note: If the time cannot be acquired, a hyphen (-) is displayed for detected-time.) 内蔵RAID バッテリーで異常を検出しました。詳細 = 時間 (<検出時間>), コード (<検出したコード>), 内容 (<検出した内容>) 注意 時間が取得できなかった場合は、<検出時間>には「-」と表示されます。 | (S) 内蔵RAID バッテリーに関するエラーイベントが検出されました。 (O) 内蔵ハードディスク上のデータに不整合が発生しました。サービスを停止し、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46513-E | Error | An OS error was detected on the virtual server. (virtual server ID = < Virtual Server ID >) Virtual Server のOS 障害を検出しました。(Virtual Server ID = < Virtual Server ID >) | (S) Virtual Server のOS 障害を検出しました。 (O) Virtual Server の状態およびVirtual Server のダンプ情報が採取されていることを確認してください。 |
| KAQG46518-E | Error | A consistency check detected an error. (time = <検出時間> , code = <検出したコード> , content = <検出した内容> , count = <同じイベントが発生した回数>) Note: The count is only output when the value is 2 or more. 整合性チェックで異常を検出しました。時間 (<検出時間>), コード (<検出したコード>), 内容 (<検出した内容>), 回数 (<同じイベントが発生した回数>) * 回数は、2 回以上あった場合だけ表示 | (S) 内蔵ハードディスクのチェックで異常ログが検出されました。 (O) 内蔵ハードディスクに致命的な損傷が発生しているおそれがあります。カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46531-E | Error | A problem was detected in a fan. (fan = <インデックス番号>) ファンの障害を検出しました。(fan= <インデックス番号>) | ファンの障害を検出しました。システムを停止します。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46533-E | Error | A temperature anomaly was detected. (temperature sensor = <インデックス番号>) 温度の異常を検出しました。(temp_sensor = <インデックス番号>) | 温度の異常を検出しました。システムを停止します。 (O) 設置している環境の温度を確認してください。高温になっている場合は、温度を下げてください。その他の場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|---|
| KAQG46534-E | Error | An error in an internal hard disk was detected. (slot = <スロット番号>, details = <詳細情報>) 内蔵ハードディスクのエラーを検出しました。 (slot = <スロット番号>, details = <詳細情報>) | <詳細情報>が「Program_Fail_Count_Chip」の場合は、内蔵ハードディスクのキャッシュメモリのバックアップ電源が故障しているため、電源断時にキャッシュメモリのデータを保持できません。「Media_Wearout_Indicator」または「Available_Reservd_Space」の場合は、内蔵ハードディスクが消耗しているため、データを書き込めないおそれがあります。 (0) カスタマーサポートセンターにノードの交換を依頼してください。 |
| KAQG46535-W | Warning | An internal hard disk warning was detected. (slot = <スロット番号>, details = <詳細情報>) 内蔵ハードディスクの警告を検出しました。 (slot = <スロット番号>, details = <詳細情報>) | 内蔵ハードディスクの積算通電時間が警告閾値を超えています。本メッセージは、障害の発生を予防するための情報通知であるため、システムは処理を継続します。 (0) 今後も本製品の使用を続けると、内蔵ハードディスクに関する障害が発生するおそれがあります。カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG46536-E | Error | An abnormal internal voltage was detected. (sensor ID = <センサーID>) 内部電圧の異常を検出しました。 (センサーID = <センサーID>) | 内部電圧の異常を検出しました。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG51000-E | Error | The logical volume is blocked. (file system name = <ファイルシステム名>) 論理ボリュームが閉塞しました。 (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムまたは差分スナップショットが使用できなくなりました。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG51001-E | Error | A duplicate logical volume header was detected. For parameter information, see the KAQG51002-E message output to the system log. 論理ボリュームのヘッダー情報の重複を検出しました。パラメーター情報は、システムログに出力された KAQG51002-E メッセージを参照してください。 | KAQG51002-E メッセージに出力されたデバイスファイル (/dev/enas/lu <LU 番号>) で構成されているファイルシステムまたは差分スナップショットが使用できなくなりました。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG51003-E | Error | The logical volume entered a state where it cannot be accessed. (file system name = <ファイルシステム名>) 論理ボリュームにアクセスできない状態になりました。 (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムまたは差分スナップショットが使用できなくなりました。 (0) このメッセージが出力されたノードをリセットしてください。リセットしたあと、全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |
| KAQG52000-W | Warning | The CIFS access log was either no longer acquired or was overwritten, because it reached the maximum size. CIFS アクセスログのサイズが上限に達したため、ログの採取を中断またはログを上書きしました。 | CIFS アクセスログの退避先を設定していないか、CIFS アクセスログを削除していないため、CIFS アクセスログのサイズが上限に達しました。 (0) CIFS アクセスログの退避先を設定するか、ダウンロードしたあとでCIFS アクセスログを削除してください。退避先を設定している場合、ファイルシステムがマウントされていることやファイルシステムの容量に空きがあることなどを確認してください。 |
| KAQG52001-W | Warning | There is not enough space to save the CIFS access log. CIFS アクセスログで利用できる残容量が少なくなっています。 | CIFS アクセスログの退避先を設定していないか、CIFS アクセスログを削除していないため、CIFS アクセスログで利用できる残容量が少なくなっています。 (0) CIFS アクセスログの退避先を設定するか、ダウンロードしたあとでCIFS アクセスログを削除してください。退避先を設定している場合、ファイルシステムがマウントされていることやファイルシステムの容量に空きがあることなどを確認してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|--|
| KAQG52016-E | Error | An attempt to access the server that used for user mapping has failed. ユーザーマッピングで使用する外部サーバとの接続に失敗しました | ユーザーマッピングで使用する外部サーバとの接続に失敗したため、CIFS サービスを利用できません。なお、接続異常が一時的である場合、自動でCIFS サービスが回復する場合があります。 (0) CIFS サービス画面で、CIFS サービスの状態を確認してください。CIFS サービスの動作状態が” Running” と表示されている場合、対処の必要はありません。CIFS サービスの動作状態が” Down” と表示されている場合、外部サーバとの接続状態を確認してください。接続状態に異常がある場合は要因を取り除き、CIFS サービスを再起動してください。 |
| KAQG52018-W | Warning | The time on the domain controller of the domain that the node is in is not synchronized with the time on the node or with the time on the domain controller of a trusted domain. (domain controller = <ドメインコントローラー名> , domain = <ドメイン名>) ノードが参加しているドメインコントローラーは、ノードまたは信頼関係先のドメインコントローラーと時刻が同期されていません。(ドメインコントローラー = <ドメインコントローラー名> , ドメイン = <ドメイン名>) | 時刻が同期されていないため、ノードは、メッセージに表示されたドメインコントローラーとの通信に失敗する場合があります。 (0) ドメインコントローラーとノードの時刻が同期されていることを確認してください。信頼関係先のドメインコントローラーに対してこのメッセージが出力された場合は、認証先のドメインコントローラーと、信頼関係先のドメインコントローラーの時刻が同期されていることを確認してください。 |
| KAQG52019-E | Error | The time on the domain controller of a trusted domain is not synchronized with the time on the domain that the node is in. (domain controller = <ドメインコントローラー名> , domain = <ドメイン名>) 信頼関係を結んだドメインのドメインコントローラーとノードが参加しているドメインの時刻が同期されていません。(ドメインコントローラー = <ドメインコントローラー名> , ドメイン = <ドメイン名>) | 時刻が同期されていないため、ノードは、メッセージに表示されたドメインコントローラーとの通信に失敗しました。 (0) 認証サーバに指定しているドメインコントローラーと、表示されているドメインコントローラーの時刻を同期させてください。 |
| KAQG52020-E | Error | The new < user ID またはgroup ID > (value: <割り当てようとしたID >) could not be assigned because the upper limit on IDs has been reached. (domain = < RID 方式の場合はドメイン名。LDAP 方式の場合は-。 >) ID の範囲の上限に達したため、新たに< user ID またはgroup ID > (<割り当てようとしたID >) を割り当てることができませんでした。 (ドメイン = < RID 方式の場合はドメイン名。LDAP 方式の場合は-。 >) | ユーザーマッピングで割り当てるユーザーIDまたはグループID が指定されている範囲の上限に達したため、新たにユーザーID またはグループID を割り当てることができませんでした。 (0) ユーザーマッピングで使用するユーザーID またはグループID の範囲を拡張してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQG52021-W | Warning | A < user ID またはgroup ID > (value: <使用されたID >) outside the acceptable range was used. (domain = < AD スキーマ方式の場合はドメイン名。LDAP 方式の場合は-。>, name = < LDAP 方式の場合は範囲外のUID またはGID に対応するSID。AD スキーマ方式の場合はUNIX 属性「sAMAccountName」の値。取得に失敗した場合や設定されていない場合は-。>) 使用できるID の範囲を超えた<user ID またはgroup ID > (<使用されたID >) が使用されました。(ドメイン = < AD スキーマ方式の場合はドメイン名。LDAP 方式の場合は-。>, 名称 = < LDAP 方式の場合は範囲外のUID またはGID に対応するSID。AD スキーマ方式の場合はUNIX 属性「sAMAccountName」の値。取得に失敗した場合や設定されていない場合は-。>) | CIFS アクセスを実施したユーザーのユーザーID またはグループID が、使用できる範囲 (200 ~ 2147483147) を超えています。 (0) LDAP サーバまたは、外部認証サーバに登録されている、そのユーザーまたはグループのUIDもしくはGID の値を、200 ~ 2147483147 の範囲内にしてください。 |
| KAQG52026-W | Warning | The capacity of the output destination was insufficient, or the volume of the log output reached the upper limit. 出力先の容量が不足しているか、出力したログの容量が上限に達しました。 | 出力先の容量が不足しているか、出力したログの容量が上限に達したため、処理を停止しました。 (0) 出力先がデフォルトの場合: ログファイルを回収してください。 出力先がファイルシステムの場合: ログファイルを回収したあとと削除するか、または出力先のファイルシステムを拡張してください。 |
| KAQG52027-E | Error | An attempt to connect to the domain controller failed. ドメインコントローラーとの接続に失敗しました。 | ドメインコントローラーのポリシーと、CIFSサービス構成定義の設定が異なります。 (0) ドメインコントローラーのポリシー [ドメインコントローラー: LDAP サーバ署名必須] を確認してください。[署名を必要とする] になっている場合は、cifsoptset コマンドを実行し、LDAP 通信を署名付きで行うように設定してください。 |
| KAQG52028-W | Warning | An attempt to connect to the domain controller failed. (domain controller name = <ドメインコントローラー名>, domain name = <ドメイン名>) ドメインコントローラーとの接続に失敗しました。(ドメインコントローラー = <ドメインコントローラー名>, ドメイン名 = <ドメイン名>) | ドメインコントローラーとの接続に失敗しました。 (0) ドメインコントローラーの状態を確認してください。障害が発生している場合は、状態に応じて対処してください。 |
| KAQG52029-I | Information | The connection to the domain controller recovered. (domain controller name = <ドメインコントローラー名>, domain name = <ドメイン名>) ドメインコントローラーとの接続が回復しました。(ドメインコントローラー = <ドメインコントローラー名>, ドメイン名 = <ドメイン名>) | ドメインコントローラーとの接続が回復しました。 (0) 対処は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQG52030-W | Warning | The attempt to connect to the domain controller failed repeatedly. (domain controller name = <ドメインコントローラー名>, domain name = <ドメイン名>) ドメインコントローラーとの接続に繰り返し失敗しています。(ドメインコントローラー = <ドメインコントローラー名>, ドメイン名 = <ドメイン名>) | ドメインコントローラーとの接続に繰り返し失敗しています。ドメインが削除されているおそれがあります。 (0) ドメインコントローラーの状態を確認してください。障害が発生している場合は、状態に応じて対処してください。ドメインが削除されている場合は、削除されたドメインが CIFS サービスの構成定義で指定されていないことを確認してください。ただし、信頼関係先のドメインコントローラーに対してこのメッセージが出力されたときは、CIFS サービスの使用を継続できます。CIFS サービスを再起動する際に、CIFS サービスの構成定義からドメインを削除してください。 |
| KAQG52031-W | Warning | Active Directory authentication or NT domain authentication is set, but user mapping is not set. Active Directory 認証または NT ドメイン認証が設定されていますが、ユーザーマッピングは設定されていません。 | Active Directory 認証または NT ドメイン認証が設定されていますが、ユーザーマッピングは設定されていません。CIFS クライアントからアクセスできないおそれがあります。 (0) CIFS サービスの構成定義を確認してください。ユーザーマッピングを使用する場合は、ユーザーマッピングを設定してください。ユーザーマッピングを使用しない場合は、対処の必要はありません。 |
| KAQG52032-E | Error | A system error occurred. システムでエラーが発生しました。 | ファイルアクセスの処理中に、システムファイルの異常を検出しました。CIFS クライアントからアクセスできないおそれがあります。 (0) 全ログデータを取得してください。そのあと、CIFS サービスを再起動し、CIFS クライアントからアクセスできることを確認してください。対処したあともアクセスできない場合は、再度全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQG52033-W | Warning | The CIFS service authentication mode was changed from NT server authentication to local authentication. CIFS サービスの認証モードを NT サーバ認証から、ローカル認証に変更しました。 | NT サーバ認証がサポートされていないバージョンに更新インストールされたため、CIFS サービスの認証モードを NT サーバ認証からローカル認証に変更しました。 (0) CIFS サービスの認証モードを確認し、必要に応じて設定し直してください。CIFS サービスの認証モードの設定方法については、「ユーザーズガイド」を参照してください。 |
| KAQG52036-E | Error | An inconsistency caused by an update installation was detected in a system file. 更新インストールによるシステムファイルの不整合を検出しました。 | 更新インストールによるシステムファイルの不整合を検出しました。 (0) 障害フォロー部署に連絡し、新規インストールによる回復を依頼してください。 |
| KAQG52900-E | Error | An attempt to start the UPnP service failed. (error code = <エラーコード>) UPnP サービスの起動に失敗しました。(要因番号: <エラーコード>) | UPnP サービスの起動に失敗しました。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG52901-I | Information | The UPnP service started successfully. UPnP サービスの起動に成功しました。 | UPnP サービスの起動に成功しました。 (0) 対処は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|---|
| KAQG53003-W | Warning | The NTP daemon is not running. NTP デーモンが稼働していません。 | NTP サーバとノードの時刻またはノード間の時刻に300 秒以上の差があるか、または内部エラーが発生しました。 (0) timeget コマンドを使用してノードの時刻を確認してください。NTP サーバまたはもう一方のノードの時刻と300 秒以上の差がある場合は、timeset コマンドを使用してノードの時刻を変更し、ノードを再起動してください。その後、ノードとNTP サーバとの接続状況、およびNTP サーバの環境設定を確認してください。 各手順についてはヘルプを参照してください。 また、もう一方のノードでもこのメッセージが出力されているかを確認し、出力されている場合は同様に対処してください。対処してもこのメッセージが出力される場合は、NTP デーモンのcore ファイルおよび全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG53004-W | Warning | The NTP daemon could not be synchronized with the NTP server over a set period of time. 一定時間NTP サーバと同期できませんでした。 | NTP サーバと通信できていないか、NTP サーバがほかのNTP サーバと同期していないおそれがあります。 (0) NTP サーバとの接続および環境設定が正しいか、また、NTP サーバがほかのNTP サーバと同期しているか確認してください。 さらに、NTP サーバを2 台指定している場合は、2 台のNTP サーバの時刻が一致しているか確認してください。NTP サーバとの接続状態の確認方法、およびNTP サーバの環境設定についてはヘルプを参照してください。確認後に再度このメッセージが出力される場合は、全ログデータを取得してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG53005-I | Information | The NTP daemon started periodic time synchronization with the NTP server. NTP サーバとの定期的な時刻同期を開始しました。 | NTP サーバとの定期的な時刻同期を開始しました。 (0) 対処の必要はありません |
| KAQG53006-E | Error | Recording to the audit log stopped. Data will not be recorded to the audit log from now on. 監査ログの記録を停止しました。以降の監査ログは記録されません。 | 監査ログを保存するためのディスク容量の不足、ALog マネージャーサーバへの監査ログの転送に失敗、または内部エラーが発生したため、監査を継続できません。 (0) ALog マネージャーサーバの状態を、ALog マネージャーサーバの管理者に問い合わせてください。ALog マネージャーサーバが正常に稼働している場合は、ネットワークの状態を確認し、ALog マネージャーサーバとの通信が正常に完了することを確認してください。そのあと、KAQG53007-I メッセージが出力されることを確認してください。1 時間経過してもKAQG53007-I メッセージが出力されない場合は、全ログデータを取得してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG53007-I | Information | Recording to the audit log started. 監査ログの記録を開始しました。 | 監査ログの記録を開始しました。 (0) 対処の必要はありません。 |
| KAQG53008-I | Information | Recording to the audit log stopped. 監査ログの記録を停止しました。 | 監査ログの記録を停止しました。 (0) 対処の必要はありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|---|
| KAQG53017-W | Warning | There is a time difference of five minutes or more between the node and the NTP server. ノードとNTP サーバで、5 分以上の時刻の差があります。 | ノードとNTP サーバの時刻の差が5 分以上となった場合に、このメッセージが出力されます。 このメッセージが出力された場合、ノードで時刻同期処理が正常に実行されていますが、ノードの時刻が外部のNTP サーバの時刻と一致するまでに長時間（5 分補正するために約7 日間）掛かることがあります。 また、Kerberos 認証（Active Directory 認証など）が失敗するおそれがあります。 (0) ノードの時刻がNTP サーバの時刻と一致するまでに長時間掛かることを許容する場合、対処は必要ありません。 ノードの時刻を強制的にNTP サーバと一致させる場合、最初にノードとNTP サーバのどちらの時刻がずれているかを確認してください。 実際の時刻に対し、ノードの時刻がずれている場合は、timeset コマンドを使用して強制的に時刻同期を行ったあと、ノードを再起動してください。 NTP サーバの時刻がずれている場合は、NTPサーバの時刻を補正してください。 NTP サーバとの接続状態の確認方法、およびNTP サーバの環境設定についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQG53018-E | Error | A duplicate IPv6 address was detected. Interface = <重複を検出したインターフェース名>, IPv6 address = <重複したIPv6 アドレス>, Src MAC = <送信元MAC アドレス> IPv6 アドレスの重複を検出しました。インターフェース=<重複を検出したインターフェース名>, IPv6アドレス=<重複したIPv6 アドレス>, 送信元MAC =<送信元MACアドレス> | 重複を検出したインターフェースに接続されているネットワーク内で、同じIPv6 アドレスを使用している別のホストが存在しています。そのため、当該インターフェースで表示されているIPv6 アドレスが有効になりませんでした。 (0) 重複を検出したインターフェースに接続されているネットワーク内で、同じIPv6 アドレスを使用している別のホストが存在するか確認してください。存在する場合は、どちらかのホストのIPv6 アドレスを変更してください。また、重複を検出したインターフェースでIPv6 アドレスを使用している場合は、そのIPv6 アドレスが使用できない状態になっているおそれがあります。次のどちらかの手順を実施して回復したあと、SNMP メッセージが再度通知されていないことを確認してください。 ・ IP アドレスの設定、変更または削除時にSNMP メッセージが通知された場合重複を検出したインターフェースのIP アドレスを削除したあと、再設定してください。 ・ Virtual Server で、SNMP メッセージが通知された場合 Virtual Server で使用しているインターフェースのIP アドレスをノードから削除したあと、再設定してください。 Virtual Server で使用しているインターフェースが1 つの場合は、Virtual Server を再起動してください。 |
| KAQG53019-W | Warning | The network might be in a loop configuration. Interface = <ループ構成を検出したインターフェース名> ネットワークがループ構成になっているおそれがあります。インターフェース=<ループ構成を検出したインターフェース名> | ループ構成を検出したインターフェースに接続されているネットワーク内で、ネットワークがループ構成になっているおそれがあります。 (0) ループ構成を検出したインターフェースに接続されているネットワーク内が、ループ構成になっていないか確認してください。ループ構成になっている場合は、LAN ケーブルを正しく接続し直してください。また、ループ構成を検出したインターフェースでIPv6 アドレスを使用している場合は、そのIPv6 アドレスが使用できない状態になっているおそれがあります。次のどちらかの手順を実施して回復したあと、SNMP メッセージが再度通知されていないことを確認してください。 ・ OS 起動時、もしくはIP アドレスの設定、変更または削除時にSNMP メッセージが通知された場合 ループ構成を検出したインターフェースのIP アドレスを削除したあと、再設定してください。インターフェースにIP アドレスが設定されていない場合は、この操作は不要です。 ・ Virtual Server で、SNMP メッセージが通知された場合 Virtual Server で使用しているインターフェースのIP アドレスをノードから削除したあと、再設定してください。 Virtual Server で使用しているインターフェースが1 つの場合は、Virtual Server を再起動してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQG62001-W | Warning | <p><プロセス名> (pid = <プロセスID>) ended abnormally, and the core file was generated. (core file name = < core ファイル名>)</p> <p><プロセス名> (pid =<プロセスID>) が異常終了し、core ファイルが生成されました。(core ファイルの名称=< core ファイル名>)</p> | <p><プロセス名> 異常終了したプロセスの名称 <プロセスID> 異常終了したプロセス番号 < core ファイル名> 生成したcore ファイルの名称 (S) システムの一部でエラーが発生しました。 (O) <プロセス名>に応じて以下の対処をしてください。 ・ <プロセス名>が「ha_」で始まる場合 クラスタ管理機能で障害が発生したおそれがあります。 [Browse Cluster Status] ページでクラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。 正常な場合は、リソースグループのサービスは稼働していますが、ファイルシステムの構成変更（ファイルシステムの作成など）の処理が長時間完了しなかったり、フェールオーバーできない状態になったりするおそれがあります。 障害を回復できない場合は、メインスイッチをオフにしてOS を停止したあと、両ノードのOS を起動してください。 また、File Services Manager の全ログファイルおよび出力されたcore ファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 また、出力されたcore ファイルは [List of RAS Information] ページ ([List ofcore files] 表示) 画面からダウンロードしてください。 ・ <プロセス名>が「rpc.」で始まる場合 NFS サービスで障害が発生したおそれがあります。NFS サービス画面でNFS サービスの状態を確認してください。サービスが「Down」の場合はNFS サービスの再起動を行って回復してください。 また、File Services Manager の全ログファイルおよび出力されたcore ファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。FileServices Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。また、出力されたcore ファイルは [List ofRAS Information] ページ ([List of corefiles] 表示) 画面からダウンロードしてください。 ・ <プロセス名>が上記に該当しない場合 File Services Manager の全ログファイルおよび出力されたcore ファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File ervices Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 また、出力されたcore ファイルは [List of RAS Information] ページ ([List of core files] 表示) 画面からダウンロードしてください。</p> |
| KAQG62004-I | Information | <p>Dump file conversion processing completed.</p> <p>ダンプファイルの変換処理が完了しました。</p> | <p>ダンプファイルの変換処理が正常に終了しました。 (O) ダンプファイルをダウンロードしてください。</p> |
| KAQG62005-W | Warning | <p>Dump file forced conversion processing completed.</p> <p>ダンプファイルの強制変換処理が完了しました。</p> | <p>ダンプファイルの変換処理は完了しましたが、一部の変換処理で問題が発生したおそれがあります。 (O) ダンプファイルをダウンロードしてください。</p> |
| KAQG62006-E | Error | <p>Dump file conversion processing failed.</p> <p>ダンプファイルの変換処理に失敗しました。</p> | <p>内部処理でエラーが発生しました。 (O) 障害フォロー部署に連絡してください。</p> |

メッセージリファレンス

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQG62007-E | Error | Acquisition of the dump file header information for the virtual server failed. (virtual server ID = <Virtual Server ID >) Virtual Server のダンプファイルヘッダー情報の取得に失敗しました。 (Virtual Server ID = < Virtual Server ID >) | Virtual Server 上でのヘッダーファイルの作成処理中に何らかの障害が発生したか、または Virtual Server との通信に失敗しました。 (0) メッセージで示された ID の Virtual Server を再起動してください。再度エラーが発生する場合は、OS ログを取得して、障害フォロー部署に連絡してください。 |
| KAQG62008-E | Error | Dump file creation processing failed because the number of virtual server dump files reached the limit. (virtual server ID = < Virtual Server ID >) Virtual Server のダンプファイル数が上限に達したため、ダンプファイルの作成処理を中止しました。 (Virtual Server ID = < Virtual Server ID >) | Virtual Server のダンプファイル数が上限に達しました。 (0) すべてのダンプファイルをダウンロードし、削除してください。そのあと、OS ログを取得して、障害フォロー部署に連絡してください。 |
| KAQG62009-E | Error | Dump file creation processing failed. (virtual server ID = < Virtual Server ID >) ダンプファイルの作成処理に失敗しました。(Virtual Server ID = < Virtual Server ID >) | ダンプ格納領域が不足しています。 (0) すべてのダンプファイルをダウンロードし、削除してください。そのあと、OS ログを取得して、障害フォロー部署に連絡してください。 |
| KAQG62010-W | Warning | Dump file conversion processing for the virtual server was stopped. Virtual Server のダンプファイルの変換処理が抑止されました。 | ダンプ格納領域が不足しています。 (0) すべてのダンプファイルをダウンロードし、削除してください。 |
| KAQG62011-I | Information | Dump file conversion processing for the virtual server ended successfully. (virtual server ID = <Virtual Server ID >) Virtual Server のダンプファイルの変換処理が完了しました。(Virtual Server ID = < Virtual Server ID >) | Virtual Server のダンプファイルの変換処理が完了しました。 (0) すべてのダンプファイルをダウンロードしてください。 |
| KAQG62012-W | Warning | Dump file forced conversion processing for the virtual server ended successfully. (virtual server ID = < Virtual Server ID >) Virtual Server のダンプファイルの強制変換処理が完了しました。 (Virtual Server ID = < Virtual Server ID >) | ダンプファイルの変換処理は完了しましたが、一部の変換処理で問題が発生したおそれがあります。 (0) すべてのダンプファイルをダウンロードしてください。 |
| KAQG62013-E | Error | Dump file conversion processing for the virtual server failed. (virtual server ID = < Virtual Server ID >) Virtual Server のダンプファイルの変換処理に失敗しました。(Virtual Server ID = < Virtual Server ID >) | 内部処理でエラーが発生しました。 (0) OS ログを取得して、障害フォロー部署に連絡してください。 |
| KAQG62014-E | Error | An error occurred in dump file creation processing for the virtual server. Virtual Server のダンプファイルの作成処理でエラーが発生しました。 | 内部処理でエラーが発生しました。 (0) OS ログを取得して、障害フォロー部署に連絡してください。 |
| KAQG62015-I | Information | Conversion processing ended successfully for all the dump files. すべてのダンプファイルの変換処理が完了しました。 | ダンプファイルの変換処理が正常に終了しました。 (0) すべてのダンプファイルをダウンロードしてください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQG70000-E | Error | Failover started. (< resource group = <リソースグループ名>, virtual server = < virtual server ID >>) <<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >のフェールオーバーを開始しました。 | (S) フェールオーバーを開始します。 (O) ノードの状態と、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する必要があります。ヘルプを参照して対処してください。 |
| KAQG70001-E | Error | Failover ended. (< resource group = <リソースグループ名>, virtual server = < virtual server ID >>) (Normal end) <<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >のフェールオーバーが終了しました (正常終了しました)。 | (S) フェールオーバーが正常終了します。 |
| KAQG71000-E | Error | Failover was not possible. (< resource group = <リソースグループ名>, virtual server = < virtual server ID >>) <<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >のフェールオーバーをできませんでした。 | フェールオーバー先のノードの状態がUP でないため、フェールオーバーに失敗しました。 (S) フェールオーバーが途中で停止します。 (O) ノードの状態と、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する必要があります。ヘルプを参照して対処してください。 |
| KAQG72000-E | Fatal Error | Failover ended. (< resource group = <リソースグループ名>, virtual server = < virtual server ID >>) (An internal error was detected.) <<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >のフェールオーバーが終了しました (内部エラーを検出しました)。 | (S) フェールオーバーが途中で停止して、異常終了します。 (O) ノードの状態と、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する必要があります。ヘルプを参照して対処してください。 |
| KAQG72001-E | Fatal Error | Failover ended. (< resource group = <リソースグループ名>, virtual server = < virtual server ID >>) (The move failed.) <<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >のフェールオーバーが終了しました (移動に失敗しました)。 | フェールオーバー先で障害が発生していてフェールオーバーできないか、フェールオーバー処理を続行できない障害を検出しました。 (S) フェールオーバーが途中で停止して、異常終了します。 (O) ノードの状態と、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する必要があります。ヘルプを参照して対処してください。 |
| KAQG72002-E | Fatal Error | Failover ended. (< resource group = <リソースグループ名>, virtual server = < virtual server ID >>) (The operation failed due to an srmd script failure.) <<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >のフェールオーバーが終了しました (srmd スクリプト実行失敗によるオペレーションエラーを検出しました)。 | フェールオーバー処理中にサービスの終了および開始に使用するスクリプトが失敗しました。 (S) フェールオーバーが途中で停止して、異常終了します。 (O) ノードの状態と、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する必要があります。ヘルプを参照して対処してください。 |
| KAQG72003-E | Fatal Error | Failover ended. (< resource group = <リソースグループ名>, virtual server = < virtual server ID >>) (A resource configuration error was detected.) <<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >のフェールオーバーが終了しました (リソース配置エラーを検出しました)。 | フェールオーバー処理中に、サービスに関する情報の取得に失敗しました。 (S) フェールオーバーが途中で停止して、異常終了します。 (O) ノードの状態と、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する必要があります。ヘルプを参照して対処してください。 |

メッセージリファレンス

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|---|
| KAQG72004-E | Fatal Error | Failover ended. (< resource group = < リソースグループ名 >, virtual server = < virtual server ID > >) (No node is available in the cluster.) << リソースグループ名 > リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server > のフェールオーバーが終了しました (クラスタ内に有効なノードがありません)。 | フェールオーバー先のノードがありません。または、フェールオーバーしたあとに再度障害が発生しました。 (S) フェールオーバーが途中で停止して、異常終了します。 (O) ノードの状態と、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する必要があります。ヘルプを参照して対処してください。 |
| KAQG72005-E | Fatal Error | Failover ended. (< resource group = < リソースグループ名 >, virtual server = < virtual server ID > >) (The node is not on the cluster membership list.) << リソースグループ名 > リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server > のフェールオーバーが終了しました (メンバーシップにノードが含まれていません)。 | フェールオーバー先のノードがクラスタ内のメンバーとして認識されていません。 (S) フェールオーバーが途中で停止して、異常終了します。 (O) ノードの状態と、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する必要があります。ヘルプを参照して対処してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQG72006-E | Error | The resource (<リソース名>) of the type (<リソースタイプ>) is blocked. タイプ (<リソースタイプ>) のリソース (<リソース名>) は閉塞しています。 | <p>リソースグループの状態が「Online/No error」ですが、(リソース名) で示されるリソースのサービスが提供されていません。なお、ファイルシステムのすべてのリソース、または、NFS共有サービスのすべてのリソースが部分閉塞している場合は、リソースグループの状態が</p> <p>「Online/srmd executable error」でサービスが提供されないことや、もう一方のノードに移動してサービスが提供されることがあります。リソースグループの状態を確認する手順については、「ユーザズガイド」または「コマンドリファレンス」を参照してください。</p> <p>(リソースタイプ) の内容</p> <p>LVM_volume (リソース名) がLVM のとき表示されます。</p> <p>Filesystem (リソース名) がファイルシステムのとき表示されます。</p> <p>NFS (リソース名) がNFS 共有サービスのとき表示されます。</p> <p>(S) リソースグループを構成するリソースのうち、正常に起動しているリソースのサービスを提供します。なお、リソースグループを構成するリソースのうち、ファイルシステムのすべてのリソース、または、NFS 共有設定のすべてのリソースで障害が発生している場合は、サービスが提供されないことや、もう一方のノードに移動してサービスが提供されることがあります。</p> <p>(O) システム管理者は、リソースに発生した障害を取り除く必要があります。障害が発生したリソースのタイプがLVM やファイルシステムの場合、ファイルシステムを再作成してファイルシステムを元の状態に戻してください。</p> <p>障害が発生したリソースがFile snapshots で運用されているファイルシステムの場合の回復手順については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。</p> <p>なお、障害が発生したリソースのタイプがLVM の場合、メッセージ本文に表示されているLVM のリソース名から、再作成するファイルシステムのリソース名を特定します。LVM のリソース名は、次のとおり表示されます。</p> <p>LVM のリソース名 (パターン1) /dev/vg<nnnnnnnnnnnnnnnn>/lv<再作成するファイルシステムのリソース名></p> <p>LVM のリソース名 (パターン2) /dev/vghorclu<nn>/lv<再作成するファイルシステムのリソース名>< nnnnnnnnnnnnnnnnn > : リソース名の分類を表す数字です。</p> <p>どのパターンの場合でも、リソースグループのサービスが提供されるノードを確認してください。リソースグループが通常とは異なるノード上でサービスを正常に提供していて、かつマウントされている場合、特定したファイルシステムを再作成する必要はありません。この場合、障害を取り除き、フェールバックして回復できます。</p> <p>ファイルシステムを再作成するためには、ファイル共有の設定情報とファイルシステムのバックアップデータが準備されていることが前提となります。回復の手順は、通常の運用で使用するノード上のリソースグループの状態が「Online/No error」の場合と「Online/srmdexecutable error」の場合とで異なります。</p> <p>リソースグループの状態が「Online/No error」の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 再作成するファイルシステムをアンマウントします。すでにアンマウントされている場合は、この操作は不要です。 2. 再作成するファイルシステムを削除します。 3. ファイルシステムを再作成します。 4. ファイルシステムをマウントします。 5. バックアップデータを再作成したファイルシステムにリストアします。 6. 事前に準備したファイル共有の設定情報を基に、ファイル共有を再作成します。 <p>リソースグループの状態が「Online/srmd executable</p> |

| | | | |
|-------------|-------|---|---|
| | | | <p>error」の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リソースグループを強制停止します。リソースグループの状態が「Offline」になります。 2. 再作成するファイルシステムを削除します。 3. リソースグループを起動します。リソースグループの状態が「Online」になります。 4. ファイルシステムを再作成します。 5. ファイルシステムをマウントします。 6. バックアップデータを再作成したファイルシステムにリストアします。 7. 事前に準備したファイル共有の設定情報を基に、ファイル共有を再作成します。 <p>なお、各手順の詳細については、「ユーザーズガイド」または「コマンドリファレンス」を参照してください。上記の手順で回復できない場合には、両ノードの全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。</p> |
| KAQG72007-E | Error | <p>The resource (<リソース名>) of the type (<リソースタイプ>) can not be used.</p> <p>タイプ (<リソースタイプ>) のリソース (<リソース名>) は使用できません。</p> | <p>サービスの提供を継続するため、(リソース名) が含まれるリソースグループを、クラスタ内のほかのノードにフェールオーバーします。</p> <p>(リソースタイプ) の内容</p> <p>IP_address</p> <p>(リソース名) がサービスIP アドレスの場合に表示されます。</p> <p>(S)</p> <p>フェールオーバーが成功すると、リソースグループのサービスは継続して提供されます。フェールオーバーが失敗すると、リソースグループのサービスが中断されます。</p> <p>(O)</p> <p>データLAN でハード障害が発生しているおそれがあります。カスタマーサポートセンターに連絡して、障害を取り除いてください。</p> <p>障害を取り除いたあと、システム管理者はリソースグループの状態を確認し、リソースを回復します。リソースグループの状態を確認する手順については、「ユーザーズガイド」または「コマンドリファレンス」を参照してください。</p> <p>フェールオーバーが失敗して、リソースグループのエラー情報が「srmd executable error」の場合の回復手順を次に示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リソースグループを強制停止します。リソースグループを強制停止する手順については、「ユーザーズガイド」または「コマンドリファレンス」を参照してください。 2. リソースグループを起動します。リソースグループを起動する手順については、「ユーザーズガイド」または「コマンドリファレンス」を参照してください。 3. 回復したリソースに関してKAQG72007-E が出力されていないことを、システムメッセージで確認してください。システムメッセージを確認する手順については、「ユーザーズガイド」を参照してください。 <p>フェールオーバーが成功して、ほかのノードでサービスを継続して提供している場合の回復手順を次に示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リソースグループの実行ノードを変更してフェールバックしてください。リソースグループの実行ノードを変更する手順については、「ユーザーズガイド」または「コマンドリファレンス」を参照してください。 2. 回復したリソースに関してKAQG72007-E が出力されていないことを、システムメッセージで確認してください。システムメッセージを確認する手順については、「ユーザーズガイド」を参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQG72008-E | Error | The failover function cannot start because the status of the other node in the cluster is unknown. Place that other node online or forcibly stop that other node. 相手ノードの状態を確認できないため、フェールオーバー機能を開始できません。相手ノードの状態をUPにするか、相手ノードを強制停止してください。 | 一定の時間を経過しましたが、クラスタを構成している相手ノードから応答がありません。 (S) サービスの提供を停止します。 (O) 片方のノードだけで運用を開始する場合は、クラスタを強制停止したあとで、稼働しているノードを再起動してください。クラスタを強制停止する手順およびノードを起動する手順については、「ユーザズガイド」または「コマンドリファレンス」を参照してください。 両方のノードで運用を開始する場合は、カスタマーサポートセンターに連絡して、相手ノードに生じた障害を取り除いてください。 |
| KAQG72009-E | Error | The resource (<リソース名>) of the type (Filesystem) cannot be unmounted (Error: umount: <リソース名> : device is busy.) (Filesystem) タイプのリソース (<リソース名>) のアンマウントに失敗しました (Error: < umount コマンドのエラーメッセージ>)。 | 以下のサービスの終了処理で行うファイルシステムのアンマウントに失敗しました。 1. フェールオーバー 2. フェールバック 3. リソースグループ停止 4. ノード停止 5. クラスタ停止 6. Filesystem リソースの削除 (S) 上記1 ～ 5 の処理中の場合は、リソースグループのサービスの提供を停止し、[Browse Cluster Status] ページ ([Resource group status] 表示) で対象リソースグループが「Offline/srmd executable error」状態となります。上記6 の処理中の場合は、リソースの削除処理が失敗します。 (O) 以下の操作と競合した可能性があるため、これらの操作が終了したあと、再度、上記1 ～ 6 の操作を行ってください。 ・ File snapshots の差分スナップショット機能 ただし、上記1 ～ 5 の処理中に発生した場合は、実行前に回復操作が必要です。 障害を回復する手順については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、再度、実行しても同様のエラーとなる場合は、カスタマーサポートセンターに連絡して、障害を取り除いてください。 |
| KAQG72010-E | Error | < The resource group <リソースグループ名> , The virtual server < Virtual Server ID > has been started on the other node because the node that < the resource group, the virtual server > is normally started on <ノード名> is not running. <<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >を優先して起動する<ノード名>ノードが起動していないので、<<リソースグループ名>リソースグループ, < Virtual Server ID > Virtual Server >は代替ノード上で起動しました。 | クラスタを構成する2 ノードの一方のノードが起動していないため (またはOS が起動していないため)、正常に稼働する片方のノードだけで運用します。または、片方のノードが10 分以上遅れて起動した形跡があります。 (S) 正常に稼働するノード上で二つのリソースグループまたはすべてのVirtual Server のサービスを提供します。 (O) ノードが起動しない原因を追求し、「ユーザズガイド」または「コマンドリファレンス」に示す方法でノードを起動してください。ノードが起動しない原因が特定できない場合やOS が起動しない場合はカスタマーサポートセンターに連絡して、障害を取り除いてください。また、両方のノードが起動している場合は、リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認してください。リソースグループまたはVirtual Server の状態を確認する手順については、「ユーザズガイド」または「コマンドリファレンス」を参照してください。両方のリソースグループまたはVirtual Server がそれぞれのノードで起動している場合は、特に操作する必要はありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQG72011-E | Error | An error was detected that requires the OS to be stopped. The synchronization of the cluster information might become invalid. OS を停止する必要がある障害を検出しました。クラスタ情報の同期が不正になるおそれがあります。 | <p>クラスタを構成する両ノードのOS が同時に停止したあと、片方のノードだけでOS を起動した場合にこのメッセージが出力されることがあります。両ノードのOS の停止前に、片方のノードで実行した操作内容（構成変更）が、もう一方のノードに反映されていません。クラスタ情報を同期させるためにOS を停止して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。</p> <p>(S) クラスタの起動処理は継続して行います。片方のノード上で両方のリソースグループが起動します。</p> <p>(O) クラスタ情報を同期させるためには次の操作を実行する必要があります。もう一方のノードのOS は、操作2. が完了するまでは起動しないでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> このメッセージを出力したノードのOS を停止してください。 OS が停止したことを確認したあと、もう一方のノードのOS を起動してください。 OS が起動したことを確認したあと、操作1. で停止したOS を起動してください。 <p>操作1. を実行する前にもう一方のノードのOSが起動してしまった場合、クラスタ情報がすでに不正となっており、通常と異なる回復作業が必要になります。両ノードの全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。</p> |
| KAQG72012-W | Warning | Communication via the main heartbeat cable was interrupted. ハートビート線（正）からの通信が途絶えました。 | <p>ハートビート線（正）を使用したノード間の通信ができません。</p> <p>ハートビート線（正）を経由した通信路にハードウェア障害が発生したか、ソフトウェア障害が発生したおそれがあります。</p> <p>(S) ハートビート線（副）に切り替えてユーザー運用を継続します。</p> <p>ハートビート線（副）に障害が発生すると、ノード間の通信障害に至るおそれがあります。</p> <p>(O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。</p> |
| KAQG72013-W | Warning | Communication via the sub heartbeat cable was interrupted. ハートビート線（副）からの通信が途絶えました。 | <p>ハートビート線（副）を使用したノード間の通信ができません。</p> <p>ハートビート線（副）を経由した通信路にハードウェア障害が発生したか、ソフトウェア障害が発生したおそれがあります。</p> <p>(S) ハートビート線（正）だけでユーザー運用を継続します。</p> <p>ハートビート線（正）に障害が発生すると、ノード間の通信障害に至るおそれがあります。</p> <p>(O) 次の操作を実行できるかどうかを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Cluster Management] ダイアログの [Browse Cluster Status] ページ ([Cluster / Node status] 表示) を各ノードから表示する 管理ポートの固有IP アドレスを使用して各ノードにログインするこれらの操作を実行できないノードでは、管理ポートに障害が発生しているおそれがあります。管理ポートに障害が発生すると、フェールオーバーしていたり、サービスを利用できなくなったりすることがあります。クラスタの状態も確認し、障害を回復してください。原因の特定または障害の回復ができない場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG72014-I | Information | Communication via the main heartbeat cable was restored. ハートビート線（正）からの通信が回復しました。 | 対処の必要はありません。 |
| KAQG72015-I | Information | Communication via the sub heartbeat cable was restored. ハートビート線（副）からの通信が回復しました。 | 対処の必要はありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQG72016-E | Error | The cluster status is DISABLE. クラスタの状態がDISABLE です。 | ノード間通信路（正副の両方のハートビート線）で障害を検知したため、フェールオーバー機能を無効にしました。 (S) ファイルアクセスは継続できますが、リソースグループ、ノード、クラスタおよびリソースに対する操作は実行できません。また、フェールオーバーができなくなるおそれがあります。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG72018-E | Fatal Error | The OS will start without starting the cluster, because starting the cluster might cause a failover to occur repeatedly. フェールオーバーが繰り返し発生するおそれがあるため、クラスタの起動処理を実行しないで、OS を起動します。 | 以下の理由によって、クラスタを起動しないで、OS を起動します。 1. 1 時間に1 回以上、システムダウン（PANIC やOS のハングアップ）が2 回連続して発生した。 2. OS 起動時に、すでに片ノードでサービスが提供されている状態で、ノード間通信路（正副の両方のハートビート線）障害を検知した。 (S) リソースグループ、ノード、クラスタおよびリソースに対する操作を実行できなくなります。 また、KAQG72016-E メッセージが出力されている場合、ファイルアクセスは継続できますが、フェールオーバーができなくなるおそれがあります。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQG72019-E | Error | <p>Processing to start or stop the virtual server (< Virtual Server ID >) failed. (error = <エラー識別番号>) Processing to start or stop a virtual server failed because an error occurred.</p> <p>Error codes</p> <p>1 KVM start processing: The specified virtual server does not exist.</p> <p>2 KVM start processing: Starting of the virtual server OS failed.</p> <p>3 KVM start processing: Starting of a virtual server resource failed.</p> <p>4 KVM start processing: A virtual server update installation failed.</p> <p>5 KVM start processing: Mounting of the virtual server OS LU failed.</p> <p>6 KVM start processing: Unmounting of the virtual server OS LU failed.</p> <p>7 KVM start processing: Processing to map virtual server user LUs failed.</p> <p>8 KVM start processing: The SSH setting between the physical node and the virtual server failed.</p> <p>9 KVM start processing: Updating of the virtual server slot-I/F mapping file failed.</p> <p>10 KVM start processing: Editing of the virtual server interfaces file failed.</p> <p>11 KVM start processing: Creation of a bridge and TAP device failed.</p> <p>12 KVM start processing: Connection to a bridge and TAP device failed.</p> <p>13 KVM start processing: Updating of the license information failed.</p> <p>99 KVM start processing: A system error occurred.</p> <p>101 KVM stop processing: The specified virtual server does not exist.</p> <p>102 KVM stop processing: Stopping of the virtual server OS failed.</p> <p>103 KVM stop processing: Disconnection of the bridge and TAP device failed.</p> <p>199 KVM stop processing: A system error occurred.</p> <p>200 Confirmation of whether the virtual server OS is running failed.</p> <p>201 Lock processing failed.</p> <p>202 Unlock processing failed.</p> <p>210 Acquisition of the list of interfaces monitored for the link down status failed.</p> <p>Virtual Server (< Virtual Server ID >) の起動または停止処理に失敗しました。(エラー = <エラー識別番号>) エラーが発生したためVirtual Server の起動または停止処理に失敗しました。</p> | <p>Virtual Server の起動または停止に失敗したため、処理を中止しました。</p> <p>(0)</p> <p>エラー識別番号に応じて次のとおり対処してください。</p> <p>3, 4, 102 File Services Manager のシステムメッセージにKAQM で始まるメッセージが出力されているかを確認し、出力されている場合はその対処に従ってください。 201 Virtual Server を強制停止したあと、再度操作してください。 上記以外 両ノードの全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。</p> |

| | | | |
|--|--|---|--|
| | | <p>エラー識別番号の内容</p> <p>1 KVM 起動処理：指定した VirtualServer が存在しません。</p> <p>2 KVM 起動処理：Virtual Server の OS 起動に失敗しました。</p> <p>3 KVM 起動処理：Virtual Server の リソース起動に失敗しました。</p> <p>4 KVM 起動処理：Virtual Server の 更新インストールに失敗しました。</p> <p>5 KVM 起動処理：Virtual ServerOS LU のマウントに失敗しました。</p> <p>6 KVM 起動処理：Virtual ServerOS LU のアンマウントに失敗しました。</p> <p>7 KVM 起動処理：Virtual Server の ユーザーLU のマッピング処理に失敗しました。</p> <p>8 KVM 起動処理：Physical Node と Virtual Server 間のSSH 設定に失敗しました。</p> <p>9 KVM 起動処理：Virtual Server の slot-I/F マッピングファイルの更新に失敗しました。</p> <p>10 KVM 起動処理：Virtual Serverの interfaces ファイルの編集に失敗しました。</p> <p>11 KVM 起動処理：ブリッジとTAPデバイスの作成に失敗しました。</p> <p>12 KVM 起動処理：ブリッジとTAPデバイスの接続に失敗しました。</p> <p>13 KVM 起動処理：ライセンス情報の更新に失敗しました。</p> <p>99 KVM 起動処理：システムエラーが発生しました。</p> <p>101 KVM 停止処理：指定したVirtual Server が存在しません。</p> <p>102 KVM 停止処理：Virtual Serverの OS 停止に失敗しました。</p> <p>103 KVM 停止処理：ブリッジとTAP デバイスの切断に失敗しました。</p> <p>199 KVM 停止処理：システムエラーが発生しました。</p> <p>200 Virtual Server のOS が起動済みかどうかの確認に失敗しました。</p> <p>201 排他確保処理に失敗しました。</p> <p>202 排他解放処理に失敗しました。</p> <p>210 リンクダウン監視対象のインターフェース一覧の取得処理に失敗しました。</p> | |
|--|--|---|--|

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|--|
| KAQG72020-E | Error | A timeout occurred while starting or stopping a virtual server. (virtual server ID = < Virtual Server ID >) A timeout occurred while starting or stopping a virtual server. Virtual Server の起動または停止中にタイムアウトが発生しました。 (virtual server ID = < Virtual Server ID >) Virtual Server の起動または停止中にタイムアウトが発生しました。 | Virtual Server の起動または停止処理を中止します。 (O) 両ノードの全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG72021-W | Warning | The NFS share cannot be accessed from the NFS client because the name resolution of the public destination host (< NFS 公開先ホスト名 >) for the NFS share failed during resource group startup. リソースグループ起動時に、NFS 共有の公開先ホスト (< NFS 公開先ホスト名 >) の名前解決に失敗したため、NFS クライアントからアクセスできません。 | NFS 共有の公開先ホストの名前解決に失敗したため、公開先ホストを使用するNFS クライアントはシステムにアクセスできません。NFS 共有を設定したあとでOS の/etc/hosts ファイルまたはネームサーバ側の設定を変更したか、ネットワーク障害のためネームサーバと通信できない状態であることが考えられます。 16 個を超えるNFS 共有の公開先ホストの名前解決に失敗すると、KAQG72022-W が出力されて、本メッセージの出力は抑止されます。 (S) リソースグループの起動処理またはフェールオーバー処理を続行します。 (O) メッセージに表示された公開先ホストが名前解決できる状態にしてから、公開先ホストが正しく表示されていることをnfslist コマンドで確認してください。 障害を回復したあと、公開先ホストを利用するNFS クライアントに対して、OS に正しくアクセスできるか確認するよう通知してください。 |
| KAQG72022-W | Warning | Processing to output the message KAQG72021-W was suppressed because the number of public destination hosts for which name resolution failed has exceeded 16. 名前解決に失敗したNFS 共有の公開ホストが16 個を超えたため、KAQG72021-W のメッセージの出力を抑止しました。 | 名前解決に失敗した公開先ホストが16 個以上あります。NFS 共有を設定したあとでOS の/etc/hosts ファイルまたはネームサーバの設定を変更したか、ネットワーク障害のためネームサーバと通信できない状態であることが考えられます。 (S) リソースグループの起動処理またはフェールオーバー処理を続行します。 (O) 名前解決に失敗した公開先ホストをnfslistコマンドで確認してください。すべての公開先ホストが名前解決できる状態にしてから、公開先ホストが正しく表示されていることをnfslist コマンドで確認してください。 障害を回復したあと、公開先ホストを利用するNFS クライアントに対して、OS に正しくアクセスできるか確認するよう通知してください。 |
| KAQG72023-E | Error | The system suppressed failover processing because the network port " <ネットワークポート名 > " used by < the resource group (< リソースグループ名 >), the virtual server (< Virtual Server ID >) > is unavailable due to an error, and the network port on the other node is also unavailable due to an error. <リソースグループ (< リソースグループ名 >), Virtual Server (< Virtual Server ID >) > で使用している<ネットワークポート名>ネットワークポートがリンクダウンしましたが、もう一方のノードのネットワークポートが利用できないため、フェールオーバーを抑止しました。 | もう一方のノードで、ネットワークポートがリンクダウンしているか、ノードまたはOS が停止しています。フェールオーバーしてもネットワークポートを使用できないため、フェールオーバーを抑止しました。 (S) リソースグループまたはVirtual Server の運用は継続されます。 (O) リンクダウンしているインターフェースを回復してください。また、停止しているノードまたはOS を起動してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQG72024-W | Warning | One or more resources cannot be started because the license (<ライセンス>) has not been set up. ライセンス (<ライセンス>) が設定されていないため、起動できないリソースがあります。 | リソースを起動するために必要なライセンスが設定されていません。 (S) 設定されていないライセンスのリソースは起動しないで、リソースグループの起動処理またはフェールオーバー処理を継続します。 (O) ライセンスを設定し、リソースグループを再起動してください。 解決しない場合、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQG72025-W | Warning | The CIFS service of the resource group (<リソースグループ名>) cannot start because the service IP address is not specified. サービスIP アドレスが設定されていないため、リソースグループ (<リソースグループ名>) のCIFSサービスを起動できません。 | (S) CIFS サービスが停止した状態で、リソースグループの起動処理またはフェールオーバー処理を継続します。 (O) ノードの状態を確認し、両方のノードが起動している場合は、フェールオーバーが発生しているかどうかを確認してください。フェールオーバーが発生しているときは、サービスIP アドレスを設定してからフェールバックしてください。フェールオーバーが発生していないときは、サービスIP アドレスを設定してからCIFSサービスを再起動してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG72026-E | Error | The resource group on the other node will be forcibly failed over to clear the DISABLE state of the cluster. クラスターのDISABLE 状態を解除するために、相手ノードのリソースグループを強制的にフェールオーバーします。 | (S) 相手ノードのOS を再起動してリソースグループを強制的にフェールオーバーします。 (O) フェールオーバーが正常に終了し、一方のノードで両方のリソースグループがサービスを継続していることを確認してください。管理LANに障害が発生していると強制フェールオーバーが失敗したり、もう一方のリソースグループが停止したりすることがあります。この場合、管理LAN を回復したあと、リソースグループを強制停止し、再起動してください。そのあと、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG72027-E | Error | The OS will restart to clear the DISABLE state of the cluster. クラスターのDISABLE 状態を解除するためにOS を再起動します。 | 相手ノードが強制フェールオーバーを開始したため、OS を再起動します。 (S) OS を再起動します。稼働していたリソースグループは相手ノードに強制的にフェールオーバーされます。 (O) フェールオーバーが正常に終了し、一方のノードで両方のリソースグループがサービスを継続していることを確認してください。管理LANに障害が発生しているとフェールオーバーが失敗したり、もう一方のリソースグループが停止したりすることがあります。この場合、管理LAN を回復したあと、リソースグループを強制停止し、再起動してください。そのあと、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG72028-W | Warning | The forced failover state will be cleared because the problem on the other node in the cluster has been resolved. 相手ノードの障害が回復したため、強制フェールオーバーを解除します。 | (S) 相手ノードのOS を再起動して、強制フェールオーバーを解除します。 (O) 相手ノードのOS が再起動するのを待ってから、リソースグループをフェールバックしてください。 |
| KAQG72029-E | Error | To clear the forced failover state, an attempt was made to restart the OS of the other node in the cluster, but the attempt failed. 強制フェールオーバーを解除するために相手ノードのOS を再起動しようとしたのですが、失敗しました。 | 相手ノードのOS を再起動するためのリセットが失敗しました。 (S) 一方のノードで両方のリソースグループのサービスを継続します。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

メッセージリファレンス

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|---|
| KAQG72030-E | Error | To clear the forced failover state, an attempt was made to release access protection on one more LUs, but the attempt failed. 強制フェールオーバーを解除するためにLU のアクセス保護を解除しようとしたが、失敗しました。 | 強制フェールオーバーを継続します。 (S) リソースグループの運用は継続されます。 (O) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG72031-E | Error | The virtual server will be failed over because an error occurred on it. (virtual server ID = < Virtual Server ID >) Virtual Server に障害が発生したため、Virtual Server をフェールオーバーします。(Virtual Server ID = <Virtual Server ID >) | Virtual Server に障害が発生したため、Virtual Server をフェールオーバーします。 (O) 両ノードの全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンター連絡してください。 |
| KAQG72032-E | Error | Failover processing was canceled and the virtual server was stopped due to an error occurring repeatedly on the virtual server. (virtual server ID = < Virtual Server ID >) Virtual Server に障害が繰り返し発生したため、フェールオーバー処理を中断して、Virtual Server を停止します。(Virtual Server ID = < Virtual Server ID >) | Virtual Server に障害が繰り返し発生したため、フェールオーバー処理を中断して、Virtual Server を停止します。 (O) 両ノードの全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG73001-W | Warning | The output of user quota information has been suppressed because, for the file system <ファイルシステムのマウントポイント>, the number of users for whom user quotas are set exceeds the value of std_quota_max. ファイルシステム<ファイルシステムのマウントポイント>で、ユーザーQuota が設定されているユーザーの数が上限値 (std_quota_max) を超えているため、出力を抑制しました。 | ファイルシステム<ファイルシステムのマウントポイント>で、ユーザーQuota が設定されているユーザーの数が、snmpd.conf ファイルで指定した上限値 (std_quota_max) を超えているため、ユーザーのQuota 情報の出力を抑制しました。 (O) このファイルシステムに関するQuota 情報は、quotaget コマンドを使用して参照してください。 |
| KAQG73002-W | Warning | The output of group quota information has been suppressed because, for the file system <ファイルシステムのマウントポイント>, the number of groups for whom group quotas are set exceeds the value of std_quota_max. ファイルシステム<ファイルシステムのマウントポイント>で、グループQuota が設定されているグループの数が上限値 (std_quota_max) を超えているため、出力を抑制しました。 | ファイルシステム<ファイルシステムのマウントポイント>で、グループQuota が設定されているグループの数が snmpd.conf ファイルで指定した上限値 (std_quota_max) を超えているため、グループのQuota 情報の出力を抑制しました。 (O) このファイルシステムに関するQuota 情報は、quotaget コマンドを使用して参照してください。 |
| KAQG73004-W | Warning | The output of user quota information has been suppressed because, for the directory <ディレクトリパス>, the number of users for whom user quotas are set exceeds the value of std_stquota_max. ディレクトリ<ディレクトリパス>で、ユーザーQuota に設定されているユーザーの数が上限値 (std_stquota_max) を超えているため、出力を抑制しました。 | ディレクトリ<ディレクトリパス>で、ユーザーQuota が設定されているユーザーの数が、snmpd.conf ファイルで指定した上限値 (std_stquota_max) を超えているため、ユーザーのQuota 情報の出力を抑制しました。 (O) このディレクトリに関するサブツリーQuota 情報は、stquota 及びstquotalist コマンドを使用して参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQG73005-W | Warning | The output of group quota information has been suppressed because, for the directory <ディレクトリパス>, the number of groups for whom group quotas are set exceeds the value of std_stquota_max. ディレクトリ<ディレクトリパス>で、グループQuota が設定されているグループの数が上限値 (std_stquota_max) を超えているため、出力を抑止しました。 | ディレクトリ<ディレクトリパス>で、グループQuota が設定されているグループの数が、snmpd.conf ファイルで指定した上限値 (std_stquota_max) を超えているため、グループのQuota 情報の出力を抑止しました。 (0) このディレクトリに関するサブツリーQuota 情報は、stquota 及びstquotalist コマンドを使用して参照してください。 |
| KAQG81003-W | Warning | Trunking driver: One or more subdevices are down. <リンク結合デバイス名> : <サブデバイス名> , <サブデバイス名> ... リンク結合ドライバー: サブデバイスが停止しました。 <リンク結合デバイス名> : <サブデバイス名> , <サブデバイス名> ... | <リンク結合デバイス名>配下の<サブデバイス名>が停止しました。 (S) サブデバイスを停止します。リンク結合デバイスによる通信は続行されます。 (0) 障害が発生したサブデバイスの名称をカスタマーサポートセンターに連絡してください。メッセージ通知されたサブデバイスが物理デバイスの場合、メッセージ通知されたサブデバイスの名称をそのまま連絡してください。メッセージ通知されたサブデバイスが仮想デバイスの場合、その仮想デバイスを構成している物理デバイスの名称を連絡してください。 注意 このメッセージは、リンク結合に関連する設定変更時やOS 起動時に出力される場合があります。 |
| KAQG81004-I | Information | Trunking driver: The subdevices that were down have been recovered. <リンク結合デバイス名> : <サブデバイス名> , <サブデバイス名> ... リンク結合ドライバー: 停止していたサブデバイスが回復しました。 <リンク結合デバイス名> : <サブデバイス名> , <サブデバイス名> ... | 停止していた<サブデバイス名>が回復しました。このメッセージは、OS 起動時およびリンク結合の構成時にも出力されます。 (S) 停止していたサブデバイスが回復します。 (0) なし。 注意 このメッセージは、リンク結合に関連する設定変更時やOS 起動時に出力される場合があります。 |
| KAQG81101-W | Warning | Trunking driver: The master device <リンク結合デバイス名> is down because all the sub-devices were down. リンク結合ドライバー: すべてのサブデバイスが停止したため、<リンク結合デバイス名>が停止されました。 | すべてのサブデバイスが停止したため、<リンク結合デバイス名>が停止されました。 (S) 60 秒以内にリンク結合デバイスが回復しなければ、フェールオーバーを開始します。 (0) 障害が発生したリンク結合デバイスを構成しているサブデバイスの名称をカスタマーサポートセンターに連絡してください。メッセージ通知されたリンク結合デバイスを構成しているサブデバイスが物理デバイスの場合、その物理デバイスの名称を連絡してください。メッセージ通知されたリンク結合デバイスを構成しているサブデバイスが仮想デバイスの場合、その仮想デバイスを構成している物理デバイスの名称を連絡してください。 注意 このメッセージは、リンク結合に関連する設定変更時やOS 起動時に出力される場合があります。 |
| KAQG81102-I | Information | Trunking driver: The subdevices that were down have recovered, and the master device <リンク結合デバイス名> has recovered. リンク結合ドライバー: 停止していたサブデバイスが回復し、マスターデバイスが回復しました。 <リンク結合デバイス名> | 停止していたサブデバイスが回復し、<リンク結合デバイス名>が回復しました。このメッセージは、OS 起動時およびリンク結合の構成時にも出力されます。 (S) リンク結合デバイスによる通信を再開します。 (0) なし 注意 このメッセージは、リンク結合に関連する設定変更時やOS 起動時に出力される場合があります。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQG90001-E | Error | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]The file system (file system name= <ファイルシステム名> , device= <デバイス番号>) is blocked. [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] ファイルシステム (ファイルシステム名=<ファイルシステム名> , デバイス=<デバイス番号>) が閉塞しました。 | (S) ファイルシステムにアクセスできません。 (O) KAQS19000-E が同一時間帯に出力されている場合は、KAQS19000-E の対処に従ってください。 それ以外の場合は、ファイルシステムの状態を確認し、状態に応じて対処してください。回復できない場合は、全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG90002-W | Warning | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]The number of used file system blocks has exceeded the warning threshold. (file system = <ファイルシステム名> , warning threshold = <警告閾値> , current remaining capacity = <残り容量>) [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] ファイルシステムのブロックの使用量が警告閾値を超えました。(ファイルシステム=<ファイルシステム名> , 警告閾値=<警告閾値> , 現在の残り容量=<残り容量>) | ファイルシステムのブロックの使用量が警告閾値を超えました。 (O) ファイルシステムの使用量を減らしてください。 |
| KAQG90003-W | Warning | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]The number of i-nodes for the file system has exceeded the warning threshold. (file system = <ファイルシステム名> , warning threshold = <警告閾値> , current remaining capacity = <残りi-node 数>) [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] ファイルシステムのi-node 数が警告閾値を超えました。 (ファイルシステム=<ファイルシステム名> , 警告閾値=<警告閾値> , 現在の残りi-node 数=<残りi-node 数>) | ファイルシステムのi-node 数が警告閾値を超えました。 (O) ファイルシステムの使用量を減らしてください。 |
| KAQG90004-W | Warning | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]The file system (<ファイルシステム名>) is full. [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] ファイルシステム (<ファイルシステム名>) が満杯です。 | ファイルシステムが満杯です。 (O) ファイルシステムの使用量を減らしてください。 |
| KAQG90005-W | Warning | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]The number of i-nodes on the file system (<ファイルシステム名>) has reached the limit. [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] ファイルシステム (<ファイルシステム名>) のi-node 数が満杯です。 | ファイルシステムのi-node 数が満杯です。 (O) ファイルシステムの使用量を減らしてください。 |
| KAQG90006-E | Error | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]There is an inconsistency in a read-only file system (<ファイルシステム名>). [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] 読み込み専用のファイルシステム(<ファイルシステム名>) に矛盾が発生しました | ファイルシステムにアクセスできません。 (O) 障害が発生したファイルシステムを確認し、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQG90007-W | Warning | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]The file system (<ファイルシステム名>) is mounted with the quota functionality disabled. [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] ファイルシステム (<ファイルシステム名>) のQuota 機能を無効にしてマウントしました。 | ファイルシステム (<ファイルシステム名>) のQuota 機能を無効にしてマウントしました。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの使用量を確認してください。ファイルシステムが満杯の場合には、ファイルシステムの使用量を減らしてください。Quota 機能を有効にするためにはアンマウントしてから、再度Quota 機能を有効にしてマウントしてください。 Quota 情報が再計算されるため、マウントを実行した際に処理に時間が掛かるおそれがあります。 再度エラーが発生する場合は、すべてのカーネルログを取得してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 カーネルログの取得方法についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQG90008-W | Warning | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]An ACL set for a file or directory in a file system of the Advanced ACL type is invalid. (file system name = <ファイルシステム名> , file or directory name = <ファイル名またはディレクトリ名>) [Virtual Server ID = < VirtualServer ID > :]Advanced ACL タイプのファイルシステムで設定されているACL が不正です。(ファイルシステム名=<ファイルシステム名> , ファイル名またはディレクトリ名=<ファイル名またはディレクトリ名>) | システムダウンなどが発生したため、Advanced ACL タイプのファイルシステムで、不正なACL が設定されたおそれがあります。 (0) 継承ACL の設定に失敗したため、所有者にフルコントロール権限が設定されています。設定内容を確認し、必要に応じて再設定してください。ファイルやディレクトリがすでに削除されている場合は、対処の必要はありません。 |
| KAQG90009-E | Error | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]A file system (file system name = <ファイルシステム名> , device = <デバイス番号>) is blocked because there is no unused capacity in the Pool. [Virtual Server ID = < VirtualServer ID > :]DP プールの空き容量がないため、ファイルシステム (ファイルシステム名= <ファイルシステム名> , デバイス= <デバイス番号>) が閉塞しました。 | ファイルシステムにアクセスできません。 (0) ファイルシステムの状態を確認し、状態に応じて対処してください。回復できない場合は、全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQG90010-E | Error | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :]An attempt to send notification regarding the updating of files on a file system (<ファイルシステム名>) has failed. [Virtual Server ID = < VirtualServer ID > :] ファイルシステム (<ファイルシステム名>) へのファイル更新の通知が失敗しました。 | 以降のアーカイブまたはスタブ化処理が正しく行われないうおそれがあります。 (0) アーカイブ情報を再構築してください。 |
| KAQG90013-E | Error | A file system for the virtual server (file system name = <ファイルシステム名> , device = <デバイス番号>) was blocked during usage by the physical node. Virtual Server のファイルシステム (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , デバイス = <デバイス番号>) がPhysical Node で使用中に閉塞しました。 | ファイルシステムにアクセスできません。 (0) 両ノードで全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

メッセージリファレンス

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQG90014-E | Error | [virtual server ID = < Virtual Server ID > :] A file system (file system name = <ファイルシステム名> , device = <デバイス番号>) is blocked because one tier of the file system is blocked. [Virtual Server ID = < Virtual Server ID > :] ファイルシステム内の一つの階層が閉塞したため、ファイルシステム (ファイルシステム名=<ファイルシステム名> , デバイス = <デバイス番号>) が閉塞しました。 | ファイルシステムにアクセスできません。 (0) 障害が発生した階層を回復してください。 |
| KAQG90015-E | Error | Processing to mount the differential-data snapshot could not be executed. 差分スナップショットをマウントできませんでした。 | 差分スナップショットをマウントできませんでした。 (0) 次の事項を確認し、問題を取り除いてから再度実行してください。 ・ クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態 ・ 差分格納デバイスの容量が不足していないか ・ デバイスファイルへのアクセス障害が発生していないか これらの事項について問題がない場合は、全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |
| KAQG90016-E | Error | Processing to unmount the differential-data snapshot could not be executed. 差分スナップショットをアンマウントできませんでした。 | 差分スナップショットをアンマウントできませんでした。 (0) ハードディスクに障害が発生していないかどうか確認してください。ハードディスクに障害が発生していない場合は、保守モードを使用してOS ログを取得し、保守員に連絡してください。 |
| KAQG91005-I | Information | The blockage of the file system (<ファイルシステム名>) has been released. ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の閉塞を解除しました | ファイルシステムの閉塞を解除しました。 (0) 対処の必要はありません。 |
| KAQG91307-E | Error | An attempt to mount the file system (<ファイルシステム名>) failed because the file system is blocked. ファイルシステム (<ファイルシステム名>) が閉塞していたため、マウントできませんでした。 | ファイルシステムが閉塞していたため、マウントできませんでした。 (0) ファイルシステムの修復を実施してください。 |
| KAQG99020-I | Information | The ACL types of all files have been converted. (file system = <ファイルシステム名>) すべてのファイルのACL タイプの変換が終了しました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | 対処の必要はありません。 |
| KAQG99021-E | Error | An attempt to convert a file's ACL type has failed. (file system = <ファイルシステム名>) ファイルのACL タイプの変換が失敗しました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | 指定したファイルシステム (<ファイルシステム名>) に問題があるか、ほかの処理と競合したおそれがあります。 (0) ファイルのACL 変換を再度実行して、失敗のメッセージを確認してください。 |

2. File Services Manager から通知されるメッセージ (KAQK, KAQM メッセージ)

File Services Manager から通知されるメッセージの一覧を次に示します。

表:2-1 File Services Manager から通知されるメッセージの一覧

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQK30800-I | Information | Migration terminated. (Policy name: <policy name>, Task id: <task-id>, Task status: <task-status>, Lastexec start time: <lastexec-start-time>, Lastexec end time: <lastexec-end-time>, Succeeded files: <succeeded-files>, Target files: <target-files>, Failed files: <failed-files>, Post-command result: <post-command-result>) マイグレーションジョブの停止が発生しました。 | (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQK36504-W | Warning | NIC: Link down detected(<インターフェース名>) NICポートがリンクダウンした。 | (S) リンクダウンが発生しています。 (0) ①本メッセージのほかに、メッセージID (KAQK39504-E)があるか確認してください。 ・ 確認できた場合、メッセージID (KAQK39504-E)を参照してください。 ・ 確認できなかった場合、②へ進んでください。 反対側ノードで、メッセージID (KAQK37508-W)があるか確認してください。 ・ 確認できた場合、メッセージID (KAQK37508-W)を参照してください。 ・ 確認できなかった場合、②へ進んでください。 ②本メッセージ報告されているリンクダウンしていた各ポートのケーブルを挿し直してください。すべて挿し直した後、hwstatusコマンドを、ポートを挿し直したノードに対して実行してください。挿し直したポートがリンクアップ(回復)しているか確認してください。 ・ ケーブルを挿し直しても、ポートがダウンしている(回復していない)場合、③へ進んでください。 ・ ダウンポートが確認できなかった(全ポートがアップしていた)場合、該当ノードの全データポートの状態が正常であるか確認してください。 ③各ダウンポートのケーブルを交換してください。 ダウンポートがデータLANである場合は、システム管理者にケーブル交換を依頼してください。全ケーブル交換を終えた後、再度hwstatusコマンドを、ケーブル交換したノードに対して実行してください。ポートがリンクアップ(回復)しているか確認してください。 ・ ケーブルを交換しても、ポートがダウンしている(回復していない)場合、④へ進んでください。 ただし、ダウンポートが10GbE-2Portのデータポートである場合は⑤へ進んでください。 ・ ダウンポートが確認できなかった(全ポートがアップしていた)場合、該当ノードの全データポートの状態が正常であるか確認してください。 ④各ダウンポートに対して別途用意したPCから直接LANケーブルを挿し込み、ポートがリンクアップするか(ノード側のLANポートのLEDが点灯しているか)確認してください。LEDでのリンクアップ確認は、『取扱説明書』を確認してください。 ・ 上記作業でもリンクダウンしていた場合は、ポート障害です。 GbE-4Portカードまたは10GbE-2Portカード、LAN mezzanineを交換してください。 ・ 上記作業で全ポートがリンクアップした場合、ユーザーLANスイッチのポート障害が考えられます。ユーザーLANスイッチの該当ポートの確認と復旧を行ってください。 |

| | | | |
|-------------|-------------|--|---|
| | | | ⑤10GbE-2Portカードを交換してください。 上記作業でポートがリンクアップしなかった場合、ユーザーLANスイッチのポート障害が考えられます。ユーザーLANスイッチの該当ポートの確認と復旧を行ってください。 |
| KAQK36700-E | Error | An FC path error has occurred. (number of LUs for which errors occurred = 障害が発生したLUの数) FCパスの障害が発生した。障害を検出したLUの数が表示される。 | (S) FCパス上に障害が発生しています。 (O) FCケーブルやFCスイッチに問題がない場合や、障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| KAQK36701-E | Error | Errors have occurred on all the FC paths. (number of LUs for which errors occurred = 障害が発生したLUの数, 後続処理) LUへの全パスで障害が発生した。障害を検出したLUの数が表示される。また、後続処理が“reboot”と表示された場合は、障害後に一度OSが再起動しています。“continue”または“failure”と表示された場合は、OSは再起動せずに稼働を継続しています。“disconnect”と表示された場合は、通常障害後に一度OSが再起動していますが、設定によっては再起動せずに稼働を継続しています。 | (S) LUに障害が発生しています。 (O) 本メッセージの前後に、メッセージID (KAQK39527-E)があるか確認してください。 ・確認できた場合は、メッセージID (KAQK36700-E)の手順を実行してください。 ・確認できなかった場合は、メッセージID (KAQK36700-E)がこれより先に出ていることを確認し、メッセージID (KAQK36700-E)と同様の手順を実行してください。 障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| KAQK36703-E | Error | An attempt to allocate memory failed. メモリ確保に失敗しました。 | 本メッセージの後に、メッセージID (KAQK36705-E)があるか確認してください。 ・確認できた場合、メッセージID (KAQK36705-E)を参照してください。 ・確認できなかった場合、FCパスに問題ないか確認してください。FCパスに問題がない場合や、問題を解決しても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| KAQK36704-E | Error | An attempt to attach the HDLM driver (the filter component) has failed. Number of failed paths = <number> サポートしていないディスクアレイを検出しています。 | (S) 不正なディスクアレイを検出しています。 (O) FC-SWのzoning設定をシステム管理者に確認してください。 |
| KAQK36705-E | Error | The system retried to allocate memory but the retries failed. メモリ確保のリトライを実行しましたが失敗しました。 | (S) FCパス障害です。 (O) 障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| KAQK37508-W | Warning | BMC network communication failure detected. 管理ポートと相手ノードのBMCポートとの通信が途絶えている。 | (S) 管理LAN系の障害の可能性があります。 (O) ケーブルやスイッチに問題がない場合や障害を取り除いてもリンクがアップしない場合は、すべてのログを採取して保守員に連絡してください。 |
| KAQK37509-I | Information | BMC network communication failure recovered. 管理ポートと相手ノードのBMCポートとの通信が回復した。 | (O) 対処は必要ありません。 |
| KAQK37510-W | Warning | Management network communication failure detected. 自系管理ポートと相手ノードの管理ポートとの通信が途絶えた。 | (S) 管理LAN系の障害の可能性があります。 (O) ケーブルやスイッチに問題がない場合や障害を取り除いてもリンクがアップしない場合は、すべてのログを採取して保守員に連絡してください。 |
| KAQK37511-I | Information | Management network communication failure recovered. 管理ポートと相手ノードの管理ポートとの通信が回復した。 | (O) 対処は必要ありません。 |
| KAQK37521-I | Information | Communication temporarily went down between the management port and the BMC port on the other node. 一時的に管理ポートと相手ノードのBMCポートとの通信が途絶えた。 | (S) 相手ノードのBMCポートとの通信が途絶えています。 (O) このSIMの後に、「KAQK37508-W」または「KAQK37522-I」があるか確認してください。 ある場合は、そちらのメッセージの対応にしたがってください。ない場合は、一時的に通信が途絶えましたが、現在は回復しているため、対応は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|---|
| KAQK37522-I | Information | Intermittent failures have been detected <X> times between the management port and the BMC port on the other node. 管理ポートと相手ノードのBMCポート間で間欠障害を検出しました。(Xが1時間の間に検出した一時的な通信断の回数) | (S) 管理ポートと相手ノードのBMCポート間で間欠障害を検出しています。 (O) このSIMの後に「KAQK37508-W」があるか確認してください。ある場合は、そちらのメッセージの対応にしたがってください。ない場合は、一時的に通信が途絶えましたが、現在は回復しているため、対応は必要ありません。 ただし、本メッセージが頻発する場合は、ケーブルが半挿しになっている可能性がありますので、管理ポートのケーブルと相手ノードのBMCポートのケーブルの接続を確認してください。 |
| KAQK39500-E | Error | OS error Detail= 00 00 00 01 , Level =00 , Type=02 ブートに必須のファイルシステムが閉塞したもしくはマウントに失敗した。 | (S) FCパス上に障害が発生しています。 (O) FCケーブルやFCスイッチに問題がない場合や、障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 00 00 00 02 , Level =00 , Type=02 ユーザーファイルシステムが閉塞した。 | (S) FCパス上に障害が発生しています。 (O) FCケーブルやFCスイッチに問題がない場合や、障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 00 00 00 03 , Level =00 , Type=02 共有LUのファイルシステムが閉塞した。 | (S) 共有LUのファイルシステムが閉塞しています。 (O) バックアップからのリストアによる回復、fsrepairコマンドによる回復を実施し復旧しない場合は、すべてのログを採取して保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 00 00 00 06 , Level =00 , Type=02 Virtual ServerシステムLUが閉塞した | (S) Virtual ServerシステムLUが閉塞しています。 (O) Virtual Serverのバックアップがある場合はバックアップから復旧をおこない復旧しない場合は、すべてのログを採取して保守員に連絡してください。 バックアップがない場合は、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 00 00 03 00 , Level =00 , Type=0D 正副ハートビートの途絶を検出しました。 | (S) 管理LANに障害が発生しています。 (O) 管理LANに問題がない場合や、障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 00 00 03 01 , Level =00 , Type=0D 正副ハートビートの途絶を検出し、さらに管理LAN上のリセット経路の障害を検出しました。 | (S) 管理LANに障害が発生しています。 (O) 管理LANに問題がない場合や、障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 00 00 04 00 , Level =00 , Type=0D フェールオーバー連続発生抑止が動作 | (S) ユーザーLUファイルシステム閉塞しています。 (O) 障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 00 01 00 02 , Level =00 , Type=0A ダンプファイル作成前に格納先ファイルシステムを初期化 | (S) 障害でノードがリブート、ダンプ取得処理中に異常を検出しました。 (O) 障害情報を収集して、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 00 02 00 02 , Level =00 , Type=0A ダンプ取得時にダンプ格納先ファイルシステムのマウントに失敗 | (S) ノードのブート中、ダンプ領域に異常を検出しています。 (O) 障害を取り除いても現象が改善しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 05 00 00 00 , Level =00 , Type=03 障害ノードでpanic障害発生 | (S) 障害によりノードでパニック障害が発生しています。 (O) 障害情報を収集して、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 05 00 00 01 , | (S) |

| | | | |
|-------------|-------------|---|---|
| | | Level =00 , Type=03 メモリーイメージコピー正常終了 | プールの容量不足が発生している可能性があります。 (0) ディスクアレイ装置の状態を確認し、プール容量不足になっていないか確認してください。プール容量不足の場合は、プールの容量拡張および回復を行ってください。 ディスクアレイ装置の状態に問題がない場合は、障害情報を収集して、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 06 00 00 00 , Level =00 , Type=03 ダンプ変換タイムアウト | (S) ソフトウェア障害が発生してノードがリブートしています (0) 障害情報を収集して保守員へ連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 06 00 01 00 , Level =00 , Type=03 ダンプファイル変換失敗 | (S) ソフトウェア障害が発生してノードがリブートしています (0) 障害情報を収集して保守員へ連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 06 00 02 00 , Level =00 , Type=03 ダンプファイル強制変換失敗 | (S) ソフトウェア障害が発生してノードがリブートしています (0) 障害情報を収集して保守員へ連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 06 00 03 00 , Level =00 , Type=03 メモリーイメージコピー失敗 | (S) ソフトウェア障害が発生してノードがリブートしています (0) 障害情報を収集して保守員へ連絡してください。 |
| | | OS error Detail= 06 01 01 00 , Level =00 , Type=0A ダンプファイル作成機能の登録処理失敗 | (S) ソフトウェア障害が発生してノードがリブートしています (0) 障害情報を収集して保守員へ連絡してください。 |
| KAQK39501-E | Error | Fatal failure detected. Shutting down. 緊急シャットダウンをした。 | (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQK39502-I | Information | OS is ready. OSブートが完了した。 | (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQK39503-I | Information | OS is shutting down. 両系あるいは片系の停止が開始した。 | (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQK39504-E | Error | Link down in Front-end LAN. データLANまたは管理LANがリンクダウンしている。 | (S) 管理LAN系の障害の可能性があります。 (0) ケーブルやスイッチに問題がない場合や障害を取り除いてもリンクがアップしない場合は、すべてのログを採取して保守員に連絡してください。 |

| メッセージID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQK39505-E | Error | OS error[cluster] Detail=00 01 00 00 共有LUのmount失敗 (CLU_partition障害) | (S) 共有LUのmountに失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=01 01 00 00 共有LUのunmount失敗 (CLU_partition障害) | (S) 共有LUのunmountに失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=00 02 00 00 NFSの前処理失敗 | (S) NFSの前処理に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=01 02 00 00 NFSの後処理失敗 | (S) NFSの後処理に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=00 03 00 00 ファイルシステムのmount失敗 | (S) ファイルシステムのmountに失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=01 03 00 00 ファイルシステムのunmount失敗 | (S) ファイルシステムのunmountに失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=00 04 00 00 NFS共有開始失敗 | (S) NFS共有開始に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=01 04 00 00 NFS共有終了失敗 | (S) NFS共有終了に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=00 05 00 00 仮想IPのUP失敗 | (S) 仮想IPのUPに失敗しています。 (O) ①メッセージID (KAQK39504-E) が本メッセージの前後60秒以内に出ているか確認してください。 ・ 確認できた場合、②へ進んでください。 ・ 確認できなかった場合、③へ進んでください。 ②メッセージID (KAQK39504-E) の対処を実行してください。 ③回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=01 05 00 00 | (S) 仮想IPのdownに失敗しています。 (O) ①メッセージID (KAQK39504-E) が本メッセージの前後60秒以内に出ているか確認してください。 ・ 確認できた場合、②へ進んでください。 ・ 確認できなかった場合、③へ進んでください。 ②メッセージID (KAQK39504-E) の対処を実行してください。 ③回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=00 06 00 00 CIFSサービスの起動失敗 | (S) CIFSサービスの起動に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |

メッセージリファレンス

| | | | |
|--|--|--|---|
| | | OS error[cluster] Detail=01 06 00 00 CIFSサービスの停止失敗 | (S) CIFSサービスの停止に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=00 08 00 00 リソースグループの起動処理の失敗 | (S) リソースグループの起動に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=01 08 00 00 リソースグループの停止処理の失敗 | (S) リソースグループの停止に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=00 0A 00 00 File snapshot or ファイルバージョン ンリストア機能障害(リソースグルー プ起動処理失敗) | (S) リソースグループの起動に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | OS error[cluster] Detail=01 0A 00 00 File snapshot or ファイルバージョ ンリストア機能障害(リソースグルー プ停止処理失敗) | (S) リソースグループの停止に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQK39506-I | Information | A failure occurred. Please follow the proper recovery procedure. Detail=10 03 00 00 D-vol溢れによるファイルシステム全閉塞(スクリプト起動時) | (S) D-vol溢れが発生しております。 |
| | | A failure occurred. Please follow the proper recovery procedure. Detail=10 04 00 00 D-vol溢れによるNFS全閉塞(スクリプト起動時) | |
| KAQK39507-E | Error | Reset to the other node in the cluster was requested (result: <reset要求結果>, cause: <reset発行要因>, os status: <OS状態>). 他系リセットを発行した。 | (S) 他系リセットを発行しています。 (O) resultの内容が“failure”である場合は他系リセットに失敗しています。 切り分け手順に従い障害切り分けをします。 resultの内容がそれ以外の場合は正常処理であるため、対処の必要はありません。 |
| KAQK39524-E | Error | Peer os status could not be acquired. 他系ノード状態の取得に失敗した | (S) 他系ノード状態の取得に失敗しています。 (O) ①メッセージID (KAQK39524-E)が報告されている前後にメッセージID (KAQK37508-W)が報告されているか確認してください。 ・ 報告されている場合は、メッセージID (KAQK37508-W)の手順にしたがってください。 ・ 報告されていない場合、②へ進んでください。 ②BMCの設定に誤りがあります。 BMCアカウントを設定してください。 |
| KAQK39525-I | Information | Peer os status could be acquired. 他系ノード状態の取得ができる状態に回復した | (O) 対処は必要ありません。 |
| KAQK39526-I | Information | The blockage of the file system(file-system-name) has been released. ファイルシステム(<ファイルシステム名>)の閉塞を解除しました。 | (O) 対処は必要ありません。 |
| KAQK39527-E | Error | A file system (file system name = <ファイルシステム名>, device = <デバイス番号>) is blocked because there is no unused capacity in the pool ファイルシステムがプールの容量不足により閉塞 | (S) ファイルシステムがプールの容量不足により閉塞しています。 (O) システム管理者に依頼して、プールの容量不足を解決してください。 |
| KAQK39528-I | Information | Processing to convert dump files ended. ダンプファイルの変換が正常終了した。 | (O) 対処は必要ありません。 |
| KAQK39529-E | Error | Dump file conversion processing for the virtual server ended successfully. (virtual server ID = <virtual server ID>) 表示されたVirtual Server IDのダンプファイル変換が正常終了しました。 | (O) しばらく待ったあと「KAQK39539-I Conversion processing ended successfully for all the dump files.」が出力された場合は、すべてのVirtual Serverのダンプファイル変換に成功しているため、ダンプ回収等の次の処理を進めてください。 |
| KAQK39530-E | Error | Acquisition of the dump file header information for the virtual server failed. (virtual server ID = <virtual server ID>) 表示されたVirtual Server IDのダンプファイルヘッダ情報の取得に失敗しました。 | (O) 表示されたIDのVirtual Serverを再起動してください。 再起動後、同じSIMメッセージが表示された場合は、障害情報を収集して保守員に連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|---|
| KAQK39531-E | Error | Dump file creation processing failed because the number of virtual server dump files reached the limit. (virtual server ID = <virtual server ID>) Virtual Serverのダンプファイル数が保存可能数の上限である5つに達したため表示されたVirtual Server IDのダンプファイルは作成されませんでした。 | (0) 障害情報を収集して保守員に連絡してください。 |
| KAQK39532-E | Error | Dump file creation processing failed. (virtual server ID = <virtual server ID>) ダンプファイル格納領域の容量が不足しているため、表示されたVirtual Server IDのダンプファイル作成処理に失敗しました。 | (0) 障害情報を収集して保守員に連絡してください。 |
| KAQK39533-E | Error | Dump file conversion processing for the virtual server was stopped. ダンプファイル格納領域の容量が不足しているため、ダンプファイルの変換処理が抑止されました。 | (0) 格納されているすべてのダンプファイルをダウンロードしてください。 ダンプファイル削除後、自動的に未変換ダンプファイルの変換処理が実施されます。 |
| KAQK39534-E | Error | Dump file forced conversion processing for the virtual server ended successfully. (virtual server ID = <virtual server ID>) 表示されたVirtual Server IDのダンプファイル変換処理は完了しましたが、一部の変換処理で問題が発生したおそれがあります。 | (0) 障害情報を収集して保守員に連絡してください。 |
| KAQK39535-E | Error | Dump file conversion processing for the virtual server failed. (virtual server ID = <virtual server ID>) 表示されたVirtual Server IDのダンプファイル変換処理に失敗しました。 | (0) 障害情報を収集して保守員に連絡してください。 |
| KAQK39536-E | Error | An error occurred in dump file creation processing for the virtual server.. 表示されたVirtual Server IDのダンプファイル作成処理に失敗しました。 | (0) 障害情報を収集して保守員に連絡してください。 |
| KAQK39538-E | Error | An OS error was detected on the virtual server. (virtual server ID = <virtual server ID>) 表示されたVirtual Server IDのVirtual Serverが閉塞しました。 | (0) 障害情報を収集して保守員に連絡してください。 |
| KAQK39539-I | Information | Conversion processing ended successfully for all the dump files. すべてのダンプファイル変換が完了しました。 | (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQK39540-I | Information | The virtual server was reset. (virtual server ID=<virtual server ID>) 表示されたVirtual Server IDがリセットされました。 | (0) 対処は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQK39601-E | Error | Single Node error Detail=00 00 00 10 Level=00 Type=04 ファイルシステムのmount失敗 | (S) ファイルシステムのmountに失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Single Node error Detail=00 00 00 11 Level=00 Type=04 ファイルシステムのumount失敗 | (S) ファイルシステムのumountに失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Single Node error Detail=00 00 00 20 Level=00 Type=04 NFS共有開始失敗 | (S) NFS共有開始に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Single Node error Detail=00 00 00 21 Level=00 Type=04 NFS共有終了失敗 | (S) NFS共有終了に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Single Node error Detail=00 00 00 40 Level=00 Type=04 CIFSサービスの起動失敗 | (S) CIFSサービスの起動に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Single Node error Detail=00 00 00 41 Level=00 Type=04 CIFSサービスの停止失敗 | (S) CIFSサービスの停止に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Single Node error Detail=00 00 00 50 Level=00 Type=04 File snapshot or ファイルバージョンリストア機能の起動失敗 | (S) File snapshot or ファイルバージョンリストア機能の起動に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Single Node error Detail=00 00 00 51 Level=00 Type=04 File snapshot or ファイルバージョンリストア機能の停止失敗 | (S) File snapshot or ファイルバージョンリストア機能の停止に失敗しています。 (O) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQK39602-E | Error | Virtual Server error Detail=00 00 01 10 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのファイルシステムのmount失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 11 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのファイルシステムのunmount失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 20 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのNFS共有開始失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 21 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのNFS共有終了失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 30 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDの仮想IPのup失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 31 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDの仮想IPのdown失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 40 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのCIFSサービスの起動失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 41 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのCIFSサービスの停止失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 50 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのFile snapshot or ファイルバージョンリストアップ機能の起動失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 51 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのFile snapshot or ファイルバージョンリストアップ機能の停止失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail=00 00 01 F0 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのVirtual Serverのリソース起動失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | Virtual Server error Detail= 00 00 01 F1 Level=00 Type=04 表示されたVirtual Server IDのVirtual Serverのリソース停止失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| KAQK39603-E | Error | An attempt to connect user disk failed. (Detail=00 00 02 01 Level=00 Type=04) ユーザーディスクの初期化処理に失敗 | (0) 回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |
| | | An attempt to connect user disk failed. (Detail=00 00 02 02 Level=00 Type=04) ユーザーディスクの構成が不正 | ①pstatusコマンドを実行し、全パスの“Status”が“Online”である場合は、OSを再起動してください。 “Status”に“Online”以外が含まれている場合は手順②へ進んでください。 ②回復手順に従い復旧します。 障害が復旧しない場合、保守員に連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQK40000-E | Error | An FC path error has occurred. (number of LUs for which errors occurred = <障害が発生したLU の数>) FC パスの異常を検出しました。(障害が発生したLU の数 = <障害が発生したLU の数>) | (S) FC パスの障害が発生したか、LU のマッピングを変更する操作が行われました。 (O) [Health Monitor] サブウィンドウの [Network] タブの [FC Path] サブタブ、またはfpstatus コマンドでFC パスの状態を確認してください。状態がOnline 以外の場合は、FCパスに障害が発生したおそれがあります。ヘルプのFC パスの障害回復手順に従って対処してください。状態がOnline の場合は、対処は必要ありません。 補足 ファイルシステムやLU に問題がある場合に、このメッセージが出力されることもあります。 ファイルシステム、LU の状態、SNMP 通知メッセージ、E-mail アラート通知を確認し、問題がある場合はヘルプに従って対処してください。 ご使用になる環境により、メッセージに表示されるLU の数が実際のLU の数と異なる場合があります。 また、ストレージシステムが過負荷の場合にも、このメッセージが出力されることがあります。 FCパス障害や、ファイルシステムやLUの問題に該当しない場合には、ストレージシステムに過負荷が発生していなかったかを確認してください。 ストレージシステムの過負荷状態が継続した場合、長時間のダウンや、回復不能なファイルシステム閉塞等の致命的な障害に発展する危険性があるため、負荷低減しての運用をお願いいたします。 |
| KAQK40001-E | Error | Errors have occurred on all the FC paths. (number of LUs for which errors occurred = <障害が発生したLU の数> , <保守情報>) すべてのFC パスで障害が発生しています。(障害が発生したLU の数 = <障害が発生したLU の数> , <保守情報>) | (S) LU に対するすべてのFC パスで障害が発生したか、LU のマッピングを変更する操作が行われました。 (O) [Health Monitor] サブウィンドウの [Network] タブの [FC Path] サブタブ、またはfpstatus コマンドでFC パスの状態を確認してください。状態がOnline 以外の場合は、LUに対するすべてのFC パスに障害が発生したおそれがあります。ヘルプのFC パスの障害回復手順に従って対処してください。状態がOnline の場合は、対処は必要ありません。 補足 ファイルシステムやLU に問題がある場合に、このメッセージが出力されることもあります。 ファイルシステム、LU の状態、SNMP 通知メッセージ、E-mail アラート通知を確認し、問題がある場合はヘルプに従って対処してください。 ご使用になる環境により、メッセージに表示されるLU の数が実際のLU の数と異なる場合があります。 |
| KAQM01001-E | Error | An attempt to start the File Services Manager program failed. File Services Manager の起動に失敗しました。 | 通信制御処理に問題があるおそれがあります。 (O) このエラーが連続して出力される場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM01002-E | Error | An attempt to accept a connection request for the File Services Manager program failed. File Services Manager に対する接続要求の受け入れに失敗しました。 | 通信制御処理に問題があるおそれがあります。 (O) このエラーが連続して出力される場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQM01005-E | Error | A timeout occurred during reception of communication control processing. (source IP address = < 接続元IP アドレス>, source port number = < 接続元ポート番号>, destination port number = < 接続先ポート番号>) 通信制御処理の受信中にタイムアウトが発生しました。(接続元IP アドレス = < 接続元IP アドレス>, 接続元ポート番号 = < 接続元ポート番号>, 接続先ポート番号 = < 接続先ポート番号>) | 認識できない要求を検出しました。ネットワークトラフィックに問題があるおそれがあります。 (0) < 接続元IP アドレス>のマシンで稼働する通信プログラムのログにエラーメッセージが出力されていないか、通信プログラムの設定ミスなどにより< 接続先ポート番号>へ接続するようになっていないか、または、< 接続先ポート番号>を指定してtelnet, WWW ブラウザーなどのプログラムを実行しようとしているユーザーがいないか確認してください。< 接続先ポート番号>は専用プログラム以外からの接続はできません。通信プログラムの接続先ポートの設定に誤りがなく、< 接続先ポート番号>に接続しようとするユーザーもいない場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM01006-E | Error | An attempt to receive communication control processing has failed. (source IP address = < 接続元IP アドレス>, source port number = < 接続元ポート番号>, destination port number = < 接続先ポート番号>)通信制御処理の受信に失敗しました。 (接続元IP アドレス=< 接続元IP アドレス>, 接続元ポート番号= < 接続元ポート番号>, 接続先ポート番号= < 接続先ポート番号>) | 認識できない要求を検出しました。ネットワークトラフィックに問題があるおそれがあります。 (0) < 接続元IP アドレス>のマシンで稼働する通信プログラムのログにエラーメッセージが出力されていないか、通信プログラムの設定ミスなどにより< 接続先ポート番号>へ接続するようになっていないか、または、< 接続先ポート番号>を指定してtelnet, WWW ブラウザーなどのプログラムを実行しようとしているユーザーがいないか確認してください。< 接続先ポート番号>は専用プログラム以外からの接続はできません。通信プログラムの接続先ポートの設定に誤りがなく、< 接続先ポート番号>に接続しようとするユーザーもいない場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM01018-E | Error | An error exists in the data received during communication control processing. (source IP address = < 接続元IP アドレス>, source port number = < 接続元ポート番号>, destination port number = < 接続先ポート番号>) 通信制御処理で受信したデータに誤りがあります。(接続元IP アドレス= < 接続元IP アドレス>, 接続元ポート番号= < 接続元ポート番号>, 接続先ポート番号= < 接続先ポート番号>) | 認識できない要求を検出しました。ネットワークトラフィックに問題があるおそれがあります。 (0) < 接続元IP アドレス>のマシンで稼働する通信プログラムのログにエラーメッセージが出力されていないか、通信プログラムの設定ミスなどにより< 接続先ポート番号>へ接続するようになっていないか、または、< 接続先ポート番号>を指定してtelnet, WWWブラウザなどのプログラムを実行しようとしているユーザーがいないか確認してください。< 接続先ポート番号>は専用プログラム以外からの接続はできません。通信プログラムの接続先ポートの設定に誤りがなく、< 接続先ポート番号>に接続しようとするユーザーもいない場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM01019-E | Error | An unexpected error occurred in the internal processing of the communication control processing. 通信制御処理の内部処理で予期しないエラーが発生しました。 | File Services Manager がインストールされていないか、内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager がインストールされていない場合は、File Services Manager をインストールしてください。File Services Managerがインストールされているにもかかわらずこのメッセージが出力される場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Managerのログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM01020-E | Error | The transmission processing of the communication control processing failed. 通信制御処理の送信に失敗しました。 | ネットワークトラフィックに問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|---|
| KAQM01097-E | Error | An attempt to install Primary Server Base failed. Primary Server Base のインストールに失敗しました。 | システムがビジー状態であるおそれがあります。 (0) Primary Server Base に障害が発生しているおそれがあります。ヘルプの障害対策に従い、カスタマーサポートセンターと連携して障害を回復してください。 |
| KAQM01099-E | Error | The setting of the license failed. ライセンスの設定に失敗しました。 | ライセンスを設定する処理に問題があるおそれがあります。 (0) OS を再起動してください。再度このメッセージが出力された場合は、File Services Managerの全ログファイルを取得して、障害フォロー部署に連絡してください。File Services Managerのログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM01109-W | Warning | An attempt to check whether the licenses on the nodes are the same has failed. ノード間のライセンスの整合性確認に失敗しました。 | ライセンスの整合性確認の処理に問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM01110-W | Warning | The license <ライセンス名> on one node in the cluster does not match the license on the other node. クラスタ内で<ライセンス名>ライセンスが一致していません。 | クラスタ内のノード間でライセンスが一致していません。 (0) 各ノードのライセンスを確認し、ノード間のライセンスが一致するように設定してください。 |
| KAQM01111-W | Warning | The capacities licensed by the <ライセンス名> license do not match within the cluster. クラスタ内で<ライセンス名>ライセンスのライセンス容量が一致していません。 | クラスタ内のノード間でライセンス容量が一致していません。 (0) 各ノードのライセンスを確認し、ノード間のライセンス容量が一致するように設定してください。 |
| KAQM04186-E | Error | Setup of a file system tier has failed. (file system name = <ファイルシステム名>) ファイルシステムの階層設定に失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムに障害が発生しているか、または内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。障害が発生している場合は、状態に応じて対処したあと、再度実行してください。状態に問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。全ログデータを採取する方法については、ヘルプを参照してください。 |
| KAQM05010-E | Error | An internal error occurred. 内部エラーが発生しました。 | 内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM05018-E | Error | The specified host name (<ホスト名>) cannot be resolved. 指定されたホスト名 (<ホスト名>) は名前解決できません。 | 名前解決できないホスト名が指定されました。 (0) 名前解決できるホスト名か、IP アドレスを指定してください。 |
| KAQM05019-E | Error | The specified gateway is not in the network. 指定されたゲートウェイがネットワーク内にありません。 | 指定されたゲートウェイがネットワークの外にあります。 (0) 同じネットワーク内のゲートウェイを指定してください。 |
| KAQM05026-E | Error | The cluster, resource group, or virtual server has not stopped. クラスタ、リソースグループまたはVirtual Server が停止していません。 | リソースグループまたはVirtual Server がOffline 状態になっていないか、クラスタがINACTIVE 状態になっていません。 (0) リソースグループおよびVirtual Server がOffline 状態であり、かつ、クラスタおよびノードがINACTIVE 状態であることを確認して、再度実行してください。 |
| KAQM05042-E | Error | The interface specification is invalid. インターフェースの指定に誤りがあります。 | 指定された値が正しくありません。 (0) 指定したデータを確認し、有効なデータを指定してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQM05064-E | Error | The number of routing information registrations has reached the maximum. ルーティング情報の登録数が最大値に達しています。 | ルーティング情報数が最大数に達しているため、操作を実行できません。 (0) 不要なルーティング情報を削除してから、再度実行してください。 |
| KAQM05154-I | Information | The node time was successfully synchronized with the NTP server. The node time has changed. NTP サーバとの強制的な時刻同期が正常終了し、ノードの時刻が変更されました。 | NTP サーバとの強制的な時刻同期が正常終了し、ノードの時刻が変更されました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM05156-E | Error | An attempt to synchronize the node time with the NTP server has failed. NTP サーバとの強制的な時刻同期に失敗しました。 | NTP サーバの設定に誤りがあるか、NTP サーバとの通信に失敗したおそれがあります。 (0) NTP サーバの設定を確認してください。設定が正しい場合は、設定されているNTP サーバとの接続が正しいことを確認してから、OS を再起動してください。再度エラーが発生する場合はFile Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM05256-E | Error | The user LU could not be connected to the node. The local data encryption key might be corrupted. ユーザーLU を接続できませんでした。ローカルデータの暗号化鍵が壊れているおそれがあります。 | ローカルデータの暗号化鍵が壊れているおそれがあります。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM05275-E | Error | Failed to change the DHCP settings. DHCP の設定変更に失敗しました。 | DHCP サーバとの通信またはDHCP サーバ側の設定に問題があります。 (0) DHCP サーバの設定が正しいか、DHCP サーバが正常に稼働しているか、ネットワーク管理者に確認してください。ネットワークに障害が発生していないことを確認してから、再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、保守員に連絡してください。KAQM34050-E |
| KAQM05290-E | Error | An attempt to transfer the audit logs to the ALog manager server failed. ALog マネージャーサーバへの監査ログの転送に失敗しました。 | ALog マネージャーサーバに障害が発生しているか、またはネットワークに障害が発生しているおそれがあります。 (0) ALog マネージャーサーバが正常に稼働しているかどうかをALog マネージャーサーバの管理者に問い合わせてください。ALog マネージャーサーバに障害が発生している場合は、ALog マネージャーサーバの管理者に復旧を依頼してください。また、ネットワークに障害が発生していないかどうかを確認してください。問題がない場合は、全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。障害を取り除いたあと、ALog マネージャーサーバへの監査ログの転送時にKAQM05294-I メッセージが出力されていることを確認してください。 |
| KAQM05294-I | Information | The audit logs were successfully transferred to the ALog manager server. ALog マネージャーサーバへの監査ログの転送に成功しました。 | 障害を取り除いたあと、ALog マネージャーサーバへの監査ログの転送に成功した際に出力されます。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM05333-E | Error | An attempt to update a system file failed. システムファイルの更新に失敗しました。 | OS disk またはシステムファイルの処理に問題があるおそれがあります。 (0) 全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|---|
| KAQM05334-W | Warning | The transfer of audit log data to the ALog manager server was not completed. Because of this, the transfer processing stopped and then restarted. ALog マネージャーサーバへの監査ログの転送が終了しなかったため、転送処理をいったん中断し、再開しました。 | ALog マネージャーサーバまたはネットワークに障害が発生しているおそれがあります。 (0) システムメッセージを参照し、KAQM05290-Eメッセージが出力されている場合はその対処に従ってください。メッセージが出力されていない場合は、対処は不要です。 |
| KAQM06119-E | Error | An attempt to modify the host name has failed. ホスト名の変更に失敗しました。 | 内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) 全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM06137-E | Error | Startup of the node timed out. ノードの起動でタイムアウトが発生しました。 | 処理に使用される資源の一部が、ほかのユーザーに占有されています。 (0) ノードが起動していない場合は、起動してください。 |
| KAQM06138-E | Error | Startup of the resource group timed out. リソースグループの起動でタイムアウトが発生しました。 | 処理に使用される資源の一部が、ほかのユーザーに占有されています。 (0) リソースグループが起動していない場合は、起動してください。 |
| KAQM06139-E | Error | The resource group move timed out. リソースグループの移動でタイムアウトが発生しました。 | 処理に使用される資源の一部が、ほかのユーザーに占有されています。 (0) リソースグループが移動していない場合は、移動してください。 |
| KAQM09046-E | Error | Less than <サイズ> MB are remaining where the log and core files are stored. ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残容量が<サイズ> MB未満です。 | ログファイルおよびcore ファイルの出力によって、格納領域の残容量が少なくなっています。 (0) 不要なログファイルやcore ファイルを [List of RAS Information] 画面で削除し、ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残容量を十分に確保してください。 |
| KAQM09047-E | Error | Less than <サイズ> MB are remaining where the log and core files are stored. ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残容量が<サイズ> MB未満です。 | ログファイルおよびcore ファイルの出力によって、格納領域の残容量が極端に少なくなっています。 (0) 不要なログファイルやcore ファイルを [List of RAS Information] 画面で削除し、ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残容量を十分に確保してください。 |
| KAQM09048-E | Error | Less than <個数> i-nodes are remaining where the log and core files are stored. ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残i-node 数が<個数>個未満です。 | ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残i-node 数が少なくなっています。 (0) 不要なログファイルやcore ファイルを [List of RAS Information] 画面で削除し、ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残i-node数を十分に確保してください。 |
| KAQM09049-E | Error | Less than <個数> i-nodes are remaining where the log and core files are stored. ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残i-node 数が<個数>個未満です。 | ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残i-node 数が極端に少なくなっています。 (0) 不要なログファイルやcore ファイルを [List of RAS Information] 画面で削除し、ログファイルおよびcore ファイルの格納領域の残i-node数を十分に確保してください。 |
| KAQM09060-W | Warning | The directory for saving the CIFS access log (<退避先に指定したディレクトリ名>) does not exist. CIFS アクセスログの退避先のディレクトリ (<退避先に指定したディレクトリ名>) は存在しません。 | CIFS アクセスログの退避先のディレクトリがファイルシステム内に存在しません。 (0) CIFS アクセスログの退避先のディレクトリを再設定してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|--|
| KAQM09061-W | Warning | The file system that contains the directory for saving the CIFS access log (<退避先に指定したディレクトリ名>) is not mounted. CIFS アクセスログの退避先のディレクトリ (<退避先に指定したディレクトリ名>) が存在するファイルシステムがマウントされていません | CIFS アクセスログの退避先のディレクトリが存在するファイルシステムがマウントされていません。 (0) CIFS アクセスログの退避先のディレクトリが存在するファイルシステムを読み書き可能な状態でマウントしてください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM09062-W | Warning | The file system that contains the directory for saving the CIFS access log (<退避先に指定したディレクトリ名>) is mounted as read-only. CIFS アクセスログの退避先のディレクトリ (<退避先に指定したディレクトリ名>) が存在するファイルシステムが読み取り専用でマウントされています。 | ファイルシステムが読み取り専用でマウントされているため、CIFS アクセスログを退避できませんでした。 (0) CIFS アクセスログの退避先のディレクトリが存在するファイルシステムを読み書き可能な状態でマウントしてください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM09063-W | Warning | The directory for saving the CIFS access log (<退避先に指定したディレクトリ名>) is specified using a relative path or symbolic link. CIFS アクセスログの退避先のディレクトリ (<退避先に指定したディレクトリ名>) が相対パスまたはシンボリックリンクで設定されています。 | CIFS アクセスログの退避先のディレクトリが相対パスまたはシンボリックリンクで設定されています。 (0) CIFS アクセスログの退避先を絶対パスで指定し直してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM09064-W | Warning | The file system that contains the directory for saving the CIFS access log (<退避先に指定したディレクトリ名>) is blocked. CIFS アクセスログの退避先のディレクトリ (<退避先に指定したディレクトリ名>) が存在するファイルシステムが閉塞しています。 | ファイルシステムが閉塞していたため、CIFSアクセスログを退避できませんでした。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM09065-W | Warning | The CIFS access log could not be saved because the capacity of the directory was insufficient. (directory = <移動先のディレクトリ名>) ディレクトリの容量が不足しているため、CIFS アクセスログを退避できませんでした。 (ディレクトリ=<移動先のディレクトリ名>) | ディレクトリの容量が不足しているため、CIFS アクセスログを退避できませんでした。 (0) CIFS アクセスログの退避先のディレクトリの容量を確保してください。再度エラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM09066-W | Warning | An attempt to save the CIFS access log has failed. CIFS アクセスログの退避に失敗しました。 | 内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 補足 ファイルシステムやLU に問題がある場合に、このメッセージが出力されることもあります。 ファイルシステム、LU の状態、SNMP 通知メッセージ、E-mail アラート通知を確認し、問題がある場合はヘルプに従って対処してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQM09109-W | Warning | The CIFS access logs cannot be saved because the directory for storing the CIFS access logs (<ディレクトリ名>) is in a file system for which content sharing is set to On (the namespace access type is set to read-only). CIFS アクセスログの退避先のディレクトリ (<ディレクトリ名>) は、コンテンツ共有がオン (ネームスペースアクセスタイプが参照) のファイルシステムにあるため、CIFSアクセスログを退避できません。 | コンテンツ共有がオンであるファイルシステムには、CIFS アクセスログを退避できません。 (0) コンテンツ共有がオンでないファイルシステムのディレクトリを、CIFS アクセスログの退避先に設定してください。 |
| KAQM09112-I | Information | The email notification settings were successfully set. E-mail 通知の設定が完了しました。 | E-mail 通知の設定が完了したことを通知するメッセージです。 (0) 対処の必要はありません。 |
| KAQM09119-W | Warning | The CIFS access logs cannot be saved because the directory (<ディレクトリ名>) for storing the CIFS access logs is on a file system for which home-directory roaming is enabled. CIFS アクセスログの退避先のディレクトリ (<ディレクトリ名>) は、ホームディレクトリローミング対応ファイルシステムにあるため、CIFSアクセスログを退避できません。 | ホームディレクトリローミング対応ファイルシステムには、CIFS アクセスログを退避できません。 (0) CIFS アクセスログの退避先のディレクトリには、退避先として使用できるディレクトリを設定してください。 |
| KAQM09201-E | Error | The format of the performance statistics transfer settings file is incorrect. Failed to transfer the performance statistics. 性能統計情報転送設定ファイルの形式が不正なため、性能統計情報の転送に失敗しました。 | 性能統計情報転送設定ファイルに記載されたパス情報の形式が不正です。 (0) 性能統計情報転送設定ファイルの内容を見直してください。 |
| KAQM09202-E | Error | The output-destination directory for the performance statistics (<ディレクトリ名>) does not exist. 性能統計情報の転送先のディレクトリ (<ディレクトリ名>) は存在しません。 | 性能統計情報の転送先のディレクトリがファイルシステム内に存在しません。 (0) 性能統計情報の転送先のディレクトリを再設定してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM09203-E | Error | The output-destination directory for the performance statistics (<ディレクトリ名>) is specified using a relative path or symbolic link. 性能統計情報の転送先のディレクトリ (<ディレクトリ名>) が相対パスまたはシンボリックリンクで設定されています。 | 性能統計情報の転送先のディレクトリが相対パスまたはシンボリックリンクで設定されています。 (0) 性能統計情報の転送先を絶対パスで指定し直してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM09204-E | Error | Failed to transfer the performance statistics. The file system in which the output-destination directory (<ディレクトリ名>) exists has not been mounted. This might be due to the resource group being in the Offline state, a failover occurring, or the virtual server not running normally. 性能統計情報の転送に失敗しました。転送先のディレクトリ (<ディレクトリ名>) が存在するファイルシステムがマウントされていません。リソースグループがOffline 状態か、フェールオーバーしているか、またはVirtual Server が正常に稼働していないおそれがあります。 | 性能統計情報の転送先のディレクトリが存在するファイルシステムがマウントされていません。リソースグループがOffline 状態か、フェールオーバーしているか、またはVirtual Server が正常に稼働していない場合は問題点を解消してください。ファイルシステムがマウントされていない場合は、ファイルシステムをマウントしてください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQM09205-E | Error | The file system that contains the output-destination directory for the performance statistics (<ディレクトリ名>) is mounted as read-only. 性能統計情報の転送先のディレクトリ (<ディレクトリ名>) が存在するファイルシステムが読み取り専用でマウントされています。 | ファイルシステムが読み取り専用でマウントされているため、性能統計情報を転送できませんでした。 (0) 性能統計情報の転送先のディレクトリが存在するファイルシステムを読み書き可能な状態でマウントしてください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM09206-E | Error | The file system that contains the output-destination directory for the performance statistics (<ディレクトリ名>) is blocked. 性能統計情報の転送先のディレクトリ (<ディレクトリ名>) が存在するファイルシステムが閉塞しています。 | ファイルシステムが閉塞していたため、性能統計情報を転送できませんでした。 (0) 保守員に連絡してください。 |
| KAQM09207-E | Error | Failed to transfer the performance statistics. 性能統計情報の転送に失敗しました。 | 内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM09212-E | Error | Failed to update the settings information. (detailed message = <詳細メッセージ>) 設定情報を更新する処理に失敗しました。(詳細メッセージ = <詳細メッセージ>) | 設定情報の更新処理でエラーが発生したため、処理を中断しました。 (0) 詳細メッセージを参照して要因を取り除いてから、再度実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM09213-I | Information | The performance statistics to be transferred does not exist. 転送対象の性能統計情報が存在しませんでした。 | 転送対象の性能統計情報が存在しませんでした。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM09218-E | Error | Internal processing failed. 内部処理に失敗しました。 | システムファイルの処理に使用される資源の一部が、ほかの操作に占有されているおそれがあります。 (0) しばらくたってから、再度実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM09220-E | Error | The performance statistics could not be transferred because the output-destination directory already contains a file with the same name. (performance statistics that could not be transferred = <転送できなかった性能統計情報の絶対パス>) 転送先のディレクトリに、すでに同一名称のファイルが存在したため、性能統計情報を転送できませんでした。 (転送できなかった性能統計情報 = <転送できなかった性能統計情報の絶対パス>) | 転送先のディレクトリに、すでに同一名称のファイルが存在したため、性能統計情報を転送できませんでした。 (0) 転送先のディレクトリに存在している同一名称のファイル名を変更してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM09221-E | Error | Failed to transfer the performance statistics. (directory = <ディレクトリ名>) 性能統計情報の転送に失敗しました。 (ディレクトリ = <ディレクトリ名>) | ディスク容量不足、I/O エラーまたはメモリー不足により、性能統計情報の取得または転送でエラーが発生しました。 (0) ファイルシステムに十分な空き容量があることを確認してください。問題がなければ、システムとファイルシステムの状態が正常であることを確認してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|--|
| KAQM09222-E | Error | Failed to transfer the performance statistics. The path to the outputdestination directory includes a directory that is used by the system. (output-destination directory = <ディレクトリパス>) 性能統計情報の転送に失敗しました。転送先ディレクトリのパスに、システムが使用するディレクトリが含まれています。(転送先ディレクトリ = <ディレクトリパス>) | 性能統計情報の転送先に、システムが使用するディレクトリ下のパスが指定されています。 (0) 性能統計情報の転送先には、システムが使用するディレクトリを含まないパスを指定してください。 |
| KAQM09223-E | Error | Failed to transfer the performance statistics. 性能統計情報の転送に失敗しました。 | システムファイルの処理に使用される資源の一部が、ほかの操作に占有されているおそれがあります。 (0) システムとファイルシステムの状態が正常であることを確認してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM12064-W | Warning | A quota soft limit was exceeded. (generating time = <発生日時>, Physical Node host name or virtual server name = <Physical Node ホスト名またはVirtual Server 名>, node number = <ノード番号>, equipment identification number = <装置識別番号>, file system name = <ファイルシステム名>, number of users exceeding the block soft limit = <ユーザー数>, number of groups exceeding the block soft limit = <グループ数>, number of users exceeding the block grace period = <ユーザー数>, number of groups exceeding the block grace period = <グループ数>, number of users exceeding the i-node soft limit = <ユーザー数>, number of groups exceeding the i-node soft limit = <グループ数>, number of users exceeding the i-node grace period = <ユーザー数>, number of groups exceeding the i-node grace period = <グループ数>) Quota のソフトリミット超過を検出しました。(発生日時= <発生日時>, Physical Node ホスト名または Virtual Server 名= <Physical Node ホスト名またはVirtual Server 名>, ノード番号= <ノード番号>, 装置識別番号= <装置識別番号>, ファイルシステム名= <ファイルシステム名>, block のソフトリミットを超過しているユーザー数=<ユーザー数>, block のソフトリミットを超過しているグループ数=<グループ数>, block の猶予期間を超過しているユーザー数= <ユーザー数>, block の猶予期間を超過しているグループ数= <グループ数>, i-node のソフトリミットを超過しているユーザー数= <ユーザー数>, inodeのソフトリミットを超過しているグループ数= <グループ数>, inodeの猶予期間を超過しているユーザー数= <ユーザー数>, i-node の猶予期間を超過しているグループ数= <グループ数>) | Quota のソフトリミット超過を検出しました。 (0) quotaget コマンドでソフトリミットや猶予期間を超過しているユーザーと グループを確認し、必要に応じて使用状況をエンドユーザーに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|--|
| KAQM12065-W | Warning | <p>A subtree quota soft limit was exceeded. (generation date and time = <発生日時>, Physical Node host name or virtual server name = < Physical Node ホスト名または Virtual Server 名>, node number = <ノード番号>, equipment identification number = <装置識別番号>, file system name = <ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>)</p> <p>サブツリーQuota のソフトリミット超過を検出しました。(発生日時=<発生日時>, Physical Node ホスト名またはVirtual Server 名=<Physical Node ホスト名またはVirtual Server 名>, ノード番号=<ノード番号>, 装置識別番号=<装置識別番号>, ファイルシステム名=<ファイルシステム名>, ディレクトリ名=<ディレクトリ名>)</p> | <p>サブツリーQuota のソフトリミット超過を検出しました。 (0)</p> <p>stquota コマンドでソフトリミット, 猶予期間および使用量を確認し, 必要に応じて使用状況をエンドユーザーに連絡してください。</p> |
| KAQM12066-W | Warning | <p>A subtree quota soft limit was exceeded. (generation date and time = <発生日時>, Physical Node host name or virtual server name = < Physical Node ホスト名または Virtual Server 名>, node number = <ノード番号>, equipment identification number = <装置識別番号>, file system name = <ファイルシステム名>, number of directories exceeding the block soft limit = <ディレクトリ数>, number of directories exceeding the block grace period = <ディレクトリ数>, number of directories exceeding the i-node soft limit = <ディレクトリ数>, number of directories exceeding the i-node grace period = <ディレクトリ数>)</p> <p>サブツリーQuota のソフトリミット超過を検出しました。(発生日時=<発生日時>, Physical Node ホスト名またはVirtual Server 名=<Physical Node ホスト名またはVirtual Server 名>, ノード番号=<ノード番号>, 装置識別番号=<装置識別番号>, ファイルシステム名=<ファイルシステム名>, block のソフトリミットを超過しているディレクトリ数=<ディレクトリ数>, block の猶予期間を超過しているディレクトリ数=<ディレクトリ数>, i-node のソフトリミットを超過しているディレクトリ数=<ディレクトリ数>, i-node の猶予期間を超過しているディレクトリ数=<ディレクトリ数>)</p> | <p>サブツリーQuota のソフトリミット超過を検出しました。 (0)</p> <p>stquota コマンドでソフトリミット, 猶予期間および使用量を確認し, 必要に応じて使用状況をエンドユーザーに連絡してください。</p> |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|---|
| KAQM12067-W | Warning | <p>A subtree quota that was set to a user or group soft limit was exceeded. (generation date and time = <発生日時>, Physical Node host name or virtual server name = < Physical Node ホスト名または Virtual Server 名>, node number = <ノード番号>, equipment identification number = <装置識別番号>, file system name = <ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>, number of users exceeding the block soft limit = <ユーザー数>, number of groups exceeding the block soft limit = <グループ数>, number of users exceeding the block grace period = <ユーザー数>, number of groups exceeding the block grace period = <グループ数>, number of users exceeding the i-node soft limit = <ユーザー数>, number of groups exceeding the i-node soft limit = <グループ数>, number of users exceeding the i-node grace period = <ユーザー数>, number of groups exceeding the i-node grace period = <グループ数>)</p> <p>ユーザーまたはグループに対して設定されたサブツリーQuota のソフトリミット超過を検出しました。(発生日時=<発生日時>, Physical Nodeホスト名またはVirtual Server 名=< Physical Node ホスト名または Virtual Server 名>, ノード番号=<ノード番号>, 装置識別番号=<装置識別番号>, ファイルシステム名=<ファイルシステム名>, ディレクトリ名=<ディレクトリ名>, block のソフトリミットを超過しているユーザー数=<ユーザー数>, block のソフトリミットを超過しているグループ数=<グループ数>, block の猶予期間を超過しているユーザー数=<ユーザー数>, blockの猶予期間を超過しているグループ数=<グループ数>, i-node のソフトリミットを超過しているユーザー数=<ユーザー数>, i-node のソフトリミットを超過しているグループ数=<グループ数>, i-node の猶予期間を超過しているユーザー数=<ユーザー数>, i-node の猶予期間を超過しているグループ数=<グループ数>)</p> | <p>ユーザーまたはグループに対して設定されたサブツリーQuota のソフトリミット超過を検出しました。</p> <p>(0)</p> <p>stquotalist コマンドでソフトリミットまたは猶予期間を超過しているユーザーおよびグループを確認し、必要に応じて使用状況をエンドユーザーに連絡してください。</p> |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQM12068-W | Warning | <p>A subtree quota that was set to a user or group soft limit was exceeded. (generation date and time = <発生日時>, Physical Node host name or virtual server name = < Physical Node ホスト名または Virtual Server 名>, node number = <ノード番号>, equipment identification number = <装置識別番号>, file system name = <ファイルシステム名>, number of directories that have users exceeding the block soft limit = <ディレクトリ数>, number of directories that have groups exceeding the block soft limit = <ディレクトリ数>, number of directories that have groups exceeding the block grace period = <ディレクトリ数>, number of directories that have groups exceeding the block grace period = <ディレクトリ数>, number of directories that have users exceeding the i-node soft limit = <ディレクトリ数>, number of directories that have groups exceeding the i-node soft limit = <ディレクトリ数>, number of directories that have users exceeding the i-node grace period = <ディレクトリ数>, number of directories that have groups exceeding the i-node grace period = <ディレクトリ数>)</p> <p>ユーザーまたはグループに対して設定されたサブツリーQuota のソフトリミット超過を検出しました。(発生日時 = <発生日時>, Physical Nodeホスト名またはVirtual Server 名 = < Physical Node ホスト名または Virtual Server 名>, ノード番号 = <ノード番号>, 装置識別番号 = <装置識別番号>, ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, block のソフトリミットを超過しているユーザーが存在するディレクトリ数 = <ディレクトリ数>, block のソフトリミットを超過しているグループが存在するディレクトリ数 = <ディレクトリ数>, block の猶予期間を超過しているユーザーが存在するディレクトリ数 = <ディレクトリ数>, blockの猶予期間を超過しているグループが存在するディレクトリ数 = <ディレクトリ数>, i-node のソフトリミットを超過しているユーザーが存在するディレクトリ数 = <ディレクトリ数>, i-node のソフトリミットを超過しているグループが存在するディレクトリ数 = <ディレクトリ数>, i-node の猶予期間を超過しているユーザーが存在するディレクトリ数 = <ディレクトリ数>, i-node の猶予期間を超過しているグループが存在するディレクトリ数 = <ディレクトリ数>)</p> | <p>ユーザーまたはグループに対して設定されたサブツリーQuota のソフトリミット超過を検出しました。</p> <p>(0)</p> <p>stquota コマンドとstquotalist コマンドでソフトリミットまたは猶予期間を超過しているユーザーおよびグループを確認し、必要に応じて使用状況をエンドユーザーに連絡してください。</p> |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQM13019-E | Error | An attempt to read the management information has failed. 管理情報の読み込みに失敗しました。 | 共有LU, またはOS disk に障害が発生しました。 (0) システムLU の設定や障害の有無について確認して、再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13037-E | Error | An attempt to update the management information has failed. 管理情報の更新に失敗しました。 | 共有LU, またはOS disk に障害が発生しました。 (0) システムLU の設定や障害の有無について確認して、再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13071-E | Error | The operation could not be executed because an attempt to save the OS disk has failed. (node=<問題のあるノード>) OS disk の保存に失敗したため、操作を実行できませんでした。(ノード=<問題のあるノード>) | 保存処理に必要なディスク容量が不足しているか、OS disk または共有LU に障害が発生しているノードが存在します。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得したあと不要なログファイルを削除し、システムLU の設定や障害の有無について確認して再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13072-E | Error | The operation could not be executed because there is not enough space on the OS disk. OS disk の空き容量が不足しているため、操作を実行できませんでした。 | OS disk の空き容量が不足しているおそれがあります。 (0) 不要なcore ファイルやログファイルを削除してから再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13074-E | Error | The operation could not be executed because the node cannot communicate. 通信できない状態のノードが存在するため、操作を実行できませんでした。 | 通信できないノードが存在します。 (0) インターフェースまたはルーティングの設定内容が管理LAN のネットワーク設定に影響していないかどうか、ノードが停止していないかどうか、またはネットワークに障害が発生していないかどうかを確認してください。また、特定のノードへの負荷が高かったため、処理が完了できなかったことも考えられます。しばらくしてから同じ処理を再度実行してください。それでもエラーが発生する場合は、保守員に連絡してください。 |
| KAQM13076-E | Error | The operation could not be executed because an attempt to save the cluster management LU failed. 共有LU の保存に失敗したため、操作を実行できませんでした。 | 共有LU またはOS disk に障害が発生しました。 (0) システムLU の設定や障害の有無について確認して、再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 * 極まれに、システムがビジー状態の場合にも、このメッセージが出力されることがあります。 |
| KAQM13089-E | Error | An attempt to read the management information has failed. 管理情報の読み込みに失敗しました。 | Virtual Server OS disk に障害が発生したおそれがあります。 (0) File Services Manager の設定や障害の有無について確認して、再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13090-E | Error | A scheduled attempt to save settings was cancelled because an attempt to move to the destination directory failed. 転送先ディレクトリへの移動に失敗したため、設定情報の定時保存を中止しました。 | ディレクトリが存在しないか、または指定されているユーザー名ではアクセスできないおそれがあります。 (0) FTP サーバにディレクトリが存在するかどうかを確認してください。ディレクトリが存在する場合は、指定されているユーザー名でディレクトリにアクセスできるかどうかを確認してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQM13091-E | Error | A scheduled attempt to save settings was cancelled because an attempt to log in to the FTP server failed. FTP サーバへのログインに失敗したため、設定情報の定時保存を中止しました。 | ユーザー名またはパスワードが誤っているおそれがあります。 (0) FTP サーバにユーザーが正しく登録されているかどうかを確認してください。 |
| KAQM13093-E | Error | A scheduled attempt to save the settings file was cancelled because there is not enough space on the virtual server OS disk. Virtual Server OS disk の空き容量が不足しているため、設定情報の定時保存を中止しました。 | Virtual Server OS disk の空き容量が不足しているおそれがあります。 (0) 不要なcore ファイルやログファイルを削除してください。 |
| KAQM13104-E | Error | A scheduled attempt to save settings was cancelled because an attempt to connect to the FTP server failed. FTP サーバとの接続に失敗したため、設定情報の定時保存を中止しました。 | FTP サーバが正常に動作していないか、またはネットワークに障害が発生しているおそれがあります。 (0) FTP サーバが正常に動作しているかどうか、およびネットワークに障害が発生していないかどうかを確認してください。また、node, FTPサーバ、およびネットワークの負荷が高かったため、FTP サーバに接続できなかったことも考えられます。これらの負荷が通常の状態になったことを確認してから、手動保存を実行してください。 |
| KAQM13111-E | Error | A scheduled attempt to save settings has failed. 設定情報の定時保存に失敗しました。 | 処理に使用される資源の一部が、ほかのユーザーに占有されているか、占有していたノードが停止したか、またはシステムエラーが発生したおそれがあります。 (0) 設定情報の定時保存の時刻を、ほかの定期実行ジョブが動作しない時刻に変更してください。 また、定時保存する時刻にコマンドの実行やGUI 操作をしないでください。もし、処理中のノードが停止してしまった場合は、15 分程度待つか、停止したノードを起動してください。再度エラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13115-E | Error | All scheduled attempts, and retries, to save the settings file have failed. 設定情報の定時保存時のリトライにすべて失敗しました。 | システムがビジー状態であるか、Virtual Server OS disk に障害が発生したおそれがあります。 (0) ノードの負荷が通常の状態にあることを確認してから、手動保存を実行してください。手動保存を実行してもエラーが発生する場合は、システムLU の設定や障害の有無を確認してください。問題がない場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13118-E | Error | An attempt to transfer a settings file has failed. 設定情報ファイルの転送に失敗しました。 | ファイルの転送で何らかの問題が発生したおそれがあります。 (0) FTP サーバが正常に動作しているかどうか、ネットワークに障害が発生していないかどうか、およびFTP サーバのディレクトリにファイルの書き込みができる状態かどうかを確認してください。問題がない場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13147-E | Error | The operation could not be performed because there is not enough free space in the output directory. 出力先ディレクトリの空き容量が不足しているため、操作を実行できませんでした。 | 出力先ディレクトリの空き容量が不足しているおそれがあります。 (0) 出力先ディレクトリの空き容量を確認してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|--|
| KAQM13148-E | Error | The file system that contains the specified directory (<出力ディレクトリ>) is not mounted. 指定したディレクトリ (<出力ディレクトリ>) が存在するファイルシステムがマウントされていません。 | 指定したディレクトリが存在するファイルシステムがマウントされていません。 (0) 指定したディレクトリが存在するファイルシステムを読み書き可能な状態でマウントしてください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM13149-E | Error | The specified directory (<出力ディレクトリ>) does not exist. 指定したディレクトリ (<出力ディレクトリ>) は存在しません。 | 指定されたディレクトリがありません。 (0) 作成されているディレクトリを指定してください。 |
| KAQM13150-E | Error | The file system that contains the specified directory (<出力ディレクトリ>) is mounted as read-only. 指定したディレクトリ (<出力ディレクトリ>) が存在するファイルシステムが読み取り専用でマウントされています。 | 指定したディレクトリが存在するファイルシステムが読み取り専用でマウントされています。 (0) 読み書き可能でマウントされているファイルシステム内のディレクトリを指定するか、ファイルシステムを読み書き可能でマウントし直して再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、守員に連絡してください。 |
| KAQM13151-E | Error | The specified directory (<出力ディレクトリ>) contains a relative path or symbolic link. 指定したディレクトリ (<出力ディレクトリ>) に相対パスまたはシンボリックリンクが含まれています。 | 指定したディレクトリに相対パスまたはシンボリックリンクが含まれています。 (0) ディレクトリを絶対パスで指定して、再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM13152-E | Error | The file system that contains the specified directory (<出力ディレクトリ>) is blocked. 指定したディレクトリ (<出力ディレクトリ>) が存在するファイルシステムが閉塞しています。 | 指定したディレクトリが存在するファイルシステムが閉塞しています。 (0) 保守員に連絡してください。 |
| KAQM13154-E | Error | The specified directory (<出力ディレクトリ>) cannot be used. 指定されたディレクトリ (<出力ディレクトリ>) は使用できません。 | ファイル共有を作成できるディレクトリ以外は指定できません。 (0) ファイル共有を作成できるディレクトリを指定してください。 |
| KAQM13160-W | Warning | A timeout occurred while saving to the OS disk. OS disk の保存でタイムアウトが発生しました。 | システムがビジー状態であるか、OS disk または共有LU に障害が発生しているノードが存在します。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM13161-W | Warning | A timeout occurred while saving to the cluster management LU. 共有LU の保存でタイムアウトが発生しました。 | システムがビジー状態であるか、共有LU またはOS disk に障害が発生しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM13162-E | Error | All retries to perform a periodic saveof setting information have failed. 設定情報の定時保存時のリトライにすべて失敗しました。 | システムがビジー状態であるか、共有LU またはOS disk に障害が発生しているおそれがあります。 (0) しばらくしてから、手動保存を実行してください。手動保存を実行してもエラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM13168-W | Warning | A scheduled attempt to save settings was cancelled because the resource group is not running normally, or the resource group might be failing over. リソースグループが正常に起動していないか、フェールオーバーしているおそれがあるため、設定情報の定時保存を中止しました。 | リソースグループがOffline 状態か、フェールオーバーしているおそれがあります。 (0) クラスタ、ノードおよびリソースグループが正しく起動していることを確認してから、手動保存を実行してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQM13175-W | Warning | A scheduled attempt to save settings was canceled because the resource group or virtual server might not be running normally. リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していないおそれがあるため、設定情報の定時保存を中止しました。 | リソースグループまたはVirtual Server がOffline 状態であるおそれがあります。 (0) リソースグループまたはVirtual Server が正しく稼働していることを確認してから、手動保存を実行してください。 |
| KAQM13191-E | Error | The server information for transfer of the system configuration information file has not been set. システム設定情報ファイルの転送先サーバの情報が設定されていません。 | システム設定情報ファイルの転送先サーバの情報が設定されていません。 (0) システム設定情報ファイルの転送先サーバの情報を設定してください。 |
| KAQM13196-W | Warning | The location for the scheduled saving of the default settings file may not be changed from the default value. If the setting information file is not saved, the system cannot be restored in the event of a problem. 定時保存の出力先がデフォルト設定から変更されていません。設定情報ファイルがないと、問題が発生した場合にシステムを回復できなくなります。 | 定時保存の設定がデフォルトのままです。 (0) 定時保存の出力先を変更してください。デフォルト設定のまま使用する場合、出力されるファイルを必ずシステムの外部へ保存したあと削除してください。 |
| KAQM13221-E | Error | An attempt to save system settings was canceled because the local data encryption key is corrupted. ローカルデータの暗号化鍵が壊れているおそれがあるため、システム設定情報の保存を中止しました。 | ローカルデータの暗号化鍵が壊れているおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。そのあと、システム設定情報を回復してください。 |
| KAQM14105-E | Error | Some of the resources to be used for the requested processing are being used by another user. 要求された処理で使用する資源がほかのユーザーに使用されています。 | 処理に使用される資源の一部が、ほかのユーザーに占有されているか、占有していたノードが停止してしまいました。 (0) しばらくしてから実行してください。もし、処理中のノードが停止してしまった場合は、15 分程度待つか、停止したノードを起動してください。 補足 メッセージリファレンス (IF313) 「H. 処理に使用する資源を確保できないためにタイムアウトが発生した場合の対処」を参照して、対処してください。 |
| KAQM14129-E | Error | The operation could not be performed because access to the Cluster Management LU is being suppressed. 共有LU へのアクセスが抑止されているため、操作できませんでした。 | OS の起動処理が完了していないおそれがあります。OS が起動している場合は、共有LU またはシステムファイルに障害が発生したか、共有LU が閉塞状態です。または、リソースグループが強制的にフェールオーバーされたため、共有LU へのアクセスが抑止されています。 (0) OS の起動処理が完了していない場合は、数分後、再度実行してください。このメッセージが繰り返し表示される場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM14134-E | Error | An error occurred in the shared processing of commands. (Error= <エラー>) コマンドの共通処理でエラーが発生しました。(エラー=<エラー>) | コマンドの共通処理でエラーが発生しました。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM14150-E | Error | An error occurred in the system. システムにエラーが発生しました。 | 実行環境を判定する処理に失敗しました。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、保守員に連絡してください。ログを取得できない場合は、メッセージID を保守員に連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|---|
| KAQM15005-E | Error | The user ID is not entered. ユーザー名が入力されていません。 | ユーザー名が入力されていません。 (0) ユーザー名を入力してください。 |
| KAQM16049-E | Error | An attempt to join the specified Active Directory failed. Active Directory に参加できませんでした。 | Active Directory に参加するコマンド (net ads join) が正しく実行できませんでした。 (0) Active Directory 認証に必要なすべてのパラメーター、ノードまたはVirtual Server のドメインおよびDNS サーバを確認してください。 正しく設定されている場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM16175-E | Error | The setting for allowing Active Directory users to log in to the FTP and SFTP services cannot be enabled because the CIFS service authentication mode is not set to Active Directory authentication. CIFS サービスの認証モードがActive Directory 認証でないため、FTP およびSFTP サービスでActive Directory 登録ユーザーのログインを許可するよう設定できません。 | Active Directory 認証以外の認証モードがCIFS サービスで設定されています。 (0) CIFS サービスの認証モードを、Active Directory 認証に設定してから、再度実行してください。 |
| KAQM23810-E | Error | An attempt to start the <マイグレーションウィザードまたはマイグレーションタスク管理> has failed. <マイグレーションウィザードまたはマイグレーションタスク管理>の起動に失敗しました。 | 以下の要因が考えられます。 ・ リソースグループまたはVirtual Server がOnline 状態でない。 ・ 管理ポートに仮想IP アドレス(サービスIPアドレス)が正しく設定されていない。 ・ ノードとの通信で一時的なエラーが発生した。 (0) リフレッシュ処理を実行してください。 Physical Node を操作する場合は、リソースグループがOnline 状態であること、および管理ポートに仮想IP アドレス(サービスIP アドレス)が正しく設定されていることを確認してください。Virtual Server を操作する場合は、Virtual Server がOnline 状態であることを確認してください。要因を取り除き、再度実行してください。繰り返しエラーが発生する場合は管理サーバのログを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM32040-W | Warning | The fixed GID allocated to the FC path has reached the threshold. FC パスに割り当てる固定GID が閾値に達しました。 | FC パスに割り当てる固定GID が閾値に達しました。 (0) fpgidmapdel コマンドを使用して、固定GIDマップを初期化してください。 |
| KAQM32041-E | Error | The fixed GID allocated to the FC path exceeds the maximum value. FC パスに割り当てる固定GID が上限値を超えました。 | FC パスに割り当てる固定GID が上限値を超えました。 (0) fpgidmapdel コマンドを使用して、固定GIDマップを初期化してください。 |
| KAQM33036-W | Warning | An attempt to set or release the copy control attribute has failed. (ID = <グループID> , LUN = <LU 番号> , <詳細情報>) コピー抑止属性の設定または解除に失敗しました。(ID = <グループID> , LUN = <LU 番号> , <詳細情報>) | LU を認識または解除する際に、コピー抑止属性の設定または解除に失敗しました。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM33046-E | Error | Initialization of the user disk failed. ユーザーディスクの初期化に失敗しました。 | ユーザーディスクへのアクセス中に障害を検出しました。ユーザーディスクに障害が発生しているか、ユーザーディスクとの接続に問題があるおそれがあります。 (0) FC パスの状態を確認して、ストレージシステムとの接続に問題がないか確認してください。ストレージシステムとの接続に問題がない場合は、ノードを再起動してください。再度エラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQM33048-E | Error | Creation of a user LU failed because the drive required to create the LU is not connected. ユーザーLU を作成するために必要なドライブが接続されていないため、ユーザーLU の作成に失敗しました | ユーザーLU を作成するために必要なドライブが接続されていません。 (0) 必要なドライブを接続してから、再度新規インストールを実行してください。 |
| KAQM34010-E | Error | The specified virtual server does not exist. (virtual server name = <指定されたVirtual Server 名>) 指定されたVirtual Server は存在しません。(Virtual Server 名=<指定されたVirtual Server 名>) | 指定されたVirtual Server は存在しません。 (0) 存在するVirtual Server を指定して、再度実行してください。 |
| KAQM34013-E | Error | The specified user LU does not exist in the system or a path error occurred. (user LU name = <指定されたユーザーLU 名>) 指定されたユーザーLU はシステム上に存在しないか、またはパスに障害が発生しています。(ユーザーLU名=<指定されたユーザーLU 名>) | 指定されたユーザーLU はシステム上に存在しないか、またはパスに障害が発生しています。 (0) 割り当て可能なユーザーLU を指定して、再度実行してください。 |
| KAQM34017-E | Error | The specified IP address is already set for another interface on the virtual server, or is already set for the same interface on another virtual server or the physical node. (IP address = < IP アドレス>) 指定されたIP アドレスは、すでにVirtual Server 内のほかのインターフェース、もしくはほかのVirtual Server またはPhysical Node の同じインターフェースに設定されています。(IP アドレス = < IP アドレス>) | 指定されたIP アドレスは、すでにVirtual Server 内のほかのインターフェース、もしくはほかのVirtual Server またはPhysical Node の同じインターフェースに設定されています。 (0) インターフェースの設定を確認し、ほかのIPアドレスを指定して再度実行してください。 |
| KAQM34019-E | Error | A system error occurred. システムエラーが発生しました。 | システムの処理に問題があるか、システムで使用している外部サーバとの接続に問題が発生しているおそれがあります。 (0) 「トラブルシューティングガイド」に従って、サーバとの接続に問題がないか確認し、対処してから再度実行してください。なお、接続が不要なサーバとの間で問題が発生している場合は、接続に関する設定を削除してから、再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34021-E | Error | An attempt to read network information has failed. ネットワーク情報の読み込みに失敗しました。 | OS disk, Virtual Server OS LU またはシステムファイルの処理に問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34027-E | Error | The specified virtual server is not running. 指定されたVirtual Server が起動していません。 | 指定されたVirtual Server が起動していません。 (0) Virtual Server の状態を確認してから、再度実行してください。 |
| KAQM34046-E | Error | An attempt to upgrade a program on a virtual server has failed. (virtual server = <更新インストール対象のVirtual Server 名>) Virtual Server のプログラムの更新インストールに失敗しました。 (Virtual Server =<更新インストール対象のVirtual Server 名>) | Virtual Server のプログラムの更新インストールに失敗しました。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQM34047-E | Error | An attempt to upgrade a program on a virtual server has failed. (virtual server = <更新インストール対象のVirtual Server 名>) Virtual Server のプログラムの更新インストールに失敗しました。 (Virtual Server =<更新インストール対象のVirtual Server 名>) | Virtual Server のプログラムの更新インストールに失敗しました。 (0) Virtual Server を回復してから、再度実行してください。 Virtual Server の回復手順についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34048-E | Error | An attempt to upgrade a program on a virtual server has failed. (virtual server = <更新インストール対象のVirtual Server 名>) Virtual Server のプログラムの更新インストールに失敗しました。 (Virtual Server =<更新インストール対象のVirtual Server 名>) | Virtual Server のプログラムの更新インストールに失敗しました。 (0) Virtual Server OS LU として割り当てるユーザーLU を見直してから、Virtual Server を回復してください。 Virtual Server の回復手順についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34049-E | Error | The operation cannot be performed because the version of the program on the node might be older than the version of the program on the virtual server. ノードのプログラムのバージョンが、Virtual Server のプログラムのバージョンより古いおそれがあるため、操作を実行できません。 | ノードのプログラムのバージョンが、Virtual Server のプログラムのバージョンより古いおそれがあります。 (0) Virtual Server を回復してから、再度実行してください。 Virtual Server の回復手順についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34050-E | Error | The operation cannot be performed because a timeout occurred during installation of a program on a virtual server. Virtual Server へのプログラムのインストール中にタイムアウトが発生したため、操作を実行できません。 | Virtual Server へのプログラムのインストール中にタイムアウトが発生しました。 (0) しばらくしてから再度実行してください。 |
| KAQM34058-E | Error | The status of the specified virtual server does not allow execution. 指定されたVirtual Server は処理を実行できる状態ではありません。 | 指定されたVirtual Server は処理を実行できる状態ではありません。 (0) Virtual Server の状態を確認してから、再度実行してください。 |
| KAQM34060-E | Error | Communication between nodes has failed. ノード間の通信に失敗しました。 | LAN ケーブルが断絶しているか、クラスタ内のどちらかのノードへの負荷が高いおそれがあります。または、クラスタ内のもう一方のノードに障害が発生しているおそれがあります。 (0) LAN ケーブルが接続されていること、ノードの負荷が通常の状態になったこと、もう一方のノードがDOWN ではないことを確認して、再度操作してください。再度エラーが発生する場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM34061-E | Error | An error occurred in the system. システムにエラーが発生しました。 | システムファイルの処理に問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34063-E | Error | The specified virtual server cannot be started because an attempt to upgrade a program on the virtual server has failed. Virtual Server へのプログラムの更新インストールに失敗したため、Virtual Server を起動できません。 | Virtual Server へのプログラムの更新インストールに失敗したため、Virtual Server を起動できません。 (0) Virtual Server を回復してから、再度実行してください。 Virtual Server の回復手順についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34077-E | Error | An error occurred in the cluster Management LU. 共有LU に障害が発生しました。 | LU が閉塞状態です。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQM34101-E | Error | An attempt to update a system file failed. システムファイルの更新に失敗しました。 | ノード間の通信に失敗したか、OS disk, Virtual Server OS LU またはシステムファイルの処理に問題があるおそれがあります。 (0) もう一方のノードの状態を確認して、再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、ネットワークの状態を確認してください。ネットワークに問題がない場合は、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM34103-E | Error | An attempt to write network information has failed. ネットワーク情報の書き込みに失敗しました。 | OS disk, Virtual Server OS LU またはシステムファイルの処理に問題があるおそれがあります。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34104-E | Error | The attempt to release an IP address assigned to a virtual server has failed. Virtual Server に割り当てられているIP アドレスの解放に失敗しました。 | システムの処理に問題があるおそれがあります。 (0) OS を再起動したあと、再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34105-E | Error | An attempt to assign an IP address to a virtual server has failed. Virtual Server へのIP アドレス割り当てに失敗しました。 | システムの処理に問題があるおそれがあります。 (0) OS を再起動したあと、再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34106-E | Error | An attempt to start the virtual server has failed. Virtual Server の起動に失敗しました。 | Virtual Server の起動に失敗しました。 (0) Virtual Server の状態を確認してから、再度実行してください。問題がない場合、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34107-E | Error | An attempt to stop the virtual server has failed. Virtual Server の停止に失敗しました。 | Virtual Server の停止に失敗しました。 (0) Virtual Server の状態を確認してから、再度実行してください。問題がない場合、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34108-E | Error | An attempt to acquire the status of the virtual server has failed. Virtual Server の状態取得に失敗しました。 | Virtual Server の状態取得に失敗しました。 (0) Virtual Server の状態を確認してから、再度実行してください。問題がない場合、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34109-E | Error | An attempt to set the network information has failed. ネットワーク情報の設定に失敗しました。 | OS disk またはVirtual Server OS LU の空き容量が不足しているおそれがあります。 (0) 不要なcore ファイルやログファイルを削除して、再度実行してください。再度エラーが発生する場合はカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM34112-E | Error | The operation cannot be performed because the CPU virtualization functionality is not enabled. CPU の仮想化機能が有効でないため、操作を実行できません。 | CPU の仮想化機能が有効でないため、操作を実行できません。 (0) カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQM34113-W | Warning | The settings for auto-delete timing of core files were not carried over to the virtual server. core ファイルの自動削除時刻の設定情報が、Virtual Server に引継がれませんでした。 | Core ファイルの自動削除時刻の設定情報が、Virtual Server に引継がれませんでした。 (0) Virtual Server 上の設定を見直し、必要であれば再設定してください。 |
| KAQM34117-E | Error | The node will be reset because an error occurred in the virtual server OS LU. Virtual Server OS LU に障害が発生したため、ノードをリセットします。 | Virtual Server OS LU が閉塞しているおそれがあります。 (0) Virtual Server OS LU の障害を回復してから、再度実行してください。再度エラーが発生する場合は、Virtual Server を回復してください。 Virtual Server の回復手順についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM34152-E | Error | Failed to apply the settings of the performance tuning function of the virtual server. Virtual Server の性能チューニング機能の反映に失敗しました。 | 処理に使用される資源の一部が、ほかのユーザーに占有されています。 (0) OS を再起動してください。 |
| KAQM34153-E | Error | Failed to apply the settings of the performance tuning function of the virtual server. Virtual Server の性能チューニング機能の反映に失敗しました。 | システムエラーが発生したおそれがあります。 (0) OS を再起動してください。再度エラーが発生する場合は、両ノードの全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM34154-E | Error | Failed to configure the NFS service of the virtual server. Virtual Server のNFS サービスの設定に失敗しました。 | 処理に使用される資源の一部が、ほかのユーザーに占有されているおそれがあります。または、システムエラーが発生したおそれがあります。 (0) Virtual Server を再起動してください。再度エラーが発生する場合は、Virtual Server の全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM35003-E | Error | An error occurred during startup of a node resource. リソースの起動処理で障害が発生しました。 | システムリソースの起動に失敗しました。 (0) システムメッセージに出力されているKAQM35nnn メッセージまたはKAQM04186-E メッセージから、障害の要因を特定し、該当メッセージの対処手順を実行してください。 |
| KAQM35004-E | Error | An attempt to nmounts the “Filesystem” type resource “ <マウントポイントパス> ” has failed. タイプ (Filesystem) のリソース (<マウントポイントパス>) のアンマウントに失敗しました。 注意 SNMP マネージャーに通知する場合、<マウントポイントパス>には「-」と表示されます。このとき、マウントポイントパスはシステムメッセージで確認してください。 | ファイルシステムのアンマウントに失敗しました。 (0) 障害が発生したリソースで、ファイルスナップショット機能を使用している場合、これらの機能を停止したあとに再度実行してください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM35005-E | Error | An unrecoverable error occurred in the resource information table. リソース情報テーブルに修復できない障害が発生しています。 | リソース情報テーブルに異常があるため、自動リストア処理に失敗しました。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM35007-E | Error | An attempt to start the node has failed. ノードの起動に失敗しました。 | リソースの起動処理でエラーが発生しました。 (0) このメッセージの前に出力されているメッセージに従って障害を取り除いたあと、再度実行してください。メッセージが出力されていない場合や障害が取り除けない場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|---|
| KAQM35008-E | Error | An attempt to stop the node has failed. ノードの停止に失敗しました。 | リソースの停止処理でエラーが発生しました。 (0) このメッセージの前に出力されているメッセージに従って障害を取り除いたあと、再度実行してください。メッセージが出力されていない場合や障害が取り除けない場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM35015-I | Information | Now starting a resource... (<リソースタイプ>) リソースを起動しています。... (<リソースタイプ>) | (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM35016-I | Information | Now stopping a resource... (<リソースタイプ>) リソースを停止しています。... (<リソースタイプ>) | (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM35017-E | Error | A timeout occurred while a resource was being stopped. リソースの停止でタイムアウトが発生しました。 | システムリソースの停止でタイムアウトが発生しました。 (0) ダンプ情報を回収して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM35018-E | Error | The ""<リソースタイプ>"" type resource ""<リソース名>"" is blocked. タイプ (<リソースタイプ>) のリソース (<リソース名>) は閉塞しています。 | システムリソースの起動に失敗しました。 (0) システム管理者は、リソースに発生した障害を取り除く必要があります。 ローカルデータの暗号化機能を使用している場合は、OS 起動時にKAQM05256-E, KAQM05258-E~KAQM05264-E のどれかのエラーメッセージが出力されていないか確認し、エラーが発生していた場合は、メッセージに従って対処してください。 障害リソースのタイプがLVM_volume またはFilesystem の場合、障害が発生しているファイルシステムおよびそのファイルシステムの差分格納デバイスの状態を確認し、状態に応じて対処してください。対処後、リソースグループの状態がOnline でない場合、リソースグループを強制停止したあと、再起動してください。この手順で回復できない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM35019-E | Error | A timeout occurred during the processing to start the "<リソースタイプ>-type resource group "<リソースグループ名>". リソースグループ (<リソースグループ名>) のタイプ (<リソースタイプ>) の起動でタイムアウトが発生しました。 | リソースグループの起動でタイムアウトが発生しました。 (0) リソースグループを強制停止したあと、再起動してください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM35020-W | Warning | The NFS share cannot be accessed from the NFS client, because name resolution of the public destination host for the NFS share failed during resource group startup. (<NFS 公開先ホスト名>) リソースグループの起動時に、NFS共有の公開先ホストの名前解決に失敗したため、NFS クライアントからアクセスできません。 (< NFS 公開先ホスト名>) | リソースグループの起動時に、名前解決できないNFS 共有の公開先ホスト名を検出しました。 (0) メッセージに表示された公開先ホストが名前解決できる状態にしたら、公開先ホストが正しく表示されていることをnfslist コマンドで確認し、NFS クライアントに障害が回復したことを通知してください。 |
| KAQM35021-W | Warning | One or more resources cannot be started because the Hitachi NAS NFS protocol license has not been set up. ライセンス (Hitachi NAS NFS protocol) が設定されていないため、起動できないリソースがあります。 | リソースを起動するために必要なライセンスが設定されていません。 (0) ライセンスを設定し、リソースグループを再起動してください。解決しない場合、全ログデータを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQM35022-E | Error | An attempt to start the “<リソースタイプ>-type resource group “<リソースグループ名>” failed. リソースグループ（<リソースグループ名>）のタイプ（<リソースタイプ>）の起動に失敗しました。 | 起動に失敗したリソースがあります。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM35025-E | Error | An attempt to start the “<リソースタイプ>-type resource group “<リソースグループ名>” failed. リソースグループ（<リソースグループ名>）のタイプ（<リソースタイプ>）の起動に失敗しました。 | 起動に失敗したリソースがあります。 (0) システムメッセージに出力されているKAQM35nnn メッセージまたはKAQM04186-E メッセージから、障害の要因を特定し、該当メッセージの対処手順を実行してください。 |
| KAQM37005-E | Error | The specified file system has not been mounted. (file system = <ファイルシステム名>) 指定されたファイルシステムがマウントされていません。（ファイルシステム = <ファイルシステム名>） | 指定されたファイルシステムがマウントされていません。 (0) ファイルシステムをマウントしてから再度実行するか、正しいファイルシステム名を指定して再度実行してください。 |
| KAQM37010-E | Error | The specified file system has been mounted as read-only. (file system = <ファイルシステム名>) 指定されたファイルシステムは読み取り専用でマウントされています。（ファイルシステム = <ファイルシステム名>） | 指定されたファイルシステムは読み取り専用でマウントされています。 (0) ファイルシステムを読み書き可能な状態でマウントしてから再度実行するか、正しいファイルシステム名を指定して再度実行してください。 |
| KAQM37020-E | Error | Memory is insufficient. メモリ不足が発生しました。 | メモリの確保に失敗しました。 (0) しばらくたってから、再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37021-E | Error | An internal error has occurred. 内部エラーが発生しました。 | 処理の途中で内部エラーが発生しました。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37025-E | Error | An error occurred during internal communication. 内部通信でエラーが発生しました。 | プロセス間の内部通信でエラーが発生しています。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37033-E | Error | An attempt to update a system file failed. (reason = < insufficient memory, an I/O error, no disk space, a lock failure, some other error >) システムファイルの更新に失敗しました。（理由 = <メモリ不足、I/Oエラー、ディスクフル、排他確保に失敗、その他のエラー>） | <メモリ不足、I/O エラー、ディスクフル、排他確保に失敗、その他のエラー>の要因によって、システムファイルの更新に失敗しました。 (0) メモリ不足の場合、または排他確保に失敗した場合は、しばらく待ってから再実行してください。ディスク容量が不足している場合は、ファイルシステムを拡張してから再実行してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37036-E | Error | An attempt to open a file failed. ファイルのオープンに失敗しました。 | ファイルのオープンでエラーが発生しています。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37072-E | Error | An error occurred during backup processing. (<内部コマンドのエラーメッセージ>) バックアップの処理でエラーが発生しました。（<内部コマンドのエラーメッセージ>） | バックアップの処理でエラーが発生しました。 (0) 該当するメッセージが出力された場合は内部コマンドのメッセージに従って対処する必要があります。内部コマンドのメッセージに対する要因と対処はメッセージのリファレンスを参照してください。 補足「付録C KQBB14200-E, KQBB14208-W, KAQM37072-E, KAQM37076-E, KAQM37078-W またはKAQM37079-W メッセージが出力された場合の対処」を参照して対処してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQM37079-W | Warning | A warning occurred during backup processing. (<内部コマンドの警告メッセージ>) バックアップの処理で警告が出力されました。(<内部コマンドの警告メッセージ>) | バックアップの処理で警告が出力されました。 (0) 該当するメッセージが出力された場合は内部コマンドのメッセージに従って実行結果を確認する必要があります。内部コマンドのメッセージに対する要因と対処はメッセージのリファレンスを参照してください。 補足 「付録 B KAQM37072-E, KAQM37076-E, KAQM37078-W またはKAQM37079-W メッセージが出力された場合の対処」を参照して対処してください。 |
| KAQM37081-E | Error | The backup failed. バックアップに失敗しました。 | バックアップの処理でいくつかのエラーが発生したため、処理を中断しました。 (0) このメッセージの前に出力されているメッセージから要因を特定し、対処してください。 |
| KAQM37082-E | Error | Some of the resources required for the requested processing are already in use by another user, or there was a conflict with the backup that was executed after archiving. 要求された処理で使用する資源がほかのユーザーに使用されているか、アーカイブのあとに実行されるバックアップの処理と競合しました。 | 処理に使用される資源の一部が、ほかのユーザーに占有されているか、アーカイブのあとに実行されるバックアップの処理と競合しました。 (0) 運用中のファイルシステムに対してリストアを実行していないか確認してください。新規のファイルシステムに対してリストアを実行した場合は、リストア先のファイルシステムに対してアーカイブが実行されないように、タスクを見直してください。アーカイブが実行されていない場合は、しばらくしてから実行してください。 |
| KAQM37085-E | Error | Creation of a directory for saving temporary files failed. (directory name = <ディレクトリ名>) テンポラリーファイル格納用ディレクトリの作成に失敗しました。(ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | テンポラリーファイル格納用ディレクトリがないので作成しようとしたのですが、失敗しました。 (0) File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQM37086-E | Error | Backup processing was suspended. During the backup, a failover occurred or the file system was unmounted. No action is necessary because the backup will be completed the next time an archive operation is executed. バックアップ処理が中断されました。 バックアップ中にフェールオーバーしたか、またはファイルシステムがアンマウントされたおそれがあります。次のアーカイブでバックアップが完了するため、対処は不要です。 | バックアップ処理が中断されました。バックアップ中にフェールオーバーしたか、またはファイルシステムがアンマウントされたおそれがあります。 (0) 対処は不要です。次のアーカイブが実行されるとバックアップが完了します。 |
| KAQM37088-E | Error | The specified file system does not exist. (file system = <ファイルシステム名>) 指定されたファイルシステムは存在しません。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | 指定されたファイルシステムは存在しません。 (0) 正しいファイルシステム名を指定して、再度実行してください。 |
| KAQM37090-E | Error | The backup failed. バックアップに失敗しました。 | バックアップの処理でエラーが発生したため、処理を中断しました。バックアップ中に、ファイルシステムがアンマウントされたおそれがあります。 (0) ファイルシステムがアンマウントされている場合は、次回アーカイブが実行されるまでに、ファイルシステムをマウントしておいてください。マウントした状態で再度同じメッセージが出力される場合は、File Services Manager の全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。File Services Manager のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQM37091-E | Error | A backup was performed while the file system is not mounted. (file system = <ファイルシステム名>) ファイルシステムがマウントされていない状態でバックアップが実行されました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムがマウントされていない状態でバックアップが実行されました。バックアップは完了していません。 (0) 次回アーカイブが実行されるまでに、ファイルシステムをマウントしておいてください。 |
| KAQM37092-E | Error | A backup was performed of a file system that has been mounted with read-only permissions. (file system = <ファイルシステム名>) ファイルシステムが読み取り専用でマウントされている状態でバックアップが実行されました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムが読み取り専用でマウントされている状態でバックアップが実行されました。バックアップは完了していません。 (0) 次回アーカイブが実行されるまでに、ファイルシステムを読み書き可能な状態でマウントしておいてください。 |
| KAQM37093-E | Error | A backup operation was executed, but the specified file system cannot be backed up. (file system = <ファイルシステム名>) バックアップできるファイルシステムがない状態でバックアップが実行されました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | 指定されたファイルシステムが存在しないか、または破損しているため、ファイルシステムにアクセスできませんでした。バックアップは完了していません。 (0) ファイルシステムの状態を確認し、次回アーカイブが実行されるまでに、ファイルシステムを復元しておいてください。 |
| KAQM37096-I | Information | A backup stopped. (directory name = <ディレクトリ名>, policy name = <アーカイブポリシー名>) バックアップを停止しました。(ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>, アーカイブポリシー名 = <アーカイブポリシー名>) | バックアップを停止しました。 (0) なし。 |
| KAQM37100-E | Error | The HSM Core daemon was restarted because an unexpected end of the daemon was detected. HSM Core デーモンの予期しない終了を検知したため、HSM Core デーモンを再起動しました。 | HSM Core デーモンが異常終了しました。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37101-E | Error | An attempt to connect to the HSM Core daemon failed. HSM Core デーモンへの接続に失敗しました。 | HSM Core デーモンとの接続でエラーが発生しました。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37104-W | Warning | Setup of time information for a file failed, but processing continued. ファイルの時刻情報の設定に失敗しましたが、処理を継続しました。 | ほかのファイルサーバからのインポート時に、ファイルの時刻の保存に失敗したか、属性が変更されたおそれがあります。 (0) |
| KAQM37106-E | Error | Restoration of a file or directory attribute failed. ファイルまたはディレクトリの属性のリストアに失敗しました。 | 次のどれかの要因が考えられます。ほかのファイルサーバからのインポート時に、属性の設定に失敗した。ファイルシステムに障害が発生した。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37113-I | Information | Background restoration started. (file system = <ファイルシステム名>) バックグラウンドでのリストアを開始しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | バックグラウンドでのリストアを開始しました。 |
| KAQM37114-I | Information | Background restoration completed. (file system = <ファイルシステム名>) バックグラウンドでのリストアを完了しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | バックグラウンドでのリストアを完了しました。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQM37115-E | Error | An attempt to send a restoration request to the HSM Core daemon failed. HSM Core デーモンへのリストア要求が失敗しました。 | HSM Core デーモンで処理できるファイル数が上限に達しています。 (0) しばらくたってから、再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37124-E | Error | A restoration could not be performed because the ACL type of the file system at the restoration destination is different from the ACL type of the archived file system. リストア先のファイルシステムのACL タイプがアーカイブ時と異なるため、リストアできませんでした。 | リストア先のファイルシステムのACL タイプがアーカイブ時と異なるため、リストアできませんでした。 (0) リストア先のファイルシステムをいったん削除し、アーカイブ時と同じACL タイプのファイルシステムを作成してから、再度リストアを実行してください。 |
| KAQM37128-E | Error | The specified execution interval is invalid. 指定された実行間隔の値に誤りがあります。 | 指定された実行間隔の値に誤りがあります。 (0) 指定した値を確認して再度実行してください。 |
| KAQM37133-E | Error | Stub processing failed. スタブ化に失敗しました。 | スタブ化の処理でいくつかのエラーが発生したため、処理を中断しました。 (0) このメッセージの前に出力されているメッセージから要因を特定し、対処してください。 |
| KAQM37135-W | Warning | Stub processing was executed, even though the unused capacity threshold has not been exceeded. (file system = <ファイルシステム名>) スタブ化を実行しましたが、閾値を上回りませんでした。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | スタブ化の対象となるファイルがありません。 (0) ファイルシステムを拡張するか、不要なファイルを削除または移動してください。 |
| KAQM37136-E | Error | An attempt to update a management information file for the file system failed. (reason = <insufficient memory, an I/O error, no disk space, a lock failure, some other error >) ファイルシステムの管理情報ファイルの更新に失敗しました。(理由 = <メモリ不足, I/O エラー, ディスクフル, 排他確保に失敗, その他のエラー>) | ファイルシステムの管理情報ファイルの更新に失敗しました。 (0) HNAS へのレプリケーションを運用している場合は、必要に応じてファイルシステム内のすべてのデータがレプリケートされるように設定してください。それ以外の場合は、対処の必要はありません。 |
| KAQM37140-E | Error | An error occurred during the rebuilding of archive information for file system <ファイルシステム名> . (error message = <エラーメッセージ>) ファイルシステム<ファイルシステム名>のアーカイブ情報の再構築でエラーが発生しました。(エラーメッセージ = <エラーメッセージ>) | アーカイブ情報の再構築でエラーが発生しました。 (0) エラーメッセージの対処に従ってください。 |
| KAQM37158-E | Error | The operation on the management information file for the file system failed. (reason = <insufficient memory, an I/O error, no disk space, a lock failure, some other error >) ファイルシステムの管理情報ファイルの操作に失敗しました。(理由 = <メモリ不足, I/O エラー, ディスクフル, 排他確保に失敗, その他のエラー>) | ファイルシステムの管理情報ファイルの操作に失敗しました。 (0) メモリ不足の場合は、システムの負荷が低くなってからコマンドを実行してください。メモリ不足以外の場合は、ファイルシステムの空き容量を確認してください。空き容量が不足している場合は、十分な容量を確保したあと、コマンドを実行してください。排他確保に失敗した場合は、しばらくたってからコマンドを実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQM37162-I | Information | An all-data import has started. (import definition name = <インポート定義名>) 全インポートを開始しました。(インポート定義名 = <インポート定義名>) | 全インポートを開始しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37163-I | Information | An all-data import is complete. (import definition name = <インポート定義名>) 全インポートが完了しました。(インポート定義名 = <インポート定義名>) | 全インポートが完了しました。 (0) インポート結果を確認してください。 |
| KAQM37164-E | Error | An all-data import has failed. (import definition name = %1) 全インポートに失敗しました。(インポート定義名 = %1) | 全インポートに失敗しました。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37165-E | Error | An attempt to access the domain controller failed. ドメインコントローラーへのアクセスに失敗しました。 | CIFS サービスのユーザーマッピングが両ノードに設定されていないか、各ノードのCIFSサービスが正常に稼働していないため、ドメインコントローラーへのアクセスに失敗しました。 (0) 両ノードのCIFS サービスのユーザーマッピングの設定を見直してください。設定されている場合は、両ノードのCIFS サービスが正常に稼働していることを確認し、再度実行してください。 |
| KAQM37172-W | Warning | Only some of the ACEs were imported because the number of ACEs set at the import source exceeds the limit. インポート元に設定されているACE数が上限を超えていたため、一部のACEだけインポートしました。 | インポート元に設定されているACE 数が上限を超えていたため、700 個のACE をインポートしました。 (0) インポート元のACE 情報を確認し、ACE 数を700 個以下に設定してください。 |
| KAQM37187-E | Error | The import-source file or directory was updated, or the import-source share setting was changed. インポート元のファイルまたはディレクトリが更新されたか、インポート元の共有設定が変更されました。 | インポート元のファイルまたはディレクトリがリネームまたは削除されたか、インポート元の共有設定が変更されました。 (0) インポート元のファイルまたはディレクトリがリネームまたは削除された場合は、インポート元の共有を読み取り専用に変更し、再実行してください。インポート元の共有設定が変更された場合は、インポート元の共有が正しく公開されているか設定を見直してください。 |
| KAQM37189-E | Error | A communication failure occurred while data was being imported from another server. ほかのファイルサーバからのインポート中に、通信障害が発生しました。 | ネットワークに問題があるか、インポート元サーバのファイルシステムの状態が異常であるおそれがあります。 (0) ネットワークの状態およびインポート元サーバのファイルシステムの状態を確認してください。要因を取り除いたあと、再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37191-E | Error | The import-source file or directory could not be accessed. インポート元のファイルまたはディレクトリにアクセスできませんでした。 | アクセス権がないため、インポート元のファイルまたはディレクトリにアクセスできませんでした。 (0) インポート元のすべてのファイルおよびディレクトリにアクセスできるアカウントを、インポート定義情報に登録してください。 |
| KAQM37193-E | Error | An all-data import was interrupted because a failover occurred during the import, or the CIFS service is not running normally. 全インポート中にフェールオーバーが発生したか、またはCIFS サービスが正常に稼働していないため、全インポートを中断しました。 | 全インポート中にフェールオーバーが発生したか、またはCIFS サービスが正常に稼働していないため、全インポートを中断しました。 (0) フェールオーバーが発生している場合は、フェールオーバー先で全インポートが再開されていることを確認してください。フェールオーバーが発生していない場合は、CIFS サービスが正常に稼働しているか確認してから、再度全インポートを開始してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQM37194-E | Error | A timeout occurred during communication with the importsource file server. インポート元のファイルサーバとの通信でタイムアウトが発生しました。 | インポート元のファイルサーバまたはネットワークに問題があるおそれがあります。 (0) インポート元のファイルサーバおよびネットワークの状態を確認し、要因を取り除いたあと、再実行してください。ファイルサーバおよびネットワークの状態に問題がない場合は、ファイルサーバとの通信のタイムアウト時間を変更したあと、再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37198-E | Error | The option <オプション名> cannot be specified for name-spacereferencing file systems. ネームスペース参照用のファイルシステムには、オプション<オプション名>を指定できません。 | ファイルシステムがネームスペース参照用です。 (0) ネームスペース参照用でないファイルシステムを指定して、再実行してください。 |
| KAQM37199-E | Error | A namespace-referencing file system cannot be specified. ネームスペース参照用のファイルシステムは指定できません。 | ファイルシステムがネームスペース参照用です。 (0) ネームスペース参照用でないファイルシステムを指定して、再実行してください。 |
| KAQM37206-E | Error | An attempt to create the past version directory has failed. (reason = < no such directory, insufficient memory, lock timeout, an I/O error, no disk space, read only mounted, directory is already being used, some other error >) 過去バージョンディレクトリの作成に失敗しました。(理由 = <指定したディレクトリが存在しない、メモリ不足、排他タイムアウト、I/Oエラー、ディスクフル、読み取り専用マウント、ディレクトリ使用中、その他のエラー>) | 理由に示した要因によって、過去バージョンディレクトリの作成に失敗しました。 (0) 失敗したディレクトリについては、File Services Manager のログファイル (management.log) に出力されている KAQM37208-E またはKAQM37319-E メッセージを参照してください。ディスク容量が不足している場合は、ファイルシステムを拡張してください。ファイルシステムが読み取り専用でマウントされている場合は、読み書き可能な状態でマウントしてください。作成先のディレクトリが使用中の場合は、ファイルまたはディレクトリを見直して、再度実行してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37207-E | Error | An attempt to delete the past version directory has failed. (reason = < no such directory, insufficient memory, an I/O error, no disk space, currently being accessed, some other error >) 過去バージョンディレクトリの削除に失敗しました。(理由 = <ディレクトリが存在しない、メモリ不足、I/O エラー、ディスクフル、アクセス中、その他のエラー>) | 理由に示した要因によって、過去バージョンディレクトリの削除に失敗しました。 (0) 失敗したディレクトリについては、File Services Manager のログファイル (management.log) に出力されている KAQM37225-E メッセージを参照してください。メモリ不足の場合は、しばらく待ってから再実行してください。ディスク容量が不足している場合は、ファイルシステムを拡張してから再実行してください。アクセス中の場合は、クライアントにアクセスの停止を依頼してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37217-E | Error | Deletion of the temporary directory created for the automatic update failed. (reason = < no disk space, some other error > , file system name = <ファイルシステム名>) 自動更新時に作成される一時ディレクトリの削除が失敗しました。(理由 = <ディスクフル、その他のエラー>、ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 一時ディレクトリの削除でエラーが発生しました。 (0) ディスク容量不足の場合は、ファイルシステムの空き容量を確認してください。空き容量が不足している場合は、十分な容量を確保したあと、コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37226-I | Information | Restoration of a data-referencing file system started. (file system name = <ファイルシステム名>) 参照用ファイルシステムのリストアを開始しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 参照用ファイルシステムのリストアを開始しました。 (0) 対処は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|---|
| KAQM37227-I | Information | Restoration of a data-referencing file system ended. (file system name = <ファイルシステム名>) 参照用ファイルシステムのリストアが終了しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 参照用ファイルシステムのリストアが終了しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37232-E | Error | Collection of object information from another file server failed. (import definition name = <インポート定義名>) ほかのファイルサーバからのオブジェクト情報取得に失敗しました。(インポート定義名 = <インポート定義名>) | ほかのファイルサーバからのオブジェクト情報取得に失敗しました。 (0) NFS 共有を使用している場合は、インポート元のファイルサーバが正しくエクスポートされているか設定を見直してください。全インポートまたは検証が完了してから、再実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37234-E | Error | Updating the list or count file used for import completion verification has failed. (reason = < an I/O error, no disk space, some other error >) インポート完了検証用リストまたはカウントファイルの更新に失敗しました。(理由 = < I/O エラー、ディスクフル、その他のエラー >) | インポート完了確認用リストまたはカウントファイルの更新に失敗しました。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。空き容量が不足している場合は、十分な容量を確保したあと、コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37235-E | Error | Recovery of the list or count file used for import completion verification has failed. インポート完了検証用リストまたはカウントファイルの回復に失敗しました。 | インポート完了検証用リストまたはカウントファイルの回復に失敗しました。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37236-W | Warning | An attempt to delete the past version directory failed during a migration. (reason = < no such directory, insufficient memory, lock timeout, an I/O error, no disk space, currently being accessed, some other error >) マイグレーション実行時に、過去バージョンディレクトリの削除に失敗しました。(理由 = < 指定したディレクトリが存在しない、メモリ不足、排他タイムアウト、I/O エラー、ディスクフル、アクセス中、その他のエラー >) | 理由に示した要因によって、過去バージョンディレクトリの削除に失敗しました。 (0) 次回のマイグレーション実行時に、過去バージョンディレクトリの削除が再実行されるため、対処は必要ありません。 補足 「G. 処理に使用する資源を確保できないためにタイムアウトが発生した場合の対処」を参照して、対処してください。 |
| KAQM37237-W | Warning | An attempt to delete the past version directory failed during a periodic deletion. (reason = < no such directory, insufficient memory, an I/O error, no disk space, currently being accessed, some other error >, path = < ディレクトリのパス >) 過去バージョンディレクトリの定期削除に失敗しました。(理由 = < 指定したディレクトリが存在しない、メモリ不足、I/O エラー、ディスクフル、アクセス中、その他のエラー >, パス = < ディレクトリのパス >) | 理由に示した要因によって、過去バージョンディレクトリの削除に失敗しました。 (0) 次回の定期削除で、ディレクトリの削除が再実行されるため、対処は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|--|
| KAQM37238-W | Warning | An attempt to delete the past version directory failed during a periodic deletion. (reason = < no such directory, insufficient memory, an I/O error, no disk space, currently being accessed, some other error >) 過去バージョンディレクトリの定期削除に失敗しました。(理由 = <指定したディレクトリが存在しない、メモリ不足、I/O エラー、ディスクフル、アクセス中、その他のエラー>) | 理由に示した要因によって、過去バージョンディレクトリの削除に失敗しました。 (0) 次回の定期削除で、ディレクトリの削除が再実行されるため、対処は必要ありません。 |
| KAQM37239-E | Error | An attempt to create the past version directory has failed. (reason = < no such directory, insufficient memory, lock timeout, an I/O error, no disk space, read only mounted, directory is already being used, some other error >) 過去バージョンディレクトリの作成に失敗しました。(理由 = <指定したディレクトリが存在しない、メモリ不足、排他タイムアウト、I/Oエラー、ディスクフル、読み取り専用マウント、ディレクトリ使用中、その他のエラー>) | 理由に示した要因によって、過去バージョンディレクトリの作成に失敗しました。 (0) ディスク容量が不足している場合は、ファイルシステムを拡張してください。ファイルシステムが読み取り専用でマウントされている場合は、読み書き可能な状態でマウントしてください。作成先のディレクトリが使用中の場合は、ファイルまたはディレクトリを見直して、再度実行してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37240-E | Error | An attempt to delete the past version directory has failed. (reason = < no such directory, insufficient memory, an I/O error, no disk space, currently being accessed, some other error >) 過去バージョンディレクトリの削除に失敗しました。(理由 = <ディレクトリが存在しない、メモリ不足、I/O エラー、ディスクフル、アクセス中、その他のエラー>) | 理由に示した要因によって、過去バージョンディレクトリの削除に失敗しました。 (0) メモリ不足の場合は、しばらく待ってから再実行してください。ディスク容量が不足している場合は、ファイルシステムを拡張してから再実行してください。アクセス中の場合は、クライアントにアクセスの停止を依頼してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37241-W | Warning | Import processing was not resumed because the remaining free capacity for the file system would have reached or gone below the suspension threshold. (file system = <ファイルシステム名>) インポート処理を再開するとファイルシステムの残容量が中断閾値以下になるため、再開しませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | インポート処理を再開するとファイルシステムの残容量が中断閾値以下になるため、再開しませんでした。 (0) 中断閾値を再設定するか、ファイルシステムを拡張してください。 |
| KAQM37242-E | Error | An attempt to read information on a file system being referenced by a read-only file system failed because the ACL type of the read-only file system and the file system being referenced are different. (file system name = <ファイルシステム名>) 参照用ファイルシステムのACL タイプが参照先ファイルシステムのACL タイプと異なるため、参照先ファイルシステムの情報の読み込みに失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 参照用ファイルシステムのACL タイプが参照先ファイルシステムのACL タイプと異なるため、参照先ファイルシステムの情報の読み込みに失敗しました。 (0) 参照先ファイルシステムの管理者に、参照用ファイルシステムのACL タイプを問い合わせてください。そのあと、参照用ファイルシステムをいったん削除し、参照先ファイルシステムと同じACL タイプのファイルシステムを作成してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|---|
| KAQM37250-E | Error | Shared data cannot be acquired because none exists. (file system 名> , FQDN = <参照先ファイルシステムのネームスペースのFQDN>) 共有するデータが存在しないため、共有データを取得できません。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名> , FQDN = <参照先ファイルシステムのネームスペースのFQDN>) | ファイルシステムからデータが一度もマイグレートされていないネームスペースのFQDNを指定して、共有データの取得が実行されました。 (0) 指定したネームスペースのFQDN が正しいかどうか見直してください。 |
| KAQM37252-E | Error | An error occurred during acquisition of shared data. (file system name = <参照用ファイルシステム名>) 共有するデータを取得するための十分なディスク容量がありません。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>) | 共有するデータを取得するための十分なディスク容量がありません。 (0) 対象の参照用ファイルシステムを拡張したあと、しばらく待つか、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。 |
| KAQM37253-E | Error | An insufficient memory error occurred during acquisition of shared data. (file system name = <参照用ファイルシステム名>) 共有するデータの取得で、メモリ不足が発生しました。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>) | メモリの確保に失敗しました。 (0) しばらくたってから、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37261-E | Error | The acquisition of file information failed during acquisition of shared data. (file system name = <参照用ファイルシステム名>) 共有するデータの取得で、ファイル情報の取得に失敗しました。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>) | ファイル情報の取得処理でエラーが発生しています。ファイルシステムに障害が発生しているおそれがあります。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って対処したあと、しばらく待つか、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37262-E | Error | The restoration of a file or directory attribute failed during acquisition of shared data. (file system name = <参照用ファイルシステム名> , FQDN = <参照先ファイルシステムのネームスペースのFQDN>) 共有するデータの取得で、ファイルまたはディレクトリの属性のリストアに失敗しました。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名> , FQDN = <参照先ファイルシステムのネームスペースのFQDN>) | 属性が変更された。ファイルシステムに障害が発生した。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って対処したあと、しばらく待つか、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37263-W | Warning | Shared data cannot be acquired because the file system is mounted as read-only. (file system = <参照用ファイルシステム名>) ファイルシステムが読み取り専用でマウントされているため、共有するデータを取得できません。(ファイルシステム = <参照用ファイルシステム名>) | ファイルシステムは読み取り専用でマウントされています。 (0) 共有するデータを取得する場合は、参照用ファイルシステムを読み書き可能な状態でマウントしてから、しばらく待つか、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。 |
| KAQM37264-W | Warning | The rebuilding of archive information will now restart because the file system (<ファイルシステム名>) configuration was changed. ファイルシステム (<ファイルシステム名>) の構成が変更されたため、アーカイブ情報の再構築を再実行しました。 | アーカイブ情報の再構築を再実行しました。 (0) 対処は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|--|
| KAQM37265-E | Error | File systems that have single instancing enabled cannot be specified. 重複排除機能が有効なファイルシステムは指定できません。 | 指定されたファイルシステムは重複排除機能を使用しています。 (0) 別のファイルシステムを指定して、再実行してください。 |
| KAQM37273-E | Error | An auto-WORM or auto-deletion operation failed. (file system = <ファイルシステム名>) 自動WORM 化、または自動削除処理が失敗しました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | 自動WORM 化、または自動削除処理が失敗しました。 (0) wormtsk.log ファイルを参照して詳細を確認してください。 |
| KAQM37284-E | Error | The cache resident function failed for a file. (file system = <ファイルシステム名>) ファイルのキャッシュ常駐に失敗しました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | ファイルのキャッシュ常駐に失敗しました。 (0) hsmarc.log ファイルを参照して詳細を確認してください。 |
| KAQM37307-E | Error | The cache resident function failed for a file. (reason = <insufficient memory, an I/O error, no disk space, some other error > , file system = <ファイルシステム名>) ファイルのキャッシュ常駐に失敗しました。(理由 = <メモリ不足, I/O エラー, ディスクフル, その他のエラー> , ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムに対するキャッシュ常駐処理でエラーが発生しました。 (0) メモリ不足の場合は、メモリの空き容量を増やしてください。ディスク容量不足の場合は、ファイルシステムの空き容量を増やしてください。I/O エラーの場合は、ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。エラー詳細に応じて対処し、次のキャッシュ常駐実行結果を確認してください。 そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37308-W | Warning | Restoration of the cache resident policy failed, but processing continued. (file system = <ファイルシステム名>) キャッシュ常駐ポリシーのリストアに失敗しましたが、処理を継続しました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | キャッシュ常駐ポリシーのリストアに失敗しました。 (0) キャッシュ常駐ポリシーを設定していた場合は、再設定してください。 |
| KAQM37310-E | Error | Memory is insufficient. (service information = <保守情報>) メモリ不足が発生しました。(保守情報 = <保守情報>) | メモリの確保に失敗しました。 (0) しばらくたってから、再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37315-E | Error | Restoration of a file system failed during restoration of the system settings. (file system = <ファイルシステム名> , detailed message = <詳細メッセージ>) システム設定情報の回復中にファイルシステムのリストアに失敗しました。 (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 詳細メッセージ = <詳細メッセージ>) | リストアの処理でいくつかのエラーが発生したため、処理を中断しました。 (0) 詳細メッセージを参照して要因を取り除いてから、対象のファイルシステムに対してarcstore コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37316-E | Error | Restoration of a file system failed during restoration of the system settings. (file system = <ファイルシステム名> , detailed message = <詳細メッセージ>) システム設定情報の回復中にファイルシステムのリストアに失敗しました。 (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 詳細メッセージ = <詳細メッセージ>) | リストアの処理でいくつかのエラーが発生したため、処理を中断しました。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQM37323-E | Error | The import-source file server could not be connected to. インポート元のファイルサーバに接続できませんでした。 | インポート元のホスト名または共有パスに誤りがあるか、ネットワークもしくはインポート元のファイルサーバの設定に問題があるおそれがあります。 (0) HSM Core ログ (hsmarc.log) を参照して、KAQM37322-E メッセージが出力されている場合は、そのメッセージからホスト名と共有パスを特定してください。インポート元のファイルサーバが正しくエクスポートされているか設定を見直してください。設定されている場合は、インポート元のホスト名または共有パス、およびネットワークの状態を確認し、要因を取り除いたあと、再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37343-E | Error | An unexpected error occurred while accessing the import-source file or directory. インポート元のファイルまたはディレクトリへのアクセスで予期しないエラーが発生しました。 | ネットワークに問題があるか、インポート元サーバのファイルシステムの状態が異常になっているおそれがあります。 (0) HSM Core ログ (hsmarc.log) を参照して、KAQM37342-E メッセージが出力されている場合は、そのメッセージからインポート元のファイルまたはディレクトリのパスを特定してください。ネットワークの状態およびインポート元サーバのファイルシステムの状態を確認してください。要因を取り除いたあと、再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37345-E | Error | Importing from another file server failed because import definition information was deleted or recreated. インポート定義情報が削除されたか、再作成されたため、ほかのファイルサーバからのインポートに失敗しました。 | ほかのファイルサーバからのインポートが完了する前にインポート定義情報が削除されたか、再定義されたおそれがあります。 (0) 必要に応じてインポート定義情報を削除し、ファイルまたはディレクトリを削除してから、インポート元サーバから手動でコピーしてください。 |
| KAQM37352-E | Error | Importing of a hard link failed. ハードリンクのインポートに失敗しました。 | インポート先のファイルパスと同じハードリンクに別のサブツリーQuota が設定されているおそれがあります。 (0) HSM Core ログ (hsmarc.log) を参照して、KAQM37351-E メッセージが出力されている場合は、そのメッセージからインポート元のファイルパスを特定してください。サブツリーQuota の設定を見直してください。 |
| KAQM37354-E | Error | Importing from another file server failed because an attempt to perform an operation on the management information file on the file system failed. (reason = < insufficient memory, an I/O error, no disk space, some other error > ,file system = <ファイルシステム名>) ファイルシステムの管理情報ファイルの操作に失敗したため、ほかのファイルサーバからのインポートに失敗しました。(理由 = <メモリ不足, I/O エラー, ディスクフル, その他のエラー> , ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 理由で示した原因により、ファイルシステムの管理情報ファイルの操作に失敗したため、ほかのファイルサーバからのインポートに失敗しました。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。メモリ不足の場合は、システムの負荷が低くなってから再度実行してください。空き容量が不足している場合は、十分な容量を確保したあと、再度実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37356-E | Error | Importing from another file server failed because an attempt to update a system directory or file failed. (reason = < insufficient memory, some other error >) システムディレクトリまたはシステムファイルの更新に失敗したため、ほかのファイルサーバからのインポートに失敗しました。(理由 = <メモリ不足, その他のエラー>) | 理由で示した原因により、システムディレクトリまたはシステムファイルの更新に失敗したため、ほかのファイルサーバからのインポートに失敗しました。 (0) HSM Core ログ (hsmarc.log) を参照して、KAQM37355-E メッセージが出力されている場合は、そのメッセージからインポート元のファイルパスを特定してください。メモリ不足の場合は、システムの負荷が低くなってから再度実行してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQM37358-E | Error | The import-source file or directory could not be accessed. インポート元のファイルまたはディレクトリにアクセスできませんでした。 | アクセス権がないため、インポート元のファイルまたはディレクトリにアクセスできませんでした。 (0) インポート元のファイルサーバが正しくエクスポートされているか設定を見直したあと、再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37363-E | Error | The scan failed. 検証に失敗しました。 | 検証に失敗しました。 (0) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37386-E | Error | An attempt to read file system information failed because the ACL type of the home-directory-roaming file systems at the two sites is different. (file system name = <ファイルシステム名>) ホームディレクトリローミング対応ファイルシステムのACL タイプがサイト間で異なるため、ファイルシステムの情報の読み込みに失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ホームディレクトリローミング対応ファイルシステムのACL タイプがサイト間で異なるため、ファイルシステムの情報の読み込みに失敗しました。 (0) ほかのサイトのホームディレクトリローミング対応ファイルシステムのACL タイプを確認してから、ファイルシステムを再度作成してください。 |
| KAQM37387-E | Error | The update of the home directory status failed. ホームディレクトリの状態の更新に失敗しました。 | ホームディレクトリの状態の更新に失敗しました。 (0) 次の自動更新時に、ホームディレクトリの状態が更新されるため、対処は必要ありません。更新に失敗したホームディレクトリについては、File Services Manager のログファイル (management.log) に出力されている KAQM37388-E メッセージを参照してください。 |
| KAQM37390-E | Error | The automatic update of the homedirectory- roaming file system failed. ホームディレクトリローミング対応ファイルシステムの自動更新が失敗しました。 | ホームディレクトリローミング対応ファイルシステムの自動更新が失敗しました。 (0) HSM Core ログ (hsmarc.log) に出力されている KAQM37391-E メッセージに従って対処してください。 |
| KAQM37398-E | Error | Configuration of the settings for using the namespace used by the home-directory-roaming functionality failed. (file system name = <ファイルシステム名>) ホームディレクトリローミング機能で使用するネームスペースを運用するための設定に失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ホームディレクトリローミング機能で使用するネームスペースを運用するための設定に失敗しました。 (0) ファイルシステムをマウントし直してください。共有が作成されている場合は、共有を削除してからマウントし直したあと、共有を再作成してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37413-E | Error | Updating of the list or count file used for import-completion verification failed. (reason = <I/Oエラー, ディスクフル, その他のエラー>) インポート完了検証用リストまたはカウントファイルの更新に失敗しました。(理由 = <I/O エラー, ディスクフル, その他のエラー>) | インポート完了検証用リストまたはカウントファイルの更新に失敗しました。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。空き容量が不足している場合は、十分な容量を確保してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQM37414-E | Error | Updating of the list or count file used for import-completion verification failed. The number of files that were imported might have been acquired incorrectly. (reason = < I/O エラー, ディスクフル, その他のエラー >) インポート完了検証用リストまたはカウントファイルの更新に失敗しました。インポート済みファイルの数を正しく取得できないおそれがあります。 (理由 = < I/O エラー, ディスクフル, その他のエラー >) | インポート完了検証用リストまたはカウントファイルの更新に失敗しました。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。空き容量が不足している場合は、十分な容量を確保してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。また、インポートされていないファイルを確認し、個別にファイルをコピーするなどの対処をしてください。 |
| KAQM37432-E | Error | Shared data cannot be acquired because none exists. (file system name = <参照用ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>, FQDN = <参照先ファイルシステムのネームスペースのFQDN >) 共有するデータが存在しないため、共有データを取得できません。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>, FQDN = <参照先ファイルシステムのネームスペースのFQDN >) | ファイルシステムからデータが一度もマイグレートされていないネームスペースのFQDNを指定して、共有データの取得が実行されました。 (0) 指定したネームスペースのFQDN が正しいかどうか見直してください。ネームスペースのFQDN が正しい場合、参照先ファイルシステムでマイグレーションが実行されたあと、しばらく待つか、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。 |
| KAQM37434-E | Error | An error occurred during acquisition of shared data. (file system name = <参照用ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>) 共有するデータを取得するための十分なディスク容量がありません。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | 共有するデータを取得するための十分なディスク容量がありません。 (0) 対象の参照用ファイルシステムを拡張したあと、しばらく待つか、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。 |
| KAQM37435-E | Error | An insufficient memory error occurred during acquisition of shared data. (file system name = <参照用ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>) 共有するデータの取得で、メモリ不足が発生しました。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | メモリの確保に失敗しました。 (0) しばらくたってから、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37443-E | Error | The acquisition of file information failed during acquisition of shared data. (file system name = <参照用ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>) 共有するデータの取得で、ファイル情報の取得に失敗しました。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | ファイル情報の取得処理でエラーが発生しています。ファイルシステムに障害が発生しているおそれがあります。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って対処したあと、しばらく待つか、対象の参照用ファイルシステムに対して arcstore コマンドを実行してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQM37445-W | Warning | Shared data cannot be acquired because the file system is mounted as read-only. (file system name = <参照用ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>) ファイルシステムが読み取り専用でマウントされているため、共有するデータを取得できません。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | ファイルシステムは読み取り専用でマウントされています。 (0) 共有するデータを取得する場合は、参照用ファイルシステムを読み書き可能な状態でマウントしてから、しばらく待つか、対象の参照用ファイルシステムに対してarcrestore コマンドを実行してください。 |
| KAQM37446-E | Error | The data to be shared cannot be restored, because the namespace type of the file system to be restored is not set for the subtree. (file system name = <参照用ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>) リストア対象のファイルシステムのネームスペースタイプがサブツリーに設定されていないため、共有するデータをリストアできません。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | リストア対象のファイルシステムのネームスペースタイプがサブツリーに設定されていないため、共有するデータをリストアできません。 (0) 対象の参照用ファイルシステムのネームスペースタイプをサブツリーに設定してから、対象の参照用ファイルシステムに対してarcrestoreコマンドを実行してください。 |
| KAQM37447-E | Error | The directory to which the data to be shared is to be restored does not exist. (file system name = <参照用ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>) 共有するデータのリストア先のディレクトリが存在しません。(ファイルシステム名 = <参照用ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | 共有するデータのリストア先のディレクトリが存在しません。 (0) 対象の参照用ファイルシステムに対してディレクトリを作成してから、対象の参照用ファイルシステムに対してarcrestore コマンドを実行してください。 |
| KAQM37456-I | Information | Restoration of a data-referencing file system started. (file system name = <ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>) 参照用ファイルシステムのリストアを開始しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | 参照用ファイルシステムのリストアを開始しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37457-I | Information | Restoration of a data-referencing file system ended. (file system name = <ファイルシステム名>, directory name = <ディレクトリ名>) 参照用ファイルシステムのリストアが終了しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, ディレクトリ名 = <ディレクトリ名>) | 参照用ファイルシステムのリストアが終了しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37463-W | Warning | More than one file or directory is not a target of the task because the path of the file or directory contains newline characters. ファイルまたはディレクトリのパスに改行コードが含まれているため、タスクの対象となりません。 | ファイルまたはディレクトリのパスに改行コードが含まれています。 (0) HSM Core ログ (hsmarc.log) を参照して、パスに改行コードが含まれているファイルまたはディレクトリを特定してください。タスクの対象とする場合は、改行コードを取り除いたあとにarcrcorrection コマンドを実行してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQM37468-E | Error | An update of a system file failed. システムファイルの更新に失敗しました。 | システムファイルの更新に失敗しました。 (0) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。ファイルシステムで障害が発生している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って対処したあと、タスクを再実行してください。空き容量が不足している場合は、十分な容量を確保したあと、タスクを再実行してください。問題が解決しない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37469-I | Information | The operation to make the pastversion directories visible within the file share started. (resource group name = <リソースグループ名>) 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理を開始しました。(リソースグループ名 = <リソースグループ名>) | 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理を開始しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37470-I | Information | The operation to make the pastversion directories visible within the file share finished. (resource group name = <リソースグループ名>) 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理が終了しました。(リソースグループ名 = <リソースグループ名>) | 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理が終了しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37471-E | Error | The operation to make the pastversion directories visible within the file share failed. (resource group name = <リソースグループ名>) 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理に失敗しました。(リソースグループ名 = <リソースグループ名>) | 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理に失敗しました。 (0) File Services Manager のログファイル (management.log) を参照して、KAQM37208-E メッセージが出力されている場合は、メッセージに従って対処してください。失敗した処理を再度実行する場合は、メッセージから共有パスを特定して共有を再作成するか、リソースグループを再起動してください。メッセージが出力されていない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM37472-I | Information | The operation to make the pastversion directories visible within the file share started. 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理を開始しました。 | 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理を開始しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37473-I | Information | The operation to make the pastversion directories visible within the file share finished. 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理が終了しました。 | 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理が終了しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37474-E | Error | The operation to make the pastversion directories visible within the file share failed. 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理に失敗しました。 | 過去バージョンディレクトリを共有内に公開する処理に失敗しました。 (0) File Services Manager のログファイル (management.log) を参照して、KAQM37208-E メッセージが出力されている場合は、メッセージに従って対処してください。失敗した処理を再度実行する場合は、メッセージから共有パスを特定して共有を再作成するか、リソースグループまたはVirtual Server を再起動してください。メッセージが出力されていない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQM37491-I | Information | The processing to restore the file system started. (file system name = <ファイルシステム名>) ファイルシステムのリストアを開始しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムのリストアを開始しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37492-I | Information | The processing to restore the file system ended. (file system name = <ファイルシステム名>) ファイルシステムのリストアが終了しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムのリストアが終了しました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM37516-E | Error | An import from another file server failed. (path = <パス>) ほかのファイルサーバからのインポートに失敗しました。(パス = <パス>) | ほかのファイルサーバからのインポートに失敗しました。 (0) リソースグループまたはVirtual Server を再起動するか、インポート元サーバから手動でコピーしてください。そのあと、ほかのファイルサーバからのインポートを再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |
| KAQM37529-E | Error | The home directory was updated from multiple sites simultaneously. (file system name = <ファイルシステム名>, home directory name = <ホームディレクトリ名>) ホームディレクトリの更新がサイト間で競合しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, ホームディレクトリ名 = <ホームディレクトリ名>) | ホームディレクトリの更新がサイト間で競合しました。 (0) 更新が競合したホームディレクトリのデータを回復してください。ホームディレクトリのデータを回復する方法については、「システム構成ガイド」を参照してください。 |
| KAQM37532-W | Warning | An attempt to restore some of the file shares failed, but processing continued. (file system = <ファイルシステム名>) 一部のファイル共有のリストアに失敗しましたが、処理を継続しました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>) | ファイル共有のリストアに失敗しました。 (0) ファイル共有を確認したあと、必要に応じて、手動で共有を作成してください。 |
| KAQM37533-W | Warning | An attempt to restore some of the file shares failed, but processing continued. (file system = <ファイルシステム名>, directory = <ディレクトリ名>) 一部のファイル共有のリストアに失敗しましたが、処理を継続しました。(ファイルシステム = <ファイルシステム名>, ディレクトリ = <ディレクトリ名>) | ファイル共有のリストアに失敗しました。 (0) ファイル共有を確認したあと、必要に応じて、手動で共有を作成してください。 |
| KAQM37553-E | Error | The directory operation failed because the number of groups to which a user belongs exceeds the upper limit. (user ID = <ユーザーID>) ユーザーが所属するグループ数が上限を超えているため、ディレクトリ操作に失敗しました。(ユーザーID = <ユーザーID>) | ユーザーが所属するグループ数が上限を超えています。 (0) ユーザーが所属するグループ数が主グループを含めて700グループ以下になるよう、システム管理者またはドメイン管理者に設定を依頼してください。 |
| KAQM37755-E | Error | An internal error occurred during the acquisition of the past version of the attribute information of a file or directory. ファイルまたはディレクトリの過去バージョンの属性情報取得時に、内部エラーが発生しました。 | 処理の途中で内部エラーが発生しました。 (0) 全ログデータを採取して、保守員に連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQM37765-E | Error | Archiving is already being performed for the specified file system. (filesystem name = <ファイルシステム名>, task name = <タスク名>) 指定されたファイルシステムでは、すでにアーカイブが実行中です。ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, タスク名 = <タスク名>) | 指定されたファイルシステムでは、すでにアーカイブが実行中です。 (0) 実行中のアーカイブが完了してから、再度実行してください。 |
| KAQM38015-I | Information | <インストールしたプログラムの名称> has been installed. (installation file = <インストールに使用したrpm ファイルの名称>) <インストールしたプログラムの名称>をインストールしました。(インストールファイル = <インストールに使用したrpm ファイルの名称>) | 指定されたプログラムがインストールされました。 (0) 対処は必要ありません。 |
| KAQM50800-I | Information | Migration terminated. (Policy name: <ポリシー名>, Task id: <ID>, Task status: <状態>, Lastexec start time: <開始時間>, Lastexec end time: <終了時間>, Target files: <ファイル数>, Succeeded files: <成功数>, Failed files: <失敗数>, Post-command result: <結果>) マイグレーションが完了しました。 (ポリシー名: <ポリシー名>, タスクID: <ID>, タスクの状態: <状態>, 最終実行の開始時間: <開始時間>, 最終実行の終了時間: <終了時間>, ターゲットファイル数: <ファイル数>, 成功数: <成功数>, 失敗数: <失敗数>, ポストコマンドの結果: <結果>) | マイグレーションが完了しました。 (S) なし。 (0) マイグレーションに失敗したファイルまたはディレクトリがある場合、タスク管理ダイアログにあるDetails (failure-list)を確認してからメッセージに従って対処してください。 |
| KAQM50801-W | Warning | Number of running tasks exceeds the warning threshold. 実行中のタスクの数が警告閾値を超えています。 | 実行中のタスクの数が警告閾値を超えています。 (S) なし。 (0) 同時に実行されるタスクを減らすよう、スケジュールを調整してください。 進捗が適切でないタスクがある場合、それらのタスクを停止またはキャンセルしてください。 |
| KAQM50802-I | Information | Analysis of files terminated. (Policy name: <ポリシー名>, Task id: <ID>, Task status: <状態>, Lastexec start time: <開始時間>, Lastexec end time: <終了時間>, Analyzed files: <ファイル数>, Analyzed size: <サイズ> Bytes) ファイル分析が完了しました。(ポリシー名: <ポリシー名>, タスクID: <ID>, タスクの状態: <状態>, 最終実行の開始時間: <開始時間>, 最終実行の終了時間: <終了時間>, 分析済みファイル数: <ファイル数>, 分析済みサイズ: <サイズ>バイト) | ファイル分析が完了しました。 (S) なし。 (0) 対処は必要ありません。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQM50811-I | Information | Single instancing terminated. (Policy name: <ポリシー名>, Taskid: <ID>, Task status: <状態>, Lastexec start time: <開始時間>, Lastexec end time: <終了時間>, Target files: <ファイル数>, Succeeded files: <成功数>, Failed files: <失敗数>, Total compacted size: <サイズ> Bytes) 容量削減が完了しました。(ポリシー名: <ポリシー名>, タスクID: <ID>, タスクの状態: <状態>, 最終実行の開始時間: <開始時間>, 最終実行の終了時間: <終了時間>, ターゲットファイル数: <ファイル数>, 成功数: <成功数>, 失敗数: <失敗数>, 総削減サイズ: <サイズ> バイト) | 容量削減が完了しました。 (S) なし。 (O) 失敗したファイルがある場合、タスク管理ダイアログにあるDetails (failure-list)を確認してからメッセージに従って対処してください。 |
| KAQM50812-I | Information | Migration terminated. (Policy name: <ポリシー名>, Task id: <ID>, Task status:<状態>, Lastexec start time: <開始時間>, Lastexec end time: <終了時間>, Target files: <ファイル数>, Succeeded files: <成功数>, Failed files: <失敗数>) マイグレーションが完了しました。 (ポリシー名: <ポリシー名>, タスクID: <ID>, タスクの状態: <状態>, 最終実行の開始時間: <開始時間>, 最終実行の終了時間: <終了時間>, ターゲットファイル数: <ファイル数>, 成功数: <成功数>, 失敗数: <失敗数>) | マイグレーションが完了しました。 (S) なし。 (O) 失敗したファイルがある場合、タスク管理ダイアログにあるDetails (failure-list)を確認してからメッセージに従って対処してください。 |
| KAQM50813-E | Error | The service (RMI Server) was restarted because the service was stopped by a failure. サービス (RMI サーバ) は障害で停止したため再開されました。 | サービスが障害で停止しました。 (S) なし。 (O) 実行中のポリシーが中断されたおそれがあります。各ポリシーの状態を確認してから、必要に応じて再度スケジュールを設定してください。 |
| KAQM50814-E | Error | The file paths of succeeded files/failed files/analyzed files after <処理されたファイル数> files in total cannot be confirmed in Task Management window because the database is full. (Policy name: <ポリシー名>, Task id: <ID>, Lastexec start time: <開始時間>) データベースが満杯のため、合計で<処理されたファイル数>個目よりあとのファイル (成功したファイル, 失敗したファイルまたは分析済みファイル) のパスはタスク管理ダイアログで確認できません。(ポリシー名: <ポリシー名>, タスクID: <ID>, 最終実行の開始時間: <開始時間>) | すべてまたは一部のファイルパスはタスク管理ダイアログで確認できません。 (S) なし。 (O) 未使用のポリシーがある場合、それらを削除して、データベースの使用量を減らしてください。 |

メッセージリファレンス

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|---|
| KAQM50815-W | Warning | Task execution was interrupted. (Policy name: <ポリシー名>, Taskid: < ID >) タスクの実行を打ち切りました。(ポ リシー名:<ポリシー名>, タスク ID:< ID >) | 設定された打ち切り時間になったため、タスクの実行を打ち切りました。 (S) なし。 (O) タスク管理ダイアログの「打ち切り時間の評価」を確認したあと、十分な時間を確保できるように、打ち切り時間の設定を見直してください。 |
| KAQM50901-E | Error | Starting service failed. (Database) サービスの起動に失敗しました。 (データベース) | データベースの起動に失敗しました。 (S) 起動処理を続行します。 (O) 共有LU およびファイルシステムに異常がないか確認したあと、リソースグループを再起動してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM50902-E | Error | Starting service failed. (Web Server) サービスの起動に失敗しました。 (Web サーバ) | Web サーバの起動に失敗しました。 (S) 起動処理を続行します。 (O) リソースグループを再起動してください。再度同じエラーが発生する場合は、全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM50903-E | Error | Starting service failed. (RMI Server) サービスの起動に失敗しました。 (RMI サーバ) | RMI サーバの起動に失敗しました。 (S) 起動処理を続行します。 (O) リソースグループを再起動してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM50904-E | Error | Starting service failed. (Failed to mount <デバイス名> .) サービスの起動に失敗しました。(< デバイス名>へのマウント失敗) | データベースで使用する共有LU のマウントに失敗しました。 (S) 起動処理を続行します。 (O) 共有LU およびファイルシステムに異常がないか確認したあと、リソースグループを再起動してください。 |
| KAQM50905-E | Error | Starting service failed. (File I/O error) サービスの起動に失敗しました。(フ ァイルI/O エラー) | サービスの起動に失敗しました。 (S) 起動処理を続行します。 (O) 全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQM50906-E | Error | Starting service failed. (Failed to initialize database.) サービスの起動に失敗しました。(デ ータベースの初期化失敗) | データベースの初期化に失敗しました。 (S) 起動処理を続行します。 (O) 全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

3. File Remote Replicator から通知されるメッセージ (KAQR メッセージ)

File Remote Replicator から通知されるメッセージの一覧を次に示します。

表:3-1 File Remote Replicator から通知されるメッセージの一覧

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQR10692-E | Error | The auto-copying start process cannot be executed because no File Remote Replicator license is set. File Remote Replicator のライセンスが設定されていないため、自動コピーの起動処理を実行できません。 | File Remote Replicator のライセンスが設定されていないため、自動コピーの起動処理を実行できません。 (S) 自動コピーを中止します。 (O) File Remote Replicator のライセンスを設定してから、再実行してください。 |
| KAQR10870-E | Error | The auto copy setting of the HFRR pair was disabled. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 >) HFRR ペアの自動コピーの設定を解除します。(HFRR ペア名 = < HFRR ペア名 >) | サイト間で時刻が同期していないため、自動コピーの設定が解除されます。 (S) 処理を中止します。 (O) 両サイトのノードの時刻設定を見直して一致させたあと、自動コピーの設定をしてください。 |
| KAQR10883-E | Error | Start processing of an auto copy operation cannot continue because no license is set for the File Remote Replicator instance at the other site. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 >) 相手サイトのFile Remote Replicator のライセンスが設定されていないため、自動コピーの起動処理を実行できません。(HFRR ペア名 = < HFRR ペア名 >) | 相手サイトのFile Remote Replicator のライセンスが設定されていないため、自動コピーの起動処理を実行できません。 (S) 自動コピーを中止します。 (O) 相手サイトのFile Remote Replicator のライセンスを設定してから、再実行してください。 |
| KAQR15772-E | Error | Copy execution failed. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 >) コピーの実行に失敗しました。(HFRR ペア名 = < HFRR ペア名 >) | コピーの実行に失敗しました。 (S) 当該処理を中止します。 (O) HFRR ペアの状態を確認してください。また、HFRR のログファイル (rus. log) を参照し、コマンド実行後に出力されているエラーメッセージに従って対処してください。 |
| KAQR20742-E | Error | Processing will now stop because there is a shortage of free space in the differential-data storage device. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 >) 差分格納デバイスの空き容量が不足しているため、処理を中止します。 (HFRR ペア名 = < HFRR ペア名 >) | 差分格納デバイスの空き容量が不足しているため、処理を中止します。 (S) 当該HFRR ペアの差分コピーを中止します。 (O) 差分格納デバイスの空き容量を確認してください。容量が不足している場合は、差分格納デバイスの容量を拡張するか、不要な差分スナップショットを削除したあとに再実行してください。 |
| KAQR25402-E | Error | Processing will now stop because there is a shortage of free space in the differential-data storage device. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 >) 差分格納デバイスの空き容量が不足しているため、処理を中止します。 (HFRR ペア名 = < HFRR ペア名 >) | 差分格納デバイスの空き容量が不足しているため、処理を中止します。 (S) 当該HFRR ペアの差分コピーを中止します。 (O) 差分格納デバイスの空き容量を確認してください。容量が不足している場合は、差分格納デバイスの容量を拡張するか、不要な差分スナップショットを削除したあとに再実行してください。 |
| KAQR25607-E | Error | An attempt to write differential data has failed. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 > , file system name = < ファイルシステム名 >) 差分データの書き込みに失敗しました。(HFRR ペア名 = < HFRR ペア名 > , ファイルシステム名 = < ファイルシステム名 >) | ファイルシステムに対する書き込みに失敗しました。 (S) 当該コマンドの実行を中止します。 (O) セカンダリーサイトで差分格納デバイスの状態を確認してください。状態に問題がある場合は、ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。状態に問題がない場合は、セカンダリーサイトの全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQR25608-E | Error | An attempt to create a differential-data snapshot has failed. (HFRR pair name = < HFRR ペア名> , file system name = < ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = < 差分スナップショット名> , differential-data snapshot creation time = < 差分スナップショット作成時刻>) 差分スナップショットの作成に失敗しました。(HFRR ペア名= <HFRR ペア名> , ファイルシステム名= <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名= <差分スナップショット名> , 差分スナップショット作成時刻= <差分スナップショット作成時刻>) | 差分スナップショットの作成に失敗しました。 (S) 当該コマンドの実行を中止します。 (O) セカンダリーサイトにプライマリーサイトと同一の差分スナップショットが存在する場合は、セカンダリーサイトの差分スナップショットを削除してruscopy コマンドを再実行してください。同一名称の差分スナップショットが存在しないにもかかわらず、差分スナップショットの作成に失敗した場合は、全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQR25609-E | Error | The specified differential-data snapshot does not exist. (HFRR pair name = < HFRR ペア名> , differential-data snapshot name = < 差分スナップショット名>) 指定した差分スナップショットが存在しません。(HFRR ペア名= <HFRR ペア名> , 差分スナップショット名= <差分スナップショット名>) | コピー対象の差分スナップショットが存在しません。 (S) 当該コマンドの実行を中止します。 (O) ruscopycancel コマンドを実行してコピーを実行する前の状態に戻したあと、ruscopy コマンドを再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQR25610-E | Error | An attempt to read differential data has failed. (HFRR pair name = <HFRR ペア名> , differential-data snapshot name = < 差分スナップショット名>) 差分データの読み込みに失敗しました。(HFRR ペア名= < HFRR ペア名> , 差分スナップショット名= < 差分スナップショット名>) | 差分データの取得の際に差分スナップショットの読み込みに失敗しました。 (S) 当該コマンドの実行を中止します。 (O) File snapshots を使用して、対象の差分スナップショットが存在するかどうかを確認してください。差分スナップショットが存在しない場合は、ruscopycancel コマンドを実行してコピーを実行する前の状態に戻したあとに、ruscopy コマンドを再実行してください。差分スナップショットが存在する場合は、全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQR25611-E | Error | An error occurred during reading of differential data. (HFRR pair name = < HFRR ペア名> , differential-data snapshot name = < 差分スナップショット名>) 差分データを読み込み中に内部エラーが発生しました。(HFRR ペア名= < HFRR ペア名> , 差分スナップショット名= < 差分スナップショット名>) | 差分データを読み込み中に内部エラーが発生しました。 (S) 当該コマンドの実行を中止します。 (O) 全ログデータを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQR25621-E | Error | There is a space shortage on the differential-data storage device of the specified file system. (file system name = <ファイルシステム名>) 指定したファイルシステムの差分格納デバイスの容量が不足しています。(ファイルシステム名= <ファイルシステム名>) | 指定したファイルシステムの差分格納デバイスの容量が不足しています。 (S) 処理を中止します。 (O) ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQR25629-E | Error | An internal error occurred in copy processing. (HFRR pair name = < HFRR ペア名>) コピー処理中に内部エラーが発生しました。(HFRR ペア名= < HFRR ペア名>) | コピー処理中に内部エラーが発生しました。 (S) 当該処理を中止します。 (O) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQR25636-E | Error | An attempt to read from the differential-data storage device has failed. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 >) 差分格納デバイスの読み込みに失敗しました。(HFRR ペア名= <HFRR ペア名>) | 差分格納デバイスの読み込みに失敗しました。 (S) 当該処理を中止します。 (O) ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQR25637-E | Error | An attempt to write to the differential-data storage device has failed. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 >) 差分格納デバイスへの書き込みに失敗しました。(HFRR ペア名= <HFRR ペア名>) | 差分格納デバイスへの書き込みに失敗しました。 (S) 当該処理を中止します。 (O) ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQR25698-E | Error | An error has occurred at the remote site. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 > , host name = <エラー発生サイトのホスト名> , port number = <エラー発生サイトのポート番号>) 相手サイトでエラーが発生しました。(HFRR ペア名= < HFRR ペア名 > , ホスト名 = <エラー発生サイトのホスト名> , ポート番号 = <エラー発生サイトのポート番号>) | 相手サイトでエラーが発生しました。 (S) 処理を中止します。 (O) HFRR ペアの状態と相手サイトのrus.log を参照し、メッセージに従って対処してください。 |
| KAQR25699-E | Error | The file system has been blocked at the remote site. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 > , host name = <エラー発生サイトのホスト名> , port number = <エラー発生サイトのポート番号>) 相手サイトでファイルシステムに障害が発生しています。(HFRR ペア名 = < HFRR ペア名 > , ホスト名 = <エラー発生サイトのホスト名> , ポート番号 = <エラー発生サイトのポート番号>) | 相手サイトでファイルシステムに障害が発生しています。 (S) 処理を中止します。 (O) HFRR ペアの状態と相手サイトのrus.log を参照し、メッセージに従って対処してください。 |
| KAQR25700-E | Error | An error has occurred in a differential-data storage device at the remote site. (HFRR pair name = < HFRR ペア名 > , host name = <エラー発生サイトのホスト名> , port number = <エラー発生サイトのポート番号>) 相手サイトで差分格納デバイスに障害が発生しました。(HFRR ペア名= < HFRR ペア名 > , ホスト名 = <エラー発生サイトのホスト名> , ポート番号 = <エラー発生サイトのポート番号>) | 相手サイトで差分格納デバイスに障害が発生しました。 (S) 処理を中止します。 (O) HFRR ペアの状態と相手サイトのrus.log を参照し、メッセージに従って対処してください。 |

4. File snapshots から通知されるメッセージ (KAQS メッセージ)

File snapshots から通知されるメッセージの一覧を次に示します。

表:4-1 File snapshots から通知されるメッセージの一覧

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQS11090-E | Error | Differential-data snapshots cannot be automatically created from now on because no license is set to allow use of basic functionality. 基本機能を使用するためのライセンスが設定されていないため、以降の差分スナップショットの自動作成は実行されません。 | 基本機能を使用するためのライセンスが設定されていないため、以降の差分スナップショットの自動作成は実行されません。 (S) 自動作成を中止します。 (O) ライセンスを設定してください。 |
| KAQS11091-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because of insufficient memory. メモリ不足が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 | メモリ不足が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。再度エラーが発生する場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11092-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because of insufficient memory. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) メモリ不足が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | メモリ不足が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。再度エラーが発生する場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11093-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because a differential-data snapshot name with the same name already exists. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 同じ名称の差分スナップショットがすでに存在するため、自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 同じ名称の差分スナップショットがすでに存在するため、新たな差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) クラスタの時刻設定が変更されたおそれがあります。クラスタに設定された時刻設定を確認してください。また、ファイルシステムに対する自動作成スケジュールを見直し、不要な差分スナップショットを削除してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQS11094-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because an internal error occurred. (info1 = <保守情報1> , info2 = <保守情報2> , info3 = <保守情報3> , info4 = <保守情報4> , info5 = <保守情報5> , info6 = <保守情報6>) 内部で障害が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(保守情報1 = <保守情報1> , 保守情報2 = <保守情報2> , 保守情報3 = <保守情報3> , 保守情報4 = <保守情報4> , 保守情報5 = <保守情報5> , 保守情報6 = <保守情報6>) | システムの内部で予期しない障害が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 自動作成を中止します。 (O) 全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11095-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because an internal error occurred. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , info1 = <保守情報1> , info2 = <保守情報2> , info3 = <保守情報3> , info4 = <保守情報4> , info5 = <保守情報5> , info6 = <保守情報6> , info7 = <保守情報7>) 内部で障害が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , 保守情報1 = <保守情報1> , 保守情報2 = <保守情報2> , 保守情報3 = <保守情報3> , 保守情報4 = <保守情報4> , 保守情報5 = <保守情報5> , 保守情報6 = <保守情報6> , 保守情報7 = <保守情報7>) | システムの内部で予期しない障害が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11096-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because a file snapshot functionality or HFRR operation is currently being executed on the filesystem that is the creation source of the differential-data snapshot. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 差分スナップショットの作成元のファイルシステムではファイルスナップショット機能またはHFRR の別の操作を実行中のため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 差分スナップショットの作成元のファイルシステムではファイルスナップショット機能またはHFRR の別の操作を実行中のため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間に、作成元のファイルシステムに対して別の操作をしないでください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQS11097-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because a system error occurred. (function = <機能名> , return value = <戻り値>) システムでエラーが発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(機能名 = <機能名> , 戻り値 = <戻り値>) | システムでエラーが発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 自動作成を中止します。 (O) 全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11098-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because a system error occurred. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , function = <機能名> , return value = <戻り値>) システムでエラーが発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , 機能名 = <機能名> , 戻り値 = <戻り値>) | システムでエラーが発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11099-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because the capacity of the differential-data storage device is insufficient. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 差分格納デバイスの容量が不足しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 差分格納デバイスの容量が不足しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) ヘルプの差分格納デバイスの容量が不足した場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS11103-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed, because the <機能名> is being executed in the file system. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) ファイルシステムでは、<機能名>の処理を実行中のため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | ファイルシステムでは、ほかの機能の処理を実行中のため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間に、作成元のファイルシステムに対してほかの操作をしないでください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQS11104-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because file snapshot functionality background processing is being executed. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) ファイルスナップショット機能のバックグラウンド処理を実行中のため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | ファイルスナップショット機能のバックグラウンド処理を実行中のため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間に、ファイルスナップショット機能のバックグラウンド処理が実行される操作をしないでください。 |
| KAQS11105-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because an error was detected while accessing the device file. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , device file name = <デバイスファイル名>) デバイスファイルへのアクセス中に障害を検出したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , デバイスファイル名 = <デバイスファイル名>) | デバイスファイルへのアクセス中に障害を検出したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) ヘルプのデバイスファイルにアクセス障害が発生した場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS11106-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because another user is using some of the resources to be used by the requested processing. 要求された処理で使用するリソースが、ほかのユーザーに使用されているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 | 処理に使用されるリソースの一部が、ほかのユーザーに占有されているか、占有していたノードが停止したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間に、ほかの操作をしないでください。ノードが停止した場合は、停止したノードを起動してください。 |
| KAQS11107-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because an error occurred in the cluster management LU. 共有LU に障害が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 | 共有LU に障害が発生しているか、共有LU が閉塞しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 自動作成を中止します。 (O) 全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|---|
| KAQS11108-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because an error occurred during setup or release processing for the differential-data storage device in the file system. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 差分格納デバイスを設定または解除する処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 差分格納デバイスを設定または解除する処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 障害が発生しているファイルシステムに設定された差分格納デバイスを解除してください。再度エラーが発生する場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11110-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because an error occurred in the logical volume of the file system or differential-data storage device. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) ファイルシステムまたは差分格納デバイスの論理ボリュームに障害が発生しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | ファイルシステムまたは差分格納デバイスの論理ボリュームに障害が発生しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。クラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していない場合に、このメッセージが出力されることもあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。または、Virtual Server の状態を確認してください。状態に問題がない場合は、ヘルプのデバイスファイルにアクセス障害が発生した場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS11111-E | Error | The automatic creation schedule of the specified file system is unavailable because an error occurred. (file system name = <ファイルシステム名>) 障害が発生しているおそれがあるため、ファイルシステムに設定された差分スナップショットの自動作成スケジュールを無効にします。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 障害が発生しているおそれがあるため、ファイルシステムに設定された差分スナップショットの自動作成スケジュールを無効にします。 (S) ファイルシステムに設定された差分スナップショットの自動作成スケジュールを無効にします。 (O) このメッセージが出力される直前のsyncimage.log の内容を確認し、エラーの要因を特定して対処してください。 |
| KAQS11112-I | Information | Automatic creation of a differential-data snapshot has finished. (file system name = <ファイルシステム名> , name of removed differential-data snapshot = <削除した差分スナップショット名> , name of created differential-data snapshot = <作成した差分スナップショット名>) 差分スナップショットの自動作成が正常に終了しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 削除した差分スナップショット名 = <削除した差分スナップショット名> , 作成した差分スナップショット名 = <作成した差分スナップショット名>) | 差分スナップショットの自動作成が正常に終了しました。 (S) なし。 (O) なし。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQS11113-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because the number of differential-data snapshots has reached the maximum, and a differential-data snapshot for deletion does not exist. (file system name = <ファイルシステム名> ,differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 差分スナップショットが予約世代数作成され、かつ削除対象となる差分スナップショットが存在しないため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 差分スナップショットが予約世代数作成され、かつ削除対象となる差分スナップショットが存在しないため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 不要な差分スナップショットを削除してください。 |
| KAQS11115-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because the number of differential-data snapshots has reached the maximum number for automatic creation, and a differential-data snapshot for deletion does not exist. (file system name = <ファイルシステム名> ,differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 差分スナップショットが自動作成で上限数作成され、かつ削除対象となる差分スナップショットが存在しないため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 差分スナップショットが自動作成で上限数作成され、かつ削除対象となる差分スナップショットが存在しないため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 不要な差分スナップショットを削除してください。 |
| KAQS11120-E | Error | The differential-data snapshot could not be automatically created because an error occurred during processing to expand the differential-data storage device in the creation source file system. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 作成元のファイルシステムは差分格納デバイスを拡張する処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 作成元のファイルシステムで差分格納デバイスを拡張する処理に障害が発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 障害が発生しているファイルシステムを指定して、拡張のリカバリー処理を実行してください。再度エラーが発生した場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQS11126-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because the file system is not being used by the file snapshot functionality. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 差分スナップショットの作成元のファイルシステムはファイルスナップショット機能で運用されていないため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 差分スナップショットの自動作成の処理中に、差分格納デバイスが解除されたおそれがあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) なし。 |
| KAQS11127-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because another user is using some of the resources to be used by the requested processing. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 要求された処理で使用するリソースが、ほかのユーザーに使用されているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 処理に使用されるリソースの一部が、ほかのユーザーに占有されているか、占有していたノードが停止したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間に、ほかの操作をしないでください。 ノードが停止した場合は、停止したノードを起動してください。 |
| KAQS11128-I | Information | Automatic creation and mounting of the differential-data snapshot, and automatic creation of the differential-data snapshot file shares has finished. (file system name = <ファイルシステム名> , name of removed differential-data snapshot = <削除した差分スナップショット名> , name of created differential-data snapshot = <作成した差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットの自動作成、マウントおよびファイル共有の作成が正常に終了しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 削除した差分スナップショット名 = <削除した差分スナップショット名> , 作成した差分スナップショット名 = <作成した差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットの自動作成、マウントおよびファイル共有の作成が正常に終了しました。 (S) なし。 (O) なし。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQS11129-I | Information | Deletion of the differential-data snapshot file shares and unmounting of the differential-data snapshot has finished. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットのファイル共有の削除およびアンマウントが正常に終了しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットのファイル共有の削除およびアンマウントが正常に終了しました。 (S) なし。 (O) なし。 |
| KAQS11130-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because an internal error occurred. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 内部で障害が発生したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | システムの内部で予期しない障害が発生したため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11131-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because the file system that is the creation source of the differential-data snapshot is not being used by the file snapshot functionality. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットの作成元のファイルシステムはファイルスナップショット機能で運用されていないため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットの自動マウント処理中に、差分格納デバイスが解除されたおそれがあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) なし。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQS11132-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because the differential-data snapshot created automatically is already mounted. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 自動作成した差分スナップショットは、すでにマウントされていたため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 対象の差分スナップショットは、自動作成された直後にマウントされたおそれがあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) なし。 |
| KAQS11133-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because an error was detected while accessing the device file. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名> , device file name = <デバイスファイル名>) デバイスファイルへのアクセス中に障害を検出したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名> , デバイスファイル名 = <デバイスファイル名>) | デバイスファイルへのアクセス中に障害を検出したため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) ヘルプのデバイスファイルにアクセス障害が発生した場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS11134-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because the differential-data snapshot does not exist. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 対象の差分スナップショットは存在しないため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 対象の差分スナップショットは、自動マウントの処理中に削除されたおそれがあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) なし。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQS11136-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because the mount point of a differential-data snapshot that was created automatically is already being used by the file snapshot functionality. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 自動作成した差分スナップショットのマウントポイントは、すでにファイルスナップショット機能で使用されていたため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 自動作成した差分スナップショットのマウントポイントは、すでにファイルスナップショット機能で使用されています。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) マウントポイント名に使用される識別子を別の文字列に変更してください。なお、今後作成するファイルシステムや差分スナップショットなどには、自動マウント時に付与されるマウントポイント名の命名規則とは異なる名称を付与することをお勧めします。 |
| KAQS11137-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because the mount point of a differential-data snapshot created automatically is being used by another function. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 自動作成した差分スナップショットのマウントポイントは、ほかの機能で使用されていたため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 自動作成した差分スナップショットのマウントポイントは、ほかの機能で使用されています。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) マウントポイント名に使用される識別子を別の文字列に変更してください。なお、今後作成するファイルシステムや差分スナップショットなどには、自動マウント時に付与されるマウントポイント名の命名規則とは異なる名称を付与することをお勧めします。 |
| KAQS11138-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because the limit on the number of file systems that can be registered in the system has been reached. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) システムに登録できるファイルシステム数が上限に達していたため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | システムに登録できるファイルシステム数が上限に達しています。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) マウントされている差分スナップショットをアンマウントするか、不要なファイルシステムを削除してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQS11139-E | Error | An attempt to automatically mount the automatically created differential-data snapshot or make it visible within the share has failed. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 自動作成した差分スナップショットを自動マウントする処理または共有内に公開する処理に失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 自動作成した差分スナップショットを自動マウントする処理または共有内に公開する処理で障害が発生しました。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 次の事項を確認し、問題を取り除いてください。 ・ クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態、またはVirtual Server の状態・ 差分格納デバイスの容量が不足していないかこれらの事項について問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS11140-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because the capacity of the differential-data storage device is insufficient. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分格納デバイスの容量が不足しているため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分格納デバイスの容量が不足しているため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) ヘルプの差分格納デバイスの容量が不足した場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS11141-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because another user is using some of the resources to be used by the requested processing. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 要求された処理で使用されるリソースが、ほかのユーザーに使用されていたため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 処理に使用されるリソースの一部が、ほかのユーザーに占有されているか、占有していたノードが停止したため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。 なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間に、ほかの操作をしないでください。 ノードが停止した場合は、停止したノードを起動してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQS11142-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because an error occurred in the logical volume of the file system or differential-data storage device. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) ファイルシステムまたは差分格納デバイスの論理ボリュームに障害が発生しているため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | ファイルシステムまたは差分格納デバイスの論理ボリュームに障害が発生しているため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。クラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していない場合に、このメッセージが出力されることもあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。または、Virtual Server の状態を確認してください。状態に問題がない場合は、ヘルプのデバイスファイルにアクセス障害が発生した場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS11143-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because a failover occurred. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) フェールオーバーが発生しているため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | フェールオーバーが発生しているため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) フェールバックして正常な状態に戻してください。 補足 フェールオーバー先のノードで自動マウントすることもできます。 |
| KAQS11144-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because an error occurred during setup or release processing for the differential-data storage device in the file system. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分格納デバイスを設定または解除する処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分格納デバイスを設定または解除する処理で障害が発生しているため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 障害が発生しているファイルシステムに対して設定された差分格納デバイスをいったん解除してください。再度エラーが発生する場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQS11145-E | Error | <p>An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because an error occurred during mount or unmount processing for the differential-data snapshot. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name of the differential-data snapshot to be mounted = <マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名> , mount point name of the differential-data snapshot in which an error occurred = <障害が発生している差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> <p>差分スナップショットをマウントまたはアンマウントする処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。</p> <p>(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名 = <マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名> , 障害が発生している差分スナップショットのマウントポイント名 = <障害が発生している差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> | <p>差分スナップショットをマウントまたはアンマウントする処理で障害が発生しているため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。</p> <p>(S)</p> <p>対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。</p> <p>(O)</p> <p>障害が発生している差分スナップショットのマウントポイントを指定して、アンマウントを実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。</p> |
| KAQS11146-E | Error | <p>An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because a file snapshot functionality or HFRR operation is currently being executed on the file system that is the creation source of the differential-data snapshot. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>)</p> <p>差分スナップショットの作成元のファイルシステムでは、ファイルスナップショット機能またはHFRR の別の操作を実行中のため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。</p> <p>(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>)</p> | <p>差分スナップショットの作成元のファイルシステムでは、ファイルスナップショット機能またはHFRR の別の操作を実行中のため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。</p> <p>(S)</p> <p>対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。</p> <p>(O)</p> <p>差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間に、対象のファイルシステムに対して別の操作をしないでください。</p> |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQS11147-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because an error occurred during processing to expand the differential-data storage device. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分格納デバイスを拡張する処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名= <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名= <マウントポイント名>) | 差分格納デバイスを拡張する処理で障害が発生しているため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 障害が発生しているファイルシステムを指定して、拡張のリカバリー処理を実行してください。再度エラーが発生した場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11148-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because a cluster, node, or resource group is not running normally. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) クラスタ、ノードまたはリソースグループが正常に稼働していないため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | クラスタ、ノードまたはリソースグループが正常に稼働していないため、自動作成された差分スナップショットをマウントできませんでした。差分スナップショットが自動作成された直後に、リソースグループが停止したおそれがあります。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。 |
| KAQS11149-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because of insufficient memory. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) メモリ不足が発生したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | メモリ不足が発生したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。再度エラーが発生する場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQS11150-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because a system error occurred. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) システムでエラーが発生したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | システムエラーが発生したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11153-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because the differential-data snapshot to be deleted could not be unmounted or hidden. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot to be deleted = <削除対象の差分スナップショット名> , mount point name of differential-data snapshot to be deleted = <削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , differential-data snapshot to be created = <作成しようとした差分スナップショット名>) 削除対象の差分スナップショットをアンマウントする処理または非公開にする処理に失敗したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 削除対象の差分スナップショット名 = <削除対象の差分スナップショット名> , 削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名 = <削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , 作成しようとした差分スナップショット名 = <作成しようとした差分スナップショット名>) | 作成された差分スナップショットが自動作成の上限数または予約世代数に達していたため、差分スナップショットを削除しようとしたことが、処理でエラーが発生しました。クラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していない場合に、このメッセージが出力されることもあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。または、Virtual Server の状態を確認してください。状態に問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQS11154-E | Error | <p>An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because the target differential-data snapshot could not be unmounted or hidden. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot to be unmounted = <アンマウント対象の差分スナップショット名> , mount point name of differential-data snapshot to be unmounted = <アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , differential-data snapshot to be mounted = <マウントしようとした差分スナップショット名> , mount point name of differential-data snapshot to be mounted = <マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> <p>対象の差分スナップショットをアンマウントする処理または非公開にする処理に失敗したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , アンマウント対象の差分スナップショット名 = <アンマウント対象の差分スナップショット名> , アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名 = <アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , マウントしようとした差分スナップショット名 = <マウントしようとした差分スナップショット名> , マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名 = <マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> | <p>マウントされた差分スナップショットが自動マウントの上限数に達していたため、差分スナップショットをアンマウントしようとしたことが、処理でエラーが発生しました。クラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していない場合に、このメッセージが出力されることもあります。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。</p> <p>(S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。</p> <p>(O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。または、Virtual Server の状態を確認してください。状態に問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。</p> |
| KAQS11155-E | Error | <p>An attempt to automatically create file shares has failed because another user was using some of the resources to be used by the requested processing. (file system name = <ファイルシステム名> , mount point name of differential-data snapshot = <差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> <p>要求された処理で使用されるリソースが、ほかのユーザーに使用されていたため、ファイル共有を自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショットのマウントポイント名 = <差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> | <p>処理に使用されるリソースの一部が、ほかのユーザーに占有されているか、占有していたノードが停止したため、自動マウントされた差分スナップショットにファイル共有を作成できませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。</p> <p>(S) 対象のファイルシステムの差分スナップショットで、ファイル共有の自動作成を中止します。</p> <p>(O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。ノードが停止した場合は、停止したノードを起動してください。</p> |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQS11156-E | Error | An attempt to automatically create an NFS file share for the differential-data snapshot has failed. (file system name = <ファイルシステム名>, shared directory name of differential-data snapshot = <差分スナップショットの共有ディレクトリ名>) 差分スナップショットにNFS 共有を自動作成する処理が失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショットの共有ディレクトリ名 = <差分スナップショットの共有ディレクトリ名>) | クラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していないか、エラーが発生したおそれがあります。 (S) 対象の差分スナップショットでのNFS 共有の自動作成を中止します。 (O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。または、Virtual Server の状態を確認してください。状態に問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS11157-E | Error | An attempt to automatically create a CIFS file share for the differential-data snapshot has failed. (file system name = <ファイルシステム名>, mount point name of differential-data snapshot = <差分スナップショットのマウントポイント名>) 差分スナップショットにCIFS 共有を自動作成する処理が失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショットのマウントポイント名 = <差分スナップショットのマウントポイント名>) | 内部エラーが発生したため、自動マウントされた差分スナップショットにCIFS 共有を作成できませんでした。 (S) 対象の差分スナップショットでのCIFS 共有の自動作成を中止します。 (O) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS11158-E | Error | An attempt to automatically create an NFS file share for a differential-data snapshot has failed because the name of the shared directory exceeded the maximum number of characters. For parameter information, see the KAQS11170-E message output to the syncimage.log. (file system name = <ファイルシステム名>) 共有ディレクトリ名の長さが上限を超えてしまうため、差分スナップショットにNFS 共有を自動作成できませんでした。パラメーター情報は、syncimage.log に出力された KAQS11170-E メッセージを参照してください。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 現在の作成元のファイルシステムでの共有設定では、差分スナップショットの共有ディレクトリ名の長さが上限を超えてしまいます。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。 (S) 対象の差分スナップショットでのNFS 共有の自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットを自動マウントする場合は、作成元のファイルシステムのNFS 共有ディレクトリ名を48文字以内にしてください。 |
| KAQS11159-E | Error | An attempt to automatically create a CIFS file share for a differential-data snapshot has failed because the name of the shared directory exceeded the maximum number of characters. For parameter information, see the KAQS11171-E message output to the syncimage.log. (file system name = <ファイルシステム名>) 共有ディレクトリ名の長さが上限を超えてしまうため、差分スナップショットにCIFS 共有を自動作成できませんでした。パラメーター情報は、syncimage.log に出力された KAQS11171-E メッセージを参照してください。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 現在の作成元のファイルシステムでの共有設定では、差分スナップショットの共有ディレクトリ名の長さが上限を超えてしまいます。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。 (S) 対象の差分スナップショットでのCIFS 共有の自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットにCIFS 共有を自動作成する場合は、作成元のファイルシステムのCIFS 共有ディレクトリ名を241 文字以内にしてください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQS11160-E | Error | An attempt to automatically create a CIFS file share has failed because the name of the CIFS file share of the differential-data snapshot exceeded the maximum number of characters. For parameter information, see the KAQS11172-E message output to the syncimage.log. (file system name = <ファイルシステム名>) 同じCIFS 共有名が存在したため、CIFS 共有を自動作成できませんでした。パラメーター情報は、syncimage.log に出力された KAQS11173-E メッセージを参照してください。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 現在の作成元のファイルシステムでの共有設定では、差分スナップショットのCIFS 共有名の長さが上限を超えています。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。 (S) 対象の差分スナップショットでのCIFS 共有の自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットにCIFS 共有を自動作成する場合は、作成元のファイルシステムのCIFS 共有名を69 文字以内にしてください。 |
| KAQS11161-E | Error | An attempt to automatically create a CIFS file share has failed because a CIFS file share with the same name already exists. For parameter information, see the KAQS11173-E message output to the syncimage.log. (file system name = <ファイルシステム名>) 同じCIFS 共有名が存在したため、CIFS 共有を自動作成できませんでした。パラメーター情報は、syncimage.log に出力された KAQS11173-E メッセージを参照してください。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 同じCIFS 共有名がすでに存在します。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。 (S) 対象の差分スナップショットでのCIFS 共有の自動作成を中止します。 (O) 作成元のファイルシステムの共有設定で、CIFS 共有名を別の文字列に変更してください。なお、今後作成するCIFS 共有名には、自動共有でのCIFS 共有名の命名規則とは異なる名称を付与することをお勧めします。 |
| KAQS11162-E | Error | Some of an NFS file share might not be made by automatic creation because the maximum number of NFS resources that can be created during processing has been reached. (file system name = <ファイルシステム名>, mount point name of differential-data snapshot = <差分スナップショットのマウントポイント名>) 処理途中でNFS 共有数の上限に達したため、一部のNFS 共有が自動作成されませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショットのマウントポイント名 = <差分スナップショットのマウントポイント名>) | 処理途中でNFS 共有数の上限に達したため、一部のNFS 共有が正常に作成されませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムの差分スナップショットで、NFS 共有の自動作成を中止します。 (O) ファイル共有一覧で作成されたNFS 共有を確認し、必要に応じてFile Services Manager でNFS 共有を作成してください。 |
| KAQS11163-E | Error | Some of a CIFS file share might not be made by automatic creation because the maximum number of CIFS resources that can be created during processing has been reached. (file system name = <ファイルシステム名>, mount point name of differential-data snapshot = <差分スナップショットのマウントポイント名>) 処理途中でCIFS 共有数の上限に達したため、一部のCIFS 共有が自動作成されませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショットのマウントポイント名 = <差分スナップショットのマウントポイント名>) | 処理途中でCIFS 共有数の上限に達したため、一部のCIFS 共有が正常に作成されませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムの差分スナップショットで、CIFS 共有の自動作成を中止します。 (O) ファイル共有一覧で作成されたCIFS 共有を確認し、必要に応じてFile Services Manager でCIFS 共有を作成してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQS11164-E | Error | Some file shares were not automatically created because, during processing, the status of a cluster, node, resource group, or virtual server changed. (file system name = <ファイルシステム名>, mount point name of differential-data snapshot = <差分スナップショットのマウントポイント名>) 処理中にクラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server の状態が変わったため、一部のファイル共有が自動作成されませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショットのマウントポイント名 = <差分スナップショットのマウントポイント名>) | クラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していないため、自動マウントされた差分スナップショットに一部のファイル共有を正常に作成できませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムの差分スナップショットで、ファイル共有の自動作成を中止します。 (O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。または、Virtual Server の状態を確認してください。また、ファイル共有一覧で作成されたファイル共有を確認し、必要に応じてFile Services Manager でファイル共有を作成してください。 |
| KAQS11165-E | Error | An attempt to automatically delete file shares has failed because another user was using some of the resources to be used by the requested processing. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name to be deleted = <削除対象の差分スナップショット名>, mount point name of differential-data snapshot to be deleted = <削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名>, differential-data snapshot name to be created = <作成しようとした差分スナップショット名>) 削除対象の差分スナップショットのファイル共有を削除する処理で利用されるリソースが、ほかのユーザーに使用されていたため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 削除対象の差分スナップショット名 = <削除対象の差分スナップショット名>, 削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名 = <削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名>, 作成しようとした差分スナップショット名 = <作成しようとした差分スナップショット名>) | 作成された差分スナップショットが自動作成の上限数または予約世代数に達していたため、削除対象の差分スナップショットでファイル共有を削除しようとしたが、処理でエラーが発生しました。処理に利用されるリソースの一部が、ほかのユーザーに占有されているか、占有していたノードが停止しました。 (S) 対象のファイルシステムの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。 ノードが停止した場合は、停止したノードを起動してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQS11166-E | Error | <p>An attempt to automatically delete file shares has failed because another user was using some of the resources to be used by the requested processing. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot to be unmounted = <アンマウント対象の差分スナップショット名> , mount point name of differential-data snapshot to be unmounted = <アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , differential-data snapshot to be mounted = <マウントしようとした差分スナップショット名> , mount point name of differential-data snapshot to be mounted = <マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> <p>アンマウント対象の差分スナップショットのファイル共有を削除する処理で使用されるリソースが、ほかのユーザーに使用されていたため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , アンマウント対象の差分スナップショット名 = <アンマウント対象の差分スナップショット名> , アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名 = <アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , マウントしようとした差分スナップショット名 = <マウントしようとした差分スナップショット名> , マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名 = <マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> | <p>マウントされた差分スナップショットが自動マウントの上限数に達していたため、アンマウント対象の差分スナップショットでファイル共有を削除しようとしたが、処理でエラーが発生しました。処理に使用されるリソースの一部が、ほかのユーザーに占有されているか、占有していたノードが停止しました。</p> <p>(S)</p> <p>対象のファイルシステムに対して作成された差分スナップショットの自動マウントを中止します。</p> <p>(O)</p> <p>差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。</p> <p>ノードが停止した場合は、停止したノードを起動してください。</p> |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQS11167-E | Error | <p>An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because an attempt to delete the file share of the differential-data snapshot to be deleted has failed. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name to be deleted = <削除対象の差分スナップショット名> , mount point name of differential-data snapshot to be deleted = <削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , differential-data snapshot name to be created = <作成しようとした差分スナップショット名>)</p> <p>削除対象の差分スナップショットでファイル共有の削除に失敗したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 削除対象の差分スナップショット名 = <削除対象の差分スナップショット名> , 削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名 = <削除対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , 作成しようとした差分スナップショット名 = <作成しようとした差分スナップショット名>)</p> | <p>作成された差分スナップショットが自動作成の上限数または予約世代数に達していたため、削除対象の差分スナップショットでファイル共有を削除しようとしたが、処理でエラーが発生しました。クラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していない場合に、このメッセージが出力されることもあります。</p> <p>(S) 対象のファイルシステムの差分スナップショットの自動作成を中止します。</p> <p>(O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。または、Virtual Server の状態を確認してください。状態に問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。</p> |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQS11168-E | Error | <p>An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because an attempt to delete a file share of the differential-data snapshot to be unmounted has failed. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot to be unmounted = <アンマウント対象の差分スナップショット名> , mount point name of differential-data snapshot to be unmounted = <アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , differential-data snapshot to be mounted = <マウントしようとした差分スナップショット名> , mount point name of differential-data snapshot to be mounted = <マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> <p>アンマウント対象の差分スナップショットでファイル共有の削除に失敗したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , アンマウント対象の差分スナップショット名 = <アンマウント対象の差分スナップショット名> , アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名 = <アンマウント対象の差分スナップショットのマウントポイント名> , マウントしようとした差分スナップショット名 = <マウントしようとした差分スナップショット名> , マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名 = <マウントしようとした差分スナップショットのマウントポイント名>)</p> | <p>マウントされた差分スナップショットが自動マウントの上限数に達していたため、アンマウント対象の差分スナップショットでファイル共有を削除しようとしたが、処理でエラーが発生しました。クラスタ、ノード、リソースグループまたはVirtual Server が正常に稼働していない場合に、このメッセージが出力されることもあります。</p> <p>(S) 対象のファイルシステムに対して作成された差分スナップショットの自動マウントを中止します。</p> <p>(O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。または、Virtual Server の状態を確認してください。状態に問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。</p> |
| KAQS11175-E | Error | <p>An attempt to automatically create a differential-data snapshot has failed because an error occurred during processing to delete all differential-data snapshots created for the file system. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>)</p> <p>ファイルシステムに対して作成された差分スナップショットをすべて削除する処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>)</p> | <p>ファイルシステムに対して作成された差分スナップショットをすべて削除する処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。</p> <p>(S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。</p> <p>(O) ファイルシステムに対して作成された差分スナップショットをすべて削除する処理を再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。</p> |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|---|
| KAQS11176-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because an error occurred during processing to delete all differential-data snapshots created for the file system. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>, mount point name = <マウントポイント名>) ファイルシステムに対して作成された差分スナップショットをすべて削除する処理で障害が発生しているため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショット名 = <スナップショット名>, マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | ファイルシステムに対して作成された差分スナップショットをすべて削除する処理で障害が発生しているため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) ファイルシステムに対して作成された差分スナップショットをすべて削除する処理を再実行してください。再度エラーが発生する場合は、全ログファイルを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ファイルスナップショット機能のログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11177-E | Error | An attempt to automatically create an NFS file share for the differential-data snapshot has failed. (file system name = <ファイルシステム名>, mount point name of differential-data snapshot = <差分スナップショットのマウントポイント名>) 差分スナップショットにNFS 共有を自動作成する処理が失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショットのマウントポイント名 = <差分スナップショットのマウントポイント名>) | 内部エラーが発生したため、自動マウントされた差分スナップショットにNFS 共有を作成できませんでした。 (S) 対象の差分スナップショットでのNFS 共有の自動作成を中止します。 (O) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS11179-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed because, during processing, the status of the cluster, node, or resource group changed. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>, mount point name = <マウントポイント名>) 処理中にクラスタ、ノードまたはリソースグループの状態が変わったため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>, マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | クラスタ、ノード、またはリソースグループが正常に稼働していないため、作成された差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) クラスタ、ノードおよびリソースグループの状態を確認してください。状態に問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQS11180-E | Error | An NFS file share could not be automatically created for the differential-data snapshot because a client whose name is being incorrectly managed is set in the NFS file share that was set in the creation-source file system. (file system name = <ファイルシステム名> , shared directory name of the differential-data snapshot = <差分 スナップショットの共有ディレクトリ名>) 作成元のファイルシステムに設定されているNFS 共有にホスト名が正しく管理されていないクライアントが設定されているため、差分スナップショットにNFS 共有を自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> ,差分スナップショットの共有ディレクトリ名 = <差分 スナップショットの共有ディレクトリ名>) | 作成元のファイルシステムに設定されているNFS 共有にホスト名が正しく管理されていないクライアントが設定されているため、自動マウントされた差分スナップショットにNFS 共有を作成できませんでした。 (S) 対象の差分スナップショットでのNFS 共有の自動作成を中止します。 (O) 作成元ファイルシステムに設定されているNFS共有のクライアントのホスト名が正しく管理されているか確認してください。問題がない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS11181-E | Error | An NFS file share could not be automatically created for the differential-data snapshot because another NFS or CIFS file share has already been created in the shared directory. (file system name = <ファイルシステム名> , shared directory name of the differential-data snapshot = <差分スナップショットの共有ディレクトリ名>) 共有ディレクトリには、すでにほかのNFS 共有またはCIFS 共有が作成されていたため、差分スナップショットにNFS 共有を自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショットの共有ディレクトリ名 = <差分スナップショットの共有ディレクトリ名>) | 対象の差分スナップショットが自動マウントされた直後に、NFS 共有またはCIFS 共有が作成されたおそれがあります。 (S) 対象の差分スナップショットでのNFS 共有の自動作成を中止します。 (O) ファイル共有一覧で共有情報を確認し、必要に応じて共有情報を編集してください。 |
| KAQS11182-E | Error | An CIFS file share could not be automatically created for the differential-data snapshot because another NFS or CIFS file share has already been created in the shared directory. For parameter information, see the KAQS11183-E message output to the syncimage.log. (file system name = <ファイルシステム名>) 共有ディレクトリには、すでにほかのNFS 共有またはCIFS 共有が作成されていたため、差分スナップショットにCIFS 共有を自動作成できませんでした。パラメーター情報は、syncimage.log に出力されたKAQS11183-E メッセージを参照してください。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 対象の差分スナップショットが自動マウントされた直後に、NFS 共有またはCIFS 共有が作成されたおそれがあります。 (S) 対象の差分スナップショットでのCIFS 共有の自動作成を中止します。 (O) ファイル共有一覧で共有情報を確認し、必要に応じて共有情報を編集してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQS11185-E | Error | An attempt to automatically create an NFS file share for the differential-data snapshot has failed. (file system name = <ファイルシステム名> , shared directory name of differential-data snapshot = <差分スナップショットの共有ディレクトリ名>) 差分スナップショットにNFS 共有を自動作成する処理が失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショットの共有ディレクトリ名 = <差分スナップショットの共有ディレクトリ名>) | NFS 共有を作成しようとしたディレクトリの上位ディレクトリまたは下位ディレクトリに、NFS 共有ディレクトリがあります。 (S) 対象の差分スナップショットでのNFS 共有の自動作成を中止します。 (O) ファイルシステムのNFS 共有ディレクトリの上位ディレクトリまたは下位ディレクトリに作成されているNFS 共有を削除してください。 |
| KAQS11191-I | Information | A differential-data snapshot was successfully made visible within the share. (file system name = <ファイルシステム名> , deleted differential-data snapshot = <削除した差分スナップショット名> , created differential-data snapshot = <作成した差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットを共有内に公開する処理が正常に終了しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 削除した差分スナップショット名 = <削除した差分スナップショット名> , 作成した差分スナップショット名 = <作成した差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットを共有内に公開する処理が正常に終了しました。 (S) なし。 (O) なし。 |
| KAQS11192-E | Error | An attempt to make a differential-data snapshot visible within the share failed because the file system is not mounted with write permissions. (file system name = <ファイルシステム名>) ファイルシステムが書き込みを許可する設定でマウントされていないため、差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムが書き込みを許可する設定でマウントされていないため、差分スナップショットを共有内に公開することができません。 (S) 処理を中止します。 (O) 書き込みを許可する設定でファイルシステムをマウントし、ファイル共有を作成してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQS11193-E | Error | An attempt to make a differential-data snapshot visible within the share failed because the file share has not been created in the file system, or the data to be made visible within the share does not exist in the differential-data snapshot. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) ファイルシステムにファイル共有が作成されていないか、共有内に公開するデータが差分スナップショットに存在しないため、差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。(ファイルシステム名= <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | ファイルシステムにファイル共有が作成されていないか、共有内に公開するデータが差分スナップショットに存在しないため、差分スナップショットを共有内に公開することができません。 (S) 処理を中止します。 (O) ファイル共有一覧で、ファイルシステムにファイル共有が作成されているか確認してください。ファイルシステムにファイル共有が作成されていない場合は、作成してください。 |
| KAQS11194-E | Error | An attempt to create the directory for making differential-data snapshots visible within the share has failed. For information on the parameters, see the KAQS13058-E message output to the syncimage.log. (file system name = <ファイルシステム名>) 共有内の差分スナップショット公開用のディレクトリの作成に失敗しました。パラメーター情報は、syncimage.log に出力された KAQS13058-E メッセージを参照してください。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 共有内の差分スナップショット公開用のディレクトリの作成に失敗しました。原因として次のことが考えられます。 ・ 共有内の差分スナップショット公開用のディレクトリにファイルが作成されている ・ ファイルシステムの容量が不足している ・ ファイルシステムが閉塞している (S) 処理を中止します。 (O) ファイルシステム一覧でファイルシステムの状態を確認してください。 ファイルシステムの容量が不足している場合：不要なデータを削除してください。 ファイルシステムが障害状態の場合：ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。 ファイルシステムの状態に問題がない場合：共有内の差分スナップショット公開用のディレクトリを削除してください。再度エラーが発生する場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。全ログデータの一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11195-E | Error | An attempt to make a differential-data snapshot visible within the share failed because a differential-data snapshot created in the same minute as the specified snapshot has already been made visible. (file system name = <ファイルシステム名> , mount point name of differential-data snapshot = <差分スナップショットのマウントポイント名>) 分単位で同じ時刻に作成した差分スナップショットをすでに共有内に公開しているため、差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショットのマウントポイント名 = <差分スナップショットのマウントポイント名>) | 分単位で同じ時刻に作成した差分スナップショットをすでに共有内に公開しています。 (S) 処理を中止します。 (O) 共有内に公開している差分スナップショットをアンマウントしてください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQS11197-E | Error | An attempt to make a differential-data snapshot hidden has failed. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットを非公開にする処理に失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットを非公開にする処理に失敗しました。 (S) 処理を中止します。 (O) 全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。全ログデータの一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11198-E | Error | An attempt to make a differential-data snapshot visible within the share has failed. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。差分格納デバイスの容量が不足しているおそれがあります。 (S) 処理を中止します。 (O) 差分格納デバイスの容量が不足している場合は、ヘルプの障害回復手順に従って、対処してください。そのほかの場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。全ログデータの一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQS11199-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot has failed, because the <機能名> is being executed in the file system. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) ファイルシステムでは、<機能名>の処理を実行中のため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | ファイルシステムでは、ほかの機能の処理を実行中のため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間に、作成元のファイルシステムに対してほかの操作をしないでください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|--|
| KAQS13001-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because the differential-data snapshot to be deleted was blocked. (file system name = <ファイルシステム名> , name of differential-data snapshot to be deleted = <削除対象の差分スナップショット名> , name of differential-data snapshot to be created = <作成しようとした差分スナップショット名>) 削除対象の差分スナップショットが閉塞しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 削除対象の差分スナップショット名 = <削除対象の差分スナップショット名> , 作成しようとした差分スナップショット名 = <作成しようとした差分スナップショット名>) | 削除対象の差分スナップショットが閉塞しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) ヘルプの差分スナップショットが閉塞している場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS13002-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because it was blocked. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットが閉塞しているため、自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットが閉塞しているため、自動マウントできませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) ヘルプの差分スナップショットが閉塞している場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS13015-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because the snapshot is being used by HFRR. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットがHFRR で使用されているため、自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットがHFRR で使用されています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にHFRR の操作をしないでください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|--|--|
| KAQS13024-I | Information | Processing to prevent an overflow of the differential-data storage device was executed, and free capacity of the differential-data storage device was secured. (file system name = <ファイルシステム名>) 差分格納デバイスのあふれ防止処理を実行し、差分格納デバイスの空き容量を確保しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 差分格納デバイスのあふれ防止処理を実行し、差分格納デバイスの空き容量を確保しました。 (S) なし。 (O) なし。 |
| KAQS13026-E | Error | Processing to prevent an overflow of the differential-data storage device failed. (file system name = <ファイルシステム名> , function name = <機能名>) 差分格納デバイスのあふれ防止処理に失敗しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 機能名 = <機能名>) | 差分格納デバイスのあふれ防止処理に失敗しました。 (S) 処理を中止します。 (O) このメッセージが出力される直前のsyncimage.log の内容を確認し、エラーの要因を特定して対処してください。 |
| KAQS13027-W | Information | The differential-data snapshot was deleted by the processing to prevent an overflow of the differential-data storage device. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 差分格納デバイスのあふれ防止処理によって、差分スナップショットを削除しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 差分スナップショットを削除しました。 (S) なし。 (O) なし。 |
| KAQS13030-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because a timeout occurred during the resource operation. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) リソース操作でタイムアウトが発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | システムが高負荷状態にあるおそれがあります。または、ほかのリソース操作が実行されているおそれがあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。繰り返すこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|--|---|
| KAQS13031-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because a timeout occurred during the resource operation. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>, mount point name = <マウントポイント名>) リソース操作でタイムアウトが発生したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>, マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | システムが高負荷状態にあるおそれがあります。または、ほかのリソース操作が実行されているおそれがあります。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS13032-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because a timeout occurred during the resource operation. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) リソース操作でタイムアウトが発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 作成された差分スナップショットが自動作成の上限数または予約世代数に達していたため、差分スナップショットをアンマウントしようとしたことが、リソース操作でタイムアウトが発生しました。システムが高負荷状態にあるおそれがあります。または、ほかのリソース操作が実行されているおそれがあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS13033-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because a timeout occurred during the resource operation. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>, mount point name = <マウントポイント名>) リソース操作でタイムアウトが発生したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>, マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | マウントされた差分スナップショットが自動マウントの上限数に達していたため、差分スナップショットをアンマウントしようとしたことが、リソース操作でタイムアウトが発生しました。システムが高負荷状態にあるおそれがあります。または、ほかのリソース操作が実行されているおそれがあります。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|--|--|
| KAQS13034-E | Error | An attempt to automatically create file shares failed because a timeout occurred during the resource operation. (file system name = <ファイルシステム名> , mount point name of differential-data snapshot = <差分スナップショットのマウントポイント名>) リソース操作でタイムアウトが発生したため、ファイル共有を自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショットのマウントポイント名 = <差分スナップショットのマウントポイント名>) | リソース操作でタイムアウトが発生したため、差分スナップショットにファイル共有を自動作成できませんでした。システムが高負荷状態にあるおそれがあります。または、ほかのリソース操作が実行されているおそれがあります。なお、差分スナップショットの自動作成およびマウントは正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムの差分スナップショットで、ファイル共有の自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS13035-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because a timeout occurred during the resource operation. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) リソース操作でタイムアウトが発生したため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 作成された差分スナップショットが自動作成の上限数または予約世代数に達していたため、削除対象の差分スナップショットでファイル共有を削除しようとしたのですが、リソース操作でタイムアウトが発生しました。システムが高負荷状態にあるおそれがあります。または、ほかのリソース操作が実行されているおそれがあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS13036-E | Error | An attempt to automatically mount a differential-data snapshot failed because a timeout occurred during the resource operation. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名> , mount point name = <マウントポイント名>) リソース操作でタイムアウトが発生したため、差分スナップショットを自動マウントできませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名> , マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | マウントされた差分スナップショットが自動マウントの上限数に達していたため、アンマウント対象の差分スナップショットでファイル共有を削除しようとしたのですが、リソース操作でタイムアウトが発生しました。システムが高負荷状態にあるおそれがあります。または、ほかのリソース操作が実行されているおそれがあります。なお、差分スナップショットの自動作成は正常に終了しています。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動マウントを中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS13038-W | Warning | The specified maximum number of automatically created snapshots could not be reached. (file system name = <ファイルシステム名> , differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) 自動作成の上限数まで差分スナップショットを作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名> , 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | 自動作成の上限数まで差分スナップショットを作成できませんでした。 (S) 自動作成された最も古い差分スナップショットを削除して、新しい差分スナップショットを作成します。 (O) 予約世代数、自動作成の上限数および現在作成されている差分スナップショットの数を確認し、不要な差分スナップショットを削除してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|--|
| KAQS13044-I | Information | Automatic creation and mounting of the differential-data snapshot ended. (file system name = <ファイルシステム名>, name of removed differential-data snapshot = <削除した差分スナップショット名>, name of created differential-data snapshot = <作成した差分スナップショット名>, mount point name = <マウントポイント名>) 差分スナップショットの自動作成およびマウントが正常に終了しました。 (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 削除した差分スナップショット名 = <削除した差分スナップショット名>, 作成した差分スナップショット名 = <作成した差分スナップショット名>, マウントポイント名 = <マウントポイント名>) | 差分スナップショットの自動作成およびマウントが正常に終了しました。 (S) なし。 (O) なし。 |
| KAQS13054-E | Error | An attempt to automatically create a differential-data snapshot failed because the file system is blocked. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) ファイルシステムが閉塞しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>, 差分スナップショット名 = <差分スナップショット名>) | ファイルシステムが閉塞しているため、差分スナップショットを自動作成できませんでした。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) ヘルプのファイルシステムが閉塞している場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS13067-E | Error | The creation of differential-data snapshots used for HFRR copies set for the file system has been disabled because an error occurred. (file system name = <ファイルシステム名>) 障害が発生しているおそれがあるため、ファイルシステムに設定されたHFRR コピー用差分スナップショットの作成を無効にします。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 障害が発生しているおそれがあるため、ファイルシステムに設定されたHFRR コピー用差分スナップショットの作成を無効にします。 (S) ファイルシステムに設定されたHFRR コピー用差分スナップショットの作成を無効にします。 (O) このメッセージが出力される直前のsyncimage.log の内容を確認し、エラーの要因を特定して対処してください。 |
| KAQS13071-I | Information | The operation to make the differential-data snapshots visible within the file share started. (resource group name = <リソースグループ名>) 差分スナップショットを共有内に公開する処理を開始しました。(リソースグループ名 = <リソースグループ名>) | 差分スナップショットを共有内に公開する処理を開始しました。 (S) なし。 (O) なし。 |
| KAQS13072-I | Information | The operation to make the differential-data snapshots visible within the file share finished. (resource group name = <リソースグループ名>) 差分スナップショットを共有内に公開する処理が終了しました。(リソースグループ名 = <リソースグループ名>) | 差分スナップショットを共有内に公開する処理が終了しました。 (S) なし。 (O) なし。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------------|---|---|
| KAQS13073-E | Error | The operation to make the differential-data snapshots visible within the file share failed. (resource group name = <リソースグループ名>) 差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。(リソースグループ名 = <リソースグループ名>) | 差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。 (S) 処理を中止します。 (O) このメッセージが出力される直前のsyncimage.log を参照して、KAQS11194-E メッセージ、または、KAQS11198-E メッセージが出力されている場合は、メッセージに従って対処してください。失敗した処理を再度実行する場合は、メッセージから差分スナップショットを特定してマウントし直すか、リソースグループを再起動してください。メッセージが出力されていない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS13074-I | Information | The operation to make the differential-data snapshots visible within the file share started. 差分スナップショットを共有内に公開する処理を開始しました。 | 差分スナップショットを共有内に公開する処理を開始しました。 (S) なし。 (O) なし。 |
| KAQS13075-I | Information | The operation to make the differential-data snapshots visible within the file share finished. 差分スナップショットを共有内に公開する処理が終了しました。 | 差分スナップショットを共有内に公開する処理が終了しました。 (S) なし。 (O) なし。 |
| KAQS13076-E | Error | The operation to make the differential-data snapshots visible within the file share failed. 差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。 | 差分スナップショットを共有内に公開する処理に失敗しました。 (S) 処理を中止します。 (O) このメッセージが出力される直前のsyncimage.log を参照して、KAQS11194-E メッセージ、または、KAQS11198-E メッセージが出力されている場合は、メッセージに従って対処してください。失敗した処理を再度実行する場合は、メッセージから差分スナップショットを特定してマウントし直すか、リソースグループまたはVirtual Server を再起動してください。メッセージが出力されていない場合は、全ログデータを採取して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQS13080-E | Error | The most recent differential-data snapshot could not be automatically created because a timeout occurred in the processing to unmount the differential-data snapshot to be mounted on demand. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) オンデマンドマウント対象の差分スナップショットのアンマウント処理でタイムアウトが発生したため、最新の差分スナップショットを自動作成できませんでした。(ファイルシステム名=<ファイルシステム名>, 差分スナップショット名=<差分スナップショット名>) | クライアントが差分スナップショットにアクセスしているおそれがあります。 (S) 対象のファイルシステムでの差分スナップショットの自動作成を中止します。 (O) 差分スナップショットの自動作成が行われる前後の時間にほかの操作をしないでください。繰り返しこのメッセージが出力される場合は、全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQS13081-E | Error | An attempt to unmount the differential-data snapshot to be mounted on demand failed. (file system name = <ファイルシステム名>, differential-data snapshot name = <差分スナップショット名>) オンデマンドマウント対象の差分スナップショットのアンマウントに失敗しました。(ファイルシステム名=<ファイルシステム名>, 差分スナップショット名=<差分スナップショット名>) | クライアントが差分スナップショットにアクセスしているおそれがあります。 (S) 処理を中止します。 (O) 全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|---------|---|---|
| KAQS13082-E | Error | Processing of on-demand mounting failed because an internal error occurred. (info1 = <保守情報1 >, info2 = <保守情報2 >, info3 = <保守情報3 >, info4 = <保守情報4 >, info5 = <保守情報5 >, info6 = <保守情報6 >) 内部で障害が発生したため、オンデマンドマウントの処理ができません。 (保守情報1 = <保守情報1 >, 保守情報2 = <保守情報2 >, 保守情報3 = <保守情報3 >, 保守情報4 = <保守情報4 >, 保守情報5 = <保守情報5 >, 保守情報6 = <保守情報6 >) | システムの内部で予期しない障害が発生したため、オンデマンドマウントの設定に失敗しました。 (S) 処理を中止します。 (O) 全ログデータを取得して、保守員に連絡してください。 |
| KAQS19000-E | Error | The differential-data storage device has run out of space. All differential-data snapshots are invalid. (file system name = <ファイルシステム名>) 差分格納デバイスを使い切りました (すべての差分スナップショットが無効になりました)。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | すべての差分スナップショットが無効になりました。 (S) 差分格納デバイスへのデータ退避を停止し、ファイルシステムへのアクセスを継続します。 (O) ヘルプの差分格納デバイスの容量が不足した場合の回復手順に従って、対処してください。 |
| KAQS19001-W | Warning | The differential-data storage usage rate reached <差分格納デバイスの使用率> percent or more. (file system name = <ファイルシステム名>) 差分格納デバイスの使用率が<差分格納デバイスの使用率>パーセントに達しました。(ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | 差分格納デバイスの使用率が警告閾値に達しました。 (S) なし。 (O) 対象のファイルシステムに作成された差分スナップショットのうち、不要なものをアンマウントして削除するか、差分格納デバイスの拡張を実行してください。 |
| KAQS19002-E | Error | The differential-data storage device has run out of space. The file system or differential-data snapshot is blocked. (file system name = <ファイルシステム名>) 差分格納デバイスを使い切りました (ファイルシステムまたは差分スナップショットがブロックされました)。 (ファイルシステム名 = <ファイルシステム名>) | ファイルシステムまたは差分スナップショットがブロックされました。 (S) 差分格納デバイスへのデータ退避を停止し、ファイルシステムおよび差分スナップショットへのアクセスを制限します。 (O) ヘルプの差分格納デバイスの容量が不足した場合の回復手順に従って、対処してください。 |

5. Anti-Virus Enabler から通知されるメッセージ (KAQV メッセージ)

Anti-Virus Enabler から通知されるメッセージの一覧を次に示します。

表：5-1 Anti-Virus Enabler から通知されるメッセージの一覧

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|---------------|---------|---|---|
| KAQV10002-W | Warning | The scanner server (<サーバ名>) is blocked. スキャンサーバ (<サーバ名>) が閉塞しています。 | スキャンサーバで障害が発生したか、スキャンサーバとの通信処理に問題があるおそれがあります。また、スキャンサーバへの負荷が高かったため、スキャン処理を完了できなかったおそれもあります。 (0) スキャンサーバの状態を確認し、障害要因を取り除いてください。問題がない場合は、全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQV10005-E | Error | An attempt to create a network socket has failed. ネットワークソケットの作成に失敗しました。 | 内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) 全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQV10018-W | Warning | No server has been registered. サーバが1 台も登録されていません。 | サーバが1 台も登録されていません。 (0) スキャンサーバを登録してください。 |
| KAQV10019-E | Error | All the scanner servers are blocked. 全スキャンサーバが閉塞しています。 | スキャンサーバで障害が発生したか、スキャンサーバとの通信処理に問題があるおそれがあります。また、スキャンサーバへの負荷が高かったため、スキャン処理を完了できなかったおそれもあります。 (0) スキャンサーバの状態を確認し、障害要因を取り除いてください。問題がない場合は、全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQV10022-E*1 | Error | A virus infected file was detected. (<ウイルス詳細情報>) ウイルスに感染したファイルを検出しました。(<ウイルス詳細情報>) | ウイルスに感染したファイルを検出しました。 (0) ウイルスが伝染するのを防止してください。また、感染源を特定するなど、感染した原因を調査してください。必要があれば、ユーザー利用を一時停止、システムを停止するなど、ウイルスが伝染するのを防止する措置を取ってください。 |
| KAQV10023-W | Warning | A virus infected file was deleted. (<ウイルス詳細情報>) ウイルスに感染したファイルを削除しました。(<ウイルス詳細情報>) | ウイルスに感染したファイルを検出したので削除しました。 (0) 必要に応じて、ファイルが削除されたことをクライアントに通知してください。 |
| KAQV10024-W | Warning | A virus infected file was repaired. (<ウイルス詳細情報>) ウイルスに感染したファイルを修復しました。(<ウイルス詳細情報>) | ウイルスに感染したファイルを検出したので修復しました。 (0) 必要に応じて、ファイルが修復されたことをクライアントに通知してください。 |
| KAQV10027-W*2 | Warning | A file that cannot be scanned was detected. (<詳細情報>) スキャンできないファイルを検出しました。(<詳細情報>) | スキャンを実行しようとしたファイルは、スキャンサーバの設定により、スキャンできませんでした。 (0) スキャンサーバの設定を確認してください。 |
| KAQV10029-W | Warning | The file was not updated. (cause= <ファイルを更新できなかった要因> , <詳細情報>) ファイルを更新できませんでした。 (要因= <ファイルを更新できなかった要因> , <詳細情報>) | スキャン対象のファイルがウイルスに感染していたか、ウイルススキャンの失敗またはスキャン条件の設定によってファイルをスキャンできませんでした。 (0) 必要に応じて、ファイルが更新されなかったことをクライアントに通知してください。また、ウイルス感染以外の要因でファイルが更新されなかった場合は、スキャンサーバの状態およびスキャン条件の設定を確認してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|---------------|---------|---|--|
| KAQV10030-W | Warning | The versions of the scan software installed on the registered scanner servers are different. 登録されているスキャンサーバ間で、インストールされているスキャンソフトのバージョンが異なります。 | 登録されているスキャンサーバ間で、インストールされているスキャンソフトのバージョンが異なります。 (0) スキャンサーバにインストールされているスキャンソフトのバージョンが統一されるように、スキャンソフトをバージョンアップしてください。 |
| KAQV10031-W | Warning | The versions of the virus definition files used on the registered scanner servers are different. 登録されているスキャンサーバ間で、使用しているウイルス定義ファイルのバージョンが異なります。 | 登録されているスキャンサーバ間で、使用しているウイルス定義ファイルのバージョンが異なります。 (0) 古いバージョンのウイルス定義ファイルを使用していると、スキャンサーバがウイルスを検知できないおそれがあります。最新のウイルス定義ファイルにアップデートして、スキャンサーバで利用するウイルス定義ファイルを同一のバージョンにしてください。 |
| KAQV10032-W*2 | Warning | Virus scanning has not finished. (cause = <ウイルススキャンが中断された要因> , file name = <スキャン中であったファイルのパス>) ウイルススキャンが完了していません。(要因= <ウイルススキャンが中断された要因> , ファイル名= <スキャン中であったファイルのパス>) | ウイルススキャン処理が中断されました。 (0) ウイルススキャンが完了していないため、エラーになったファイルに対してウイルススキャンを再実行してください。 また、要因に応じて設定を見直してください。 要因がスキャンサイズ超過の場合スキャンサイズの上限を再設定するか、スキャン対象から除外することを検討してください。 要因がスキャンタイムアウトの場合スキャンがエラーになったファイルが大規模ファイルであり、タイムアウトするおそれがある場合は、タイムアウト時間の延長や、そのファイルをスキャン対象から除外することを検討してください。 要因が内部処理エラーの場合同じ処理を再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 要因がサーバビジー状態の場合同じ処理を再度実行してください。このエラーが繰り返し発生する場合は、スキャンサーバを追加してください。 要因がサーバエラーの場合スキャンサーバの状態を確認し、障害要因を取り除いてください。 |
| KAQV10034-W*3 | Warning | New information has been reported to the report information file about a file for which virus scanning hasnot finished. レポート情報ファイルに、ウイルススキャンが完了していないファイルの情報が新たに報告されています。 | レポート情報ファイルに、ウイルススキャンが完了していないファイルの情報が新たに報告されています。 (0) レポート情報ファイルを参照し、必要に応じて、ウイルススキャンが完了していないファイルに対して再度ウイルススキャンを実行してください。 |
| KAQV20002-E | Error | An attempt to start the server monitoring daemon failed. サーバ監視デーモンの起動に失敗しました。 | OS disk または内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) しばらくしてから同じ処理を再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQV20005-E | Error | An attempt to allocate shared memory (<共有メモリー>) has failed. 共有メモリ (<共有メモリー>) の生成に失敗しました。 | OS disk または内部処理に問題があるおそれがあります。 (0) しばらくしてから同じ処理を再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

| メッセージ ID | 重要度 | エラーメッセージ | 説明と対処 |
|-------------|-------|---|--|
| KAQV30006-E | Error | No license has been specified for the system. システムを使用するためのライセンスが設定されていません。 | ライセンスが失効または解除されたおそれがあります。 (0) ライセンスを設定してから、再実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。 |
| KAQV30012-E | Error | Real-time scanning could not start. リアルタイムスキャンを有効にできませんでした。 | リアルタイムスキャンの有効に失敗しました。 (0) 再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |
| KAQV30013-E | Error | Real-time scanning could not be stopped. リアルタイムスキャンを無効にできませんでした。 | リアルタイムスキャンの無効に失敗しました。 (0) 再度実行してください。再度実行してもエラーが発生する場合は、全ログファイルを取得して、カスタマーサポートセンターに連絡してください。ログファイル一覧についてはヘルプを参照してください。 |

注*1

[Scan Conditions] 画面でウイルススキャンの条件を設定した際、[Notification when infection is detected] に [Notify] ラジオボタンを選択した場合に通知されます。

注*2

avaconfedit コマンドを使用して、SNMP トラップまたはE-mail を通知する方法に「EVERYTIME」を指定した場合に通知されます。

注*3

avaconfedit コマンドを使用して、SNMP トラップまたはE-mail を通知する方法に「ONCEADAY」を指定した場合に通知されます。

6. BMC から通知されるメッセージ

6 章では、NAS オプションに搭載される BMC より通報される SNMP 通報 (PET (Platform Event Trap) 通報) の一覧です。

Event ID

通報毎に設定しているイベント ID (16 進数) を表します。ESMPRO/ServerManager のアラートビューアの「イベント ID」に表示されます。

Error Type

通報するアラートの種別を表します。「Error (異常)」「Warning (警告)」「Information (情報 (正常))」の三種類があります。

Summary

ESMPRO/ServerManager のアラートビューアの「概要」に表示されます。

Details

ESMPRO/ServerManager のアラートビューアの「詳細」に表示されます。

Action

対処方法を示します。

| EventID | ErrorType | Summary | Details | Action |
|------------|-------------|--------------------|---|-------------------------------|
| [40001002] | Information | ログ領域初期化 | ログ領域初期化ログ領域が初期化された | — |
| [40001200] | Information | システムイベント情報 | システムイベント情報 BIOS Setup, BMC コンフィグレーションなどが行われた | — |
| [40001201] | Information | システムイベント情報 | システムイベント情報 OEM System Boot Event (Hard Reset) が行われた | — |
| [40001205] | Information | システムイベント情報 | システムイベント情報 SEL/SDR の日時が補正された | — |
| [40001400] | Information | ボタン/スイッチ情報 | ボタン/スイッチ情報電源ボタンが押された | — |
| [40001402] | Information | ボタン/スイッチ情報 | ボタン/スイッチ情報リセットボタンが押された | — |
| [40001D00] | Information | システムブート/リスタート情報 | システムブート/リスタート情報電源 ON により、システムがリセットされた | — |
| [40001D03] | Information | システムブート/リスタート情報 | システムブート/リスタート情報 PXE ブートが要求された (PF12 Key) | — |
| [40001D04] | Information | システムブート/リスタート情報 | システムブート/リスタート情報試験診断 (オフライン保守ユーティリティも含む) が自動起動した | — |
| [40001F01] | Information | OS ブート情報 | OS ブート情報 C ドライブからのブートが完了した | — |
| [40002003] | Information | OS 停止/OS シャットダウン情報 | OS 停止/OS シャットダウン情報 OS が正常にシャットダウンした | — |
| [40002200] | Information | ACPI (省電力管理) 情報 | ACPI (省電力管理) 情報 DC 電源 ON | — |
| [40002205] | Information | ACPI (省電力管理) 情報 | ACPI (省電力管理) 情報 DC 電源 Off | — |
| [40002206] | Information | ACPI (省電力管理) 情報 | ACPI (省電力管理) 情報 DC 電源 Off または休止状態 | — |
| [40002207] | Information | ACPI (省電力管理) 情報 | ACPI (省電力管理) 情報 AC 電源 Off | — |
| [80000110] | Warning | 温度異常 | 温度異常しきい値 (警告レベル) より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000110] | Information | 温度回復 | 温度回復しきい値 (警告レベル) より悪化した | — |
| [C0000112] | Error | 温度異常 | 温度異常しきい値 (危険レベル) より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |

| EventID | ErrorType | Summary | Details | Action |
|------------|-------------|-------------|---|-------------------------------|
| [40000112] | Information | 温度回復 | 温度回復しきい値(危険レベル)より悪化した | — |
| [80000117] | Warning | 温度異常温 | 度異常しきい値(警告レベル)より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000117] | Information | 温度回復 | 温度回復しきい値(警告レベル)より悪化した | — |
| [C0000119] | Error | 温度異常 | 温度異常しきい値(危険レベル)より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000119] | Information | 温度回復温 | 度回復しきい値(危険レベル)より悪化した | — |
| [80000210] | Warning | 電圧異常 | 電圧異常しきい値(警告レベル)より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000210] | Information | 電圧回復 | 電圧回復しきい値(警告レベル)より悪化した | — |
| [C0000212] | Error | 電圧異常 | 電圧異常しきい値(危険レベル)より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000212] | Information | 電圧回復 | 電圧回復しきい値(危険レベル)より悪化した | — |
| [80000217] | Warning | 電圧異常 | 電圧異常しきい値(警告レベル)より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000217] | Information | 電圧回復 | 電圧回復しきい値(警告レベル)より悪化した | — |
| [C0000219] | Error | 電圧異常 | 電圧異常しきい値(危険レベル)より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000219] | Information | 電圧回復 | 電圧回復しきい値(危険レベル)より悪化した | — |
| [80000417] | Warning | ファン(回転数)異常 | ファン(回転数)異常しきい値(警告レベル)より悪化した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000417] | Information | ファン(回転数)回復 | ファン(回転数)回復しきい値(警告レベル)より悪化した | — |
| [40000600] | Information | セキュリティ違反発生 | セキュリティ違反発生セキュリティモード時の警告操作(ロックされているスイッチを押した) | — |
| [C0000700] | Error | プロセッサ異常 | プロセッサ異常内部エラーが発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0000701] | Error | プロセッサ異常 | プロセッサ異常温度異常が発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0000708] | Error | プロセッサ異常 | プロセッサ異常 プロセッサが無効になった | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C000070B] | Error | プロセッサ異常 | 異常マシントラップ例外(修復不可能なエラー) | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [4000070C] | Information | プロセッサ異常 | プロセッサ異常修復可能なマシントラップエラー | — |
| [40000800] | Information | 電源モジュール取り付け | 電源モジュール異常 電源モジュールの実装状態が変更された | — |
| [40000800] | Information | 電源モジュール取り外し | 電源モジュール回復 電源モジュールの実装状態が変更された | — |
| [80000801] | Warning | 電源モジュール異常 | 電源モジュール異常 電力供給に異常があった | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000801] | Information | 電源モジュール回復 | 電源モジュール回復 電力供給に異常があった | — |
| [80000802] | Warning | 電源モジュール異常 | 電源モジュール異常 電力供給に異常の兆候があった | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |

| EventID | ErrorType | Summary | Details | Action |
|------------|-------------|--------------------|---|-------------------------------|
| [40000802] | Information | 電源モジュール回復 | 電源モジュール回復 電力供給に異常の兆候があった | — |
| [40000803] | Information | 電源モジュール異常 | 電源モジュール異常 入力異常 (AC/DC) | — |
| [40000803] | Information | 電源モジュール回復 | 電源モジュール回復 入力異常 (AC/DC) | — |
| [C0000905] | Error | 電源 異常 | 電源異常 Soft Power Control Failure (unit didnot respond to request to turn on) | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [400009B0] | Information | 電源回復 | 電源回復冗長構成 (冗長性が回復した) | — |
| [800009B1] | Warning | 電源情報 | 電源情報非冗長構成 (冗長性が失われた) | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [80000CB1] | Warning | メモリ情報 | メモリ情報非冗長構成 (冗長性が失われた) | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000C00] | Information | メモリ 異常 | メモリ異常メモリの修復可能なエラーが発生した | — |
| [C0000C01] | Error | メモリ 異常 | メモリ異常メモリの修復不可能なエラーが発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [80000D01] | Warning | デバイスベイス異常 | デバイスベイス異常 Drive Fault | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40000D01] | Information | デバイスベイス回復 | デバイスベイス回復 Drive Fault | — |
| [40000D07] | Information | デバイスベイス情報 | デバイスベイス情報 Rebuild/Remap in progress | — |
| [40000D07] | Information | デバイスベイス情報 | デバイスベイス情報 Rebuild/Remap in progress | — |
| [80000E31] | Warning | メモリ縮退発生 | メモリ縮退発生 State Asserted | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0000F00] | Error | POST エラー | POST エラーPOST 中にエラーが発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [80001000] | Warning | ログ採取停止 | ログ採取停止メモリの修復可能なエラーのログ | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [80001006] | Warning | ログ採取停止 | ログ採取停止プロセッサの修復可能なマシンチェックエラーのログ | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0001300] | Error | 異常系割り込み | 発生異常系割り込み発生フロントパネル NMI が発生した (ダンプスイッチ押下も含む) | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0001304] | Error | 異常系割り込み | 発生異常系割り込み発生 PCI パリティエラーが発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0001305] | Error | 異常系割り込み | 発生異常系割り込み発生 PCI システムエラーが発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0001308] | Error | 異常系割り込み | 発生異常系割り込み発生バスで修復不可能なエラーが発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0001531] | Error | モジュール/ボード (未実装) 発生 | モジュール/ボード (未実装) 発生 State Asserted | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0001901] | Error | チップセット異常 | チップセット 異常温度異常が発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40001E00] | Information | ブートエラー | ブートエラー ブート不可能なメディアである | — |
| [40001E02] | Information | ブートエラー | ブートエラー PXE サーバが見つからない (ネットワークダウンロードプログラム) | — |

| EventID | ErrorType | Summary | Details | Action |
|------------|-------------|--------------------|--|-------------------------------|
| [C0002001] | Error | OS 停止/OS シャットダウン | OS 停止/OS シャットダウン OS 動作中に停止した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0002100] | Error | スロット/コネクタ異常 | スロット/コネクタ異常 異常が発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [80002108] | Warning | スロット/コネクタ異常 | スロット/コネクタ異常 スロットが無効になった | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [40002108] | Information | スロット/コネクタ回復 | スロット/コネクタ回復 スロットが無効になった | — |
| [40002201] | Information | ACPI(省電力管理)情報 | ACPI(省電力管理)情報 スタンバイ状態 | — |
| [40002204] | Information | ACPI(省電力管理)情報 | ACPI(省電力管理)情報 休止状態 | — |
| [40002300] | Information | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 タイムアウトが発生した | — |
| [C0002301] | Error | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 タイムアウトが発生し、コールドリセットが行われた | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0002302] | Error | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 タイムアウトが発生し、電源 OFF が行われた | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0002303] | Error | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 タイムアウトが発生し、電源 OFF と ON が行われた | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C0002308] | Error | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 | ウォッチドックタイマタイムアウト発生 タバ割り込みが発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C000DC08] | Error | マネージメントエンジン異常 | マネージメントエンジン異常 電力が上限値を上回り回復しない Node Manager Exception Event | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C000DC00] | Error | マネージメントエンジン発生 | マネージメントエンジン発生 マネージメントエンジンの状態変化を検出した ME Firmware Health Event | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C000F331] | Error | SMI Timeout 発生 | SMI Timeout 発生 State Asserted | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C000F600] | Error | センサ故障発生 | センサ故障 発生 I2C バス上のデバイスのアドレスが認識されなかった | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C000F601] | Error | センサ故障発生 | センサ故障 発生 I2C バス上のデバイスのエラーを検出した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |
| [C000F602] | Error | センサ故障発生 | センサ故障 発生 I2C バスタイムアウトが発生した | ログを採取してカスタマーサポートセンターに連絡してください |

注) BMC に関する MIB ファイルは、ありません。

iStorage Mシリーズ

NASオプション ソフトウェア
Virtual File Platform

メッセージリファレンス別紙

I F 3 1 4 - 4

2016年 5月 初 版
2022年 8月 4 版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

@NEC Corporation 2016-2017

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
